



大学院

医学研究科	修士課程／博士課程
スポーツ健康科学研究科	博士前期課程 [修士課程]／博士後期課程 [博士課程]
医療看護学研究科	博士前期課程 [修士課程]／博士後期課程 [博士課程]

大学

医学部	医学科
スポーツ健康科学部	スポーツ科学科／スポーツマネジメント学科／健康学科
医療看護学部	看護学科
保健看護学部	看護学科
国際教養学部	国際教養学科
保健医療学部	理学療法学科／診療放射線学科 (2018年8月31日設置認可、2019年4月開設)



学 是

仁

人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心。これ即ち「仁」

理 念

不 断 前 進

現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける姿勢のこと

学 風

三 無 主 義

出身校・国籍・性別の差別のないこと

Contents 順天 堂

古き歴史と日新の科学を踏まえて 03

今、ふたたび「仁」

医学部 07

スポーツ健康科学部 10

医療看護学部 13

保健看護学部 15

国際教養学部 17

保健医療学部 20

History 24

大学院 医学研究科 25

大学院 スポーツ健康科学研究科 29

大学院 医療看護学研究科 30

臨床研修 31

順天堂を構成する3つの柱

教 育 33

研 究 37

診療・実践 41

キャンパス・附属病院へのアクセス 45

今、ふたたび「仁」

古き歴史と日新の科学を踏まえて

順天堂は、江戸後期の天保9（1838）年、学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀（現在の東日本橋2-6-8）に設立したオランダ医学塾・和田塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉（現在の千葉県佐倉市）に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2（1869）年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」（明治天皇の主治医団長）・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校（現 東京大学医学部の前身）の初代

校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府（東京帝国大学医学部）の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を行いました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生（野口英世ら）は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2（1869）年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7（1874）年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりました。ドイツより帰国



理事長 小川 秀興

した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、明治8（1875）年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌（現在は Juntendo Medical Journal：JMJ として）』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18（1885）年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長を兼任、また大韓医院（現ソウル大学医学部・附属病院）を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主（初代理事長）・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26（1951）年、体育学部（現在のスポーツ健康科学部）を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、また初代学長、次いで理事長として、その発展を支えました。

理事長・学長メッセージ MESSAGE



学 長 新井 一

第五代堂主（理事長）・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34（1959）年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46（1971）年、大学院体育学研究科・修士課程（現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程）を開設しました。更に、昭和42（1967）年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院（94床）（現在の静岡病院）」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主（理事長）・東健彦は、昭和59（1984）年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院（250床）」を開院しました。昭和61（1986）年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館（新1号館）の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、看護教育を東京・本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主（理事長）・懸田克躬は、昭和63（1988）年、体育学部を習志野キャンパスからさく

らキャンパス（現在の印西市）へ移転し、平成元（1989）年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開設しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院（221床）」に改組しました。

第八代堂主（理事長）・石井昌三は、平成5（1993）年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館（1号館）を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実を図りました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29（1896）年、佐藤進は杉本かね〔本邦初の看護婦取締（婦長）〕を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学（3年制）へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして近年、第九代堂主（理事長）・小川秀興は、平成12（2000）年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会（現大学運営連絡協議会：運連協）”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16（2004）年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果、①平成12（2000）年、大学院スポーツ健康科学研

究科・博士課程を開設されました。②平成16（2004）年、医療短期大学（3年制）を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部（千葉県浦安市）が開設、拡充されました。③平成19（2007）年、医療看護学部大学院医療看護学研究科・修士課程が開設されました。④平成22（2010）年、第4の学部として保健看護学部（静岡県三島市）が開設されました。⑤平成25（2013）年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。⑥平成14（2002）年6月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成16（2004）年4月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第5番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。⑦加えて、練馬区も病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から学校法人順天堂が選定され、平成17（2005）年、順天堂第6番目の医学部附属病院「練馬病院」が開設されました。⑧大学内に文部科学省（文部省）などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として以下のセンター・研究所が設立されました。

（1）アトピー疾患研究センター、（2）疾患モデル研究センター、（3）老人性疾患病態・治療研究センター、（4）環境医学研究所、（5）感染制御科学研究センター、（6）スポーツ健康医科学研究所、（7）スポーツロロジーセンター、（8）国際交流センター、（9）ゲノム・再生医療センター、（10）難病の診断と治療研究センター、（11）静岡災害医学研究センター、（12）女性スポーツ研究センター、（13）先導的がん医療開発研究センター。

⑨平成26年12月国際的に活躍する人材養成を



目的として第5の学部となる「国際教養学部」の設置認可を受け、平成27年4月開学し、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。

順天堂は、附属6病院合計で総病床数3,418床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。附属6病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発展させつつ、総合力に秀でた医育機関として、全国そして国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校・国籍・性別の差別の

理事長・学長メッセージ

M E S S A G E



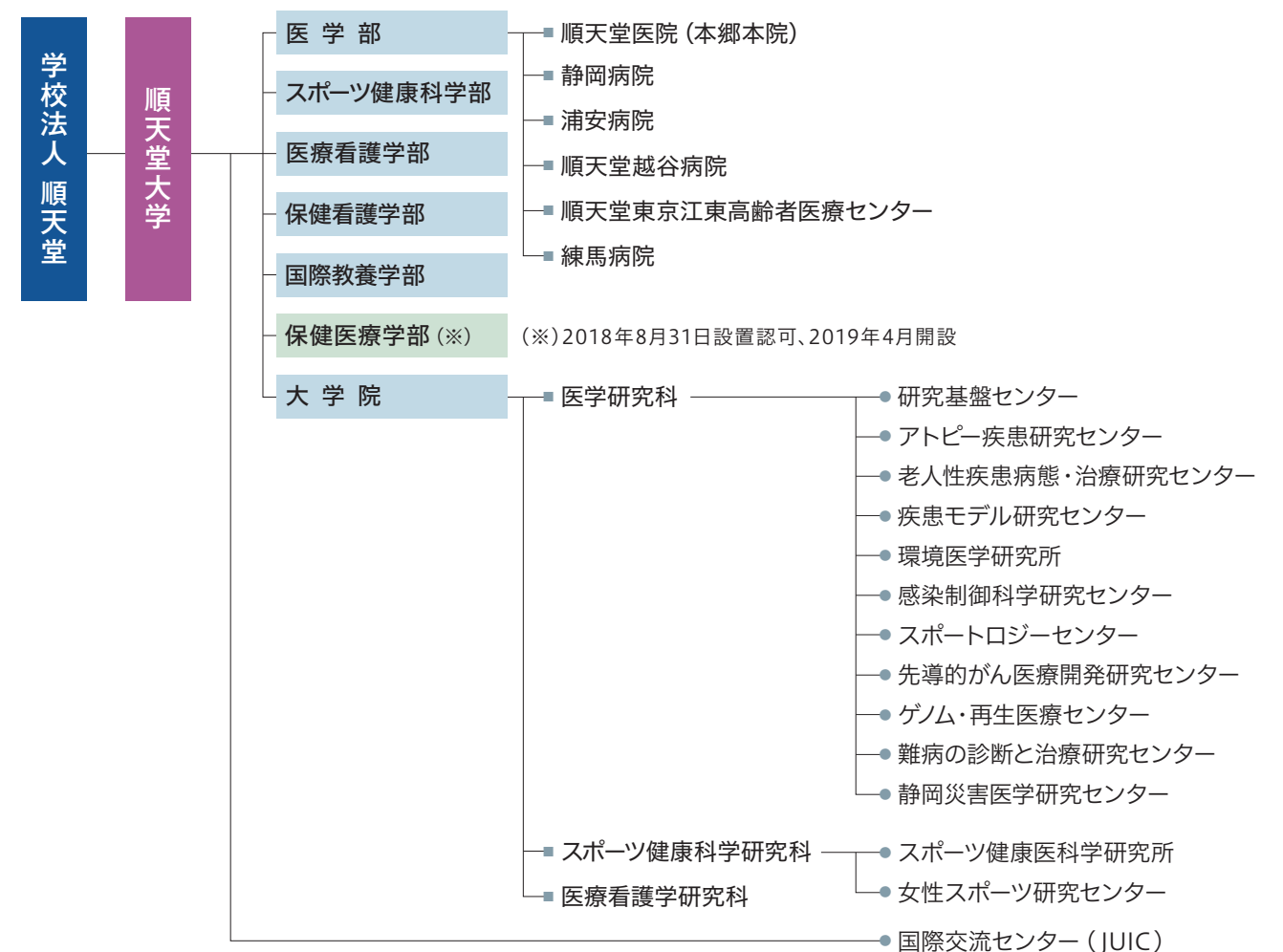
今、ふたたび「仁」

古き歴史と日新の科学を踏まえて

ない“三無主義”を学風として掲げ、5学部3研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

ORGANIZATION

180年の歴史が築き上げてきた順天堂の現在の姿がこの組織図です。
時代と共に歩み、時代と共に変化発展していきます。





医学部 | Faculty of Medicine

学生募集に関するミッション

MISSION

順天堂大学医学部は、医師になろうと努力する学生に対して、6年間で卒業し、ストレートで医師国家試験に合格させるよう教育します。しかしながら、単に医師国家試験合格だけを目指すのではなく、国試をものとし、知性と教養と感性溢れる医師となるための教育を行います。

本学では、医学教育や課外活動等を通じて、教員と学生間の距離が近く、各々の個性が尊重され、学生生活を楽しく充実したものとして過ごせるよう随所に教育的配慮がなされています。

このような教育環境を維持し発展させるために本学医学部では、教育に関する次のようなミッションを学生と教職員に公示しています。

学生募集に関するミッション

MISSION

医学部 | Faculty of Medicine

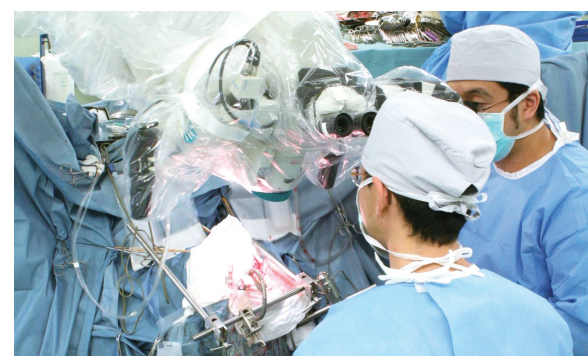
者全てが教育に深く関与するものであるという認識を持たねばなりません。

このような本学での教育を希望する受験生に対して、本学としては、次のような要請をしたいと思います。

- 1) 授業とは、単に知識・技能の伝達ばかりではなく、教員と学生の直接的なコミュニケーションを通して、人間性育成のための教育の場として考えています。教室以外のベッドサイド教育においても、実技実習の場においても然りであります。
- 2) 教員には教育する責任があり、学生には履修責任があります。特に、医学部学生の不勉強は、病める人、患者さんに迷惑をかけるという認識を持たなければなりません。
- 3) 学生を教育するということは、教員自らの研究・診療能力を向上させるうえで最重要であります。教員は学生を教育することにより、自らをも教育されるのであります。学生のモチベーションの向上を図り、それに基づく教育体制を工夫して整備することが、本学の教育のみならず研究や臨床における教職員の活動水準を高めることに繋がると認識しています。
- 4) 学生の学習意識をpassiveなものからactiveなもの、自ら進んで学ぶという姿勢に変容させ得るかどうかにより教員の能力が問われます。全教科を通じて教職員側が自ら知り得たことを後進に、より易しく伝授するよう努力しなければなりません。一般教養教育、基礎医学教育、そして臨床医学教育においては、教授・准教授・講師・助教クラスが学生に対して直接教育することが重要であります。それにとどまらず、大学に集う

- 1) 本学では、開学以来、学力を重要視することは勿論ですが、面接試験、小論文、小中高に至る評価表等を重視し、受験生の感性や医師となるべき人物・識見・教養などを見極めております。このことは、本学入学者における退学や留年する学生が非常に少なく、そして高い医師国家試験合格率（国公立医大 80 校中、過去 10 年間の平均合格率：第 2 位、過去 20 年間の平均合格率：第 2 位）が維持されている現状からも証明されます。

- 2) 従いまして、本学では入学願書において、これまでの活動や医学部を志望する動機、本学を志望する理由等をコンパクトに記載することを求め、二次面接試験の受験生に対して、願書に書かれた文化的・創作的・独創的あるいはボランティア活動、各種資格、評価、クラブ活動など、これまでの特徴的な活動を行ったことを証明する資料等を持参するように要請します。例えば、小・中・高等学校の通知簿、賞状、表彰状、免許・資格・外部検定試験（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、漢検など）・外国の大学入学資格（国際バカロレア [IB]、アビトゥア、バカロレアなど）・外国の大学進学適性試験（SAT、ACT、GCE など）の成績証明書、柔剣道・茶道・華道などの段位等証明書、トロフィー、掲載紙（誌）などです。特に、本学では国際社会で幅広く活躍する医師を養成するため、英語力としては、入学前より TOEFL-iBT 68 点程度（TOEFL-PBT 520 点、IELTS 6.0 程度）のスコアを取得してい



医学部 | Faculty of Medicine

る方や、既に他の大学等の教育機関で様々な専門教育を受けながらも、なお医学の道を新たに志す人材も歓迎します。

- 3) 以上の本学医学教育の基礎を十分なものとするために、本学1年生全員を本学学寮に1年間入寮させます。集団の中での個の確立と、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」の涵養という本学の学是を寮生として実践実習することになります。
- 4) また、本学医学部では、1年次より一般教養・教育を重視しています。教育、特にTOEFL、IELTSなど実践の英語、社会の中の医学教育等を2年次以降も重視・継続しつつ、病院実習、看護実習、施設実習、診察技法実習等を行い基礎医学と臨床医学を関連させつつ教育します。

- 5) 4年次後半からの本格的な臨床実習、さらに海外での臨床実習（2～8週間、留学先は自ら選べます）など、数多くの現場実習が予定されております。これらの実習教育は、本学教員等の十分な管理のもとに実施されますが、医学生への感染あるいは医学生を介しての患者さん等への感染がおこる場合も想定されます。これらの感染を回避するために、欧米では当然なことですが、本学では入学する全ての学生に、麻疹、風疹、水痘、肝炎ウイルス、結核などの感染症に関する予防接種、罹患歴調査、入学時の各種感染症に対する血中抗体調査・皮膚反応検査等を

実施し、未接種の学生には予防注射の接種を行うことを原則としています。なお、入学前に既に施行していることを推奨します。その場合は証明書を添えて申し出てください。

建学180年に亘る歴史を有する順天堂は、常に先取的に学生教育の改革を教職員、専門医師そして学生参加の下に進め、日本の医学教育の指導的立場に恥じない改革を「不断前進」の理念の下に行っています。

本学に入学することで得られる計りきれない付加価値を実感され、自らの夢を本学での学習と学生生活に重ね合わせつつ医学・医療の知識・技能のみならず豊かな感性と教養を自ら進んでアクティブに学んでください。国際社会に役立つ未来を拓く人間性溢れる医師になっていただきたいと思います。順天堂は全学を挙げてこれを支援します。

是非、チャレンジしてください。

学部長 代田 浩之
研究科長 代田 浩之
学長 新井 一
理事長 小川 秀興



スポーツ健康科学部 | Faculty of Health and Sports Science

学生募集に関するミッション

MISSION

順天堂大学は、本邦唯一の医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、保健看護学部、そして国際教養学部からなる「健康総合大学」として、学是を「仁」、理念を「不断前進」と定めて人間の健康維持・増進・回復に寄与できる人材の育成を使命としています。

スポーツ健康科学部においては、保健体育科教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、小学校教諭、スポーツビジネス（関連企業）、健康支援づくり関連の企業等に進路を志す学生諸君に対して教育を行います。そして、ひとり一人の夢の実現のために、また好きな学問やスポーツと一生つきあっていけるよう講義・実習・カリキュラムの充実はもちろんのこと、「全人教育」にも力を注いでいます。すべての学びは、みなさんの未来を創造する力になるものです。

学生の目標、目的達成のために丁寧な指導を在学中に行います。教職志望者に対しては、全学をあげての支援体制を整え教職の順天堂をアピールしています。

健康総合大学にふさわしい教育・研究システムとして、医学部、医療看護学部、保健看護学部、国際教養学部との連携による学術的な取り組みを展開し、スポーツを科学的な視野で探求するために不可欠な医学・科学系の知識を身につけます。また、テーマである“健康の追求”を核とし、新たな時代の職業ニーズに対応できる幅広い見識を備えた、社会性・創造性豊かな人材を育てることに取り組んでいます。

このような教育環境を維持し発展させるために教育に関する次のようなミッションを学生と教職員に公示しています。

スポーツ健康科学部 | Faculty of Health and Sports Science

1) 自己の確立

本学部はスポーツ医科学、コーチング科学、スポーツマネジメント学、健康学という「スポーツと健康」を取り巻くさまざまな学問領域に対応しています。学生はそれぞれが理想とする目標に合わせて学びの領域を選ぶことができます。そこで大切なのは、本学の学問は「実践の学問」であり、大学で学んだことを社会でいかに活用するかを常に念頭において学んで欲しいのです。そして、本学が提供する学問を活用できる「自己」を確立してください。そうすれば、スポーツ選手のセカンドキャリアが叫ばれる中、自分の好きなスポーツや学問と一生つき合っていける道をきっと見つけることができるはずです。

2) 仁・不断前進

人に一番必要なもの。それは、自分のことばかりではなく、他人の立場になって考えること。人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心。これ即ち「仁」。

順天堂は、1838（天保9）年に日本最古の西洋医学塾としてスタートしました。その設立当時から現在に至るまでの180年間、順天堂に集う者たちはすべて、この「仁」の心をもって、日々学問にスポーツに取り組んでいます。そして、順天堂の理念として「不断前進」を掲げています。これは、現状に満足せず、常に高い目標をもっ

て、創造的な前進を怠らず改革を続けていくということです。

3) 使命

「仁」を学是、「不断前進」を理念として、スポーツ健康科学部では、「医療」「スポーツ・健康」「介護・福祉」という“人”を対象にした学問を通して、人間性を調和的、包括（総合）的に培う「全人教育」をめざしています。専門分野の学問を究めるにはもちろん、専門的な知識と技術は必要です。しかし、知識と技術それだけに偏ってはいは、本学が目標とする“人”を学んだことにはなりません。常に「人に一番必要なものは？」を問い続け、一般教養・教育のさらなる充実を図っていきます。それが、「健康総合大学」としてのわたしたちの使命だと考えています。

4) 学生寮

入学後1年間、医学を志す医学部学生と共に寮生活で寝食を共にしながらそれぞれの志と、その進路を尊重し将来の夢を語り合い、学園生活を送ることで、他人を思いやる心、責任感、協調性など、社会に出てから求められる“人間性”を培います。

本学部の目標は「全人教育」ですが、本学部をめざす人には、次に掲げることを是非体得してください。

“誠実であろう”

誠実とは、人や事に誠をつくし、まごころをもって接することです。虚飾をとりさり、自分のありのままの心をもって、ひとすじに人や事に対してゆけば、人は自ら磨かれて向上するのであります。

“礼節を守ろう”

礼節とは、礼儀と節度のことです。礼儀は、人を敬う気持ちを表す作法です。いかに敬う気持ちがあっても、それをあらわす仕方を知らず、またそれを実行しなければ、礼儀にかなうことはできません。それと反対に、外形的な作法がいかに整っていても、敬いの心が伴っていかなければ、それは正しい礼儀とは言えません。

“自主性をもとう”

自分の意見を自由に主張し、実現する自主性は、何事によらず大切です。研究者の自主性が尊重されなければ、学問は発展しません。また、自主的でありたいと願っても周囲との協調性や妥協性を失っては、人間の社会生活は成り立ちません。集団の中での個を確立し、自主の心を尊びましょう。

“公正であろう”

公正とは、偏り、曲がったりしないこと、明白で正しい行動のことです。Fair Play の精神がまさに当てはまります。公平を守りつづけるためには、たゆまざる努力と強い意志が必要です。また、不正なものに対して、敢然と立ち向かう勇気がなければなりません。

“粘り強くあろう”

粘り強いということは、根気よく物事を続けて行くこと、靱やかで強いことです。そのためには、体力と忍耐力と強い意志と緻密な頭脳が必要です。これらの要素のうち何れか一つでも欠ける場合には、社会も、国家も大事を安心して任せすることはできません。己れをよく制御し、目的貫徹のためには苦しさも耐え忍び、しかもそれを長続きさせることが肝要なのです。

学部長 内藤 久士
研究科長 内藤 久士
学長 新井 一
理事長 小川 秀興





医療看護学部 | Faculty of Health Care and Nursing

学生募集に関するミッション

MISSION

医療看護学部は看護師、保健師、助産師になろうと志願する学生に対して、4年間で卒業し、国家試験に合格できるように教育いたします。順天堂看護学教育は120年の歴史を持ち、この間に培われた全人教育の伝統を守りながら、知性と教養と心優しい人間味あふれる看護職者となるための教育を行います。本学部の教育理念は身体のみならず「心を癒す看護」です。これは学是で

ある「仁」の精神（人在りて我あり、他を思いやり、慈しむ心）を基盤としています。具体的には看護学教育や課外活動等を通じて、教職員や学生間の距離が近く、各々の個性が尊重され、学生生活を楽しく充実したものとなるように教育的配慮をしています。このような教育環境を維持し発展させるために、教育に関する次のようなミッションを学生と教職員に公示しています。

- 1) 授業とは、単に知識・技術の伝達ばかりではなく、教員と学生の直接的なコミュニケーションを通して、人間性育成のための教育の場と考える。教室以外の臨地実習（病院、保健所や在宅等の学外実習を総称）においても然りである。
- 2) 教員には学生を教育する責任があり、学生には履修責任がある。特に医療看護学部学生の不勉強は、患者・家族を中心にしたチーム医療に支障をきたすという認識を持たなければならない。
- 3) 教員は学生を教育することにより、自らをも教育される。学生の学習に対する意欲を向上させる工夫を重ねることが教育体制のより良い整備となり、本学の教育のみならず研究面における教員の活動水準を高めることに繋がると認識する。
- 4) 教員は全教科を通じて自ら体得していることを、後進により易しく伝授するよう努力する。教員の能力は学生の学習意識をパッシブなものからアクティブなものに、自ら進んで学ぶという姿勢に、変容させ得るかどうかによって問われる。単にレ

学生募集に関するミッション

MISSION

医療看護学部 | Faculty of Health Care and Nursing

ポートを課すことではない。ゼミナールは専門外のテーマであってもこの点で評価される。

- 5) 教員のみならず、事務職員はじめ本学に在職するすべての者は学生の教育に深く関与するという認識を持つ。

順天堂の看護の歴史は杉本かねが明治元年（1868年）に日本で最初の看護婦となって、二代目堂主佐藤尚中らの指導を受け、明治6年（1873年）日本で最初の専門職看護婦として順天堂医院の婦長に就任したことに始まります。そして、明治29年（1896年）看護婦養成所の開設により体系的な順天堂の看護教育が始まりました。

以来120年にわたり、「他を思いやり、慈しむ心」を意味する「仁」の精神を基盤とした、身体のみならず「心を癒す看護」が実践できる看護師・保健師・助産師の育成を行って参りました。この本学部の看護教育の伝統は、過去5年間の看護師国家試験平均合格率99%という成果として現れています。

医療看護学部の特長

- 1) 魅力ある、教養豊かな人間の形成を目指した全人教育を大事にしています。
- 2) 医学部、スポーツ健康科学部、保健看護学部、国際教養学部と連携した教育を展開しています。



教育・研究のみならず文化系・運動系クラブ活動においても教職員・学生間の連携が取られています。

- 3) 看護実習目標に適した病院が揃っています。特定機能病院、高齢者医療専門病院、ドクター・ヘリコプターが活躍する救命救急病院、地域中核病院、精神医療病院などそれぞれに特色のある附属病院で実習ができます。
- 4) 教員によるアドバイザー制によって、学生自らが思い描く看護の実現に向けた豊かな学生生活が送れるようにサポートされています。
- 5) 附属病院との密接な教育連携が図られています。医学部附属6病院的看護師が本学部の臨床教員として学生の教育・指導に当たるなど、大学が一丸となって教育から就職・卒後教育までを力強く支援しています。
- 6) 国際的に活躍できる看護師を目指した教育をしています。

英語、フランス語、中国語を開講し、ネイティブ教員による会話を学ぶことができます。米国・英国・タイ王国などの海外看護研修を受けることができます。

（人数制限。自費。一部単位認定。）

全国の都道府県から、知識を学び取る進取の気持ちと、人を慈しむ「仁」の精神に溢れた皆さんが、医療看護学部で学んで下さることを待っています。

学部長 工藤 稜子
研究科長 植木 純
学長 新井 一
理事長 小川 秀興



保健看護学部

Faculty of Health Science and Nursing

MISSION

学生募集に関するミッション

保健看護学部では、看護師・保健師（以下看護職者という）になろうと努力する学生に対して、4年間で卒業し、ストレートで看護師・保健師国家試験に合格できるように教育します。大学時代は人生において人間的に最も成長する時期ととらえ、知性と教養と感性豊かな看護職者になるための教育を教職員が「和」をもって行います。



本学部は静岡県東部における唯一の4年制看護学部として、順天堂の120年を超える看護学教育の伝統を受け継ぎ、学是「仁」の精神を基盤に「心身を癒す看護を实践する」を教育理念（教育方針）としています。学是「仁」、これは順天堂大学のあり方や教育研究における考え方の拠り所となる大事なことばです。他を慈しみ、他を思いやる心すなわち「仁」です。

本学部では、健康総合大学にふさわしい教育・研究システムとして医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、国際教養学部との連携

による学術的な取り組みを通して、さらに東京駅から約50分の三島という恵まれた環境を十分に活かした教育的配慮がなされています。

教育に関する次のようなミッションを学生と教員に公示します。

1. 大学は学生が自らアクティブに学ぶ場であり、創意工夫して自己を確立し、自律していく教育の場であると考えています。

学生募集に関するミッション

MISSION

保健看護学部 | Faculty of Health Science and Nursing

2. 授業とは単に知識・技能の伝達ばかりでなく、教員と学生のコミュニケーションを通して人間性育成の場と考えています。
3. 教員には教育する責任があり、学生には履修する責任があります。
4. 保健・医療・福祉の分野の進歩・変化は著しく、教員・学生ともに不勉強は、対象となる患者・家族・地域の人々の健康維持、増進、予防を中心としたチーム医療・保健活動に支障をきたすという認識をもたなければなりません。
5. 大学グローバル化への対応策の一環としてTOEFLのスコアアップを目指しています。

保健看護学部の特長

1. 順天堂には120年を超える看護学教育の伝統があり、既存の医療看護学部の実績を踏まえ、さらに最新の教育設備・備品を整備している。
→IT時代、電子カルテにも対応できる。
2. 教育経験豊かな教員・臨床経験豊かな教員と学生の距離が近い。
→教員とのコミュニケーションを通し、看護職者としての先輩、人生の先輩から多くを学ぶことができる。
3. 専任教員のほか静岡県東部地区の中核病院である医学部附属静岡病院のドクター、ナースあるいは技師等が連携を密に教育に関わっている。
→臨床現場の実習指導者は看護臨床教員を兼ね、看護実践現場と学内の教育を綿密に連携して行うので、就職後の看護業務がスムーズに行われるように工夫している。

4. 救命救急の手技については救命救急センターのドクター、フライトナースほか麻酔科医や消防士の方々が加わって、実践につながる高度のモデル人形やAED（Automated External Defibrillator 自動体外除細動器）を駆使し、1年次から学内実習が行われている。
→この授業を受講することにより日本救急医学会のICLS（Immediate Cardiac Life Support）コースの修了証を得ることができる。即戦力があり、災害・防災にも強いナースのイメージをもって学ぶことができる。

5. 医療の高度化、専門分化が進み、人々が求めるニーズの多様化が進む中で、より安心、安全で質の高い看護を提供できる看護基礎教育を行っている。
→確かな技術と心温まる創意工夫のケアができる。

静岡病院は救命救急センターを重点診療分野としており、静岡県東部・中部ドクターヘリ運航基地病院でもあります。今後さらに注目されるフライトナース育成の面からも、他では決して経験できない、非常に貴重な経験を得ることができます。

本学部で4年間楽しく自らの心身を鍛え、育んだ看護専門能力を背景にあなたの夢を叶えてください。看護職者に対するニーズは高くかつ奥の深いやりがいのある職業です。

学部長 大熊 泰之
学長 新井 一
理事長 小川 秀興



国際教養学部

Faculty of International Liberal Arts

学生募集に関するミッション

MISSION

順天堂大学国際教養学部は本学の学是「仁」の精神を基本理念とし、国際社会で通用する外国語運用能力をはじめ、文化・歴史・経済・自然科学などに関する幅広い教養とグローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービスに関する素養を身につけ、グローバル化時代の国際社会における持続可能性、多文化共生、人類福祉の向上に貢献しようという意思のある「グローバル市民」を育成するための教育を行います。



学生募集に関するミッション

MISSION

国際教養学部 | Faculty of International Liberal Arts

入学者選抜の基本方針

本学部では複数の入学者選抜方法を組み合わせ、多様な背景を持った学生を積極的に受け入れます。また、高等学校での学修状況や諸活動での取り組み、ボランティア活動なども評価対象に加えて、入学者の受け入れを総合的に判断します。

国際教養学部では、学是「仁」、理念「不断前進」、学風「三無主義」の精神の下に、「グローバル市民」を育成する教育課程として、4年間にわたる国際教養教育を次のとおり編成します。

【導入期】

- 基礎演習によるコミュニケーション能力の育成
前期は「プレゼンテーション」、後期は「ファシリテーション」を体験することで、グローバル市民として必須なコミュニケーション能力の基盤を培います。
- 国際的な広がりを持つリベラルアーツを醸成する基盤科目
健康・医療などに関連する分野を含む幅広い教養及び外国語を、文系、理系にとらわれない基盤科目として学び、広く、深い教養と豊かな人間性・倫理観を培います。
- 複言語主義と言語文化アプローチに基づく1、2年次の外国語教育
「グローバル市民」として求められる外国語コミュニケーション能力を習得できるよう、「複言語主義」に基づき、国際英語科目以外に、もう1つの外国語としてフランス語、スペイン語、中国語から1言語を履修します。授業では、異文化コミュニケーションを学び、体験できる「言語文化アプローチ」を導入します。TOEFLなど国際標準の能力測定試験を用いて能力の向上を測定します。

国際教養学部の教育目的は、持続可能な未来の創造に寄与できるグローバル市民性（global citizenship）を涵養することにあります。人類の未来が持続可能であるためには、多様性の確保が必須であり、多文化多言語共生社会の構築に貢献できるグローバル市民が求められます。

本学部では、その教育理念を理解し、「多文化が共存する社会に貢献するグローバル市民」となる資質を備えた、次のような意欲的な学生を求めます。

求める学生像

- グローバル化した世界の実態や課題とその背景及び多様な文化や人間に関心を持ち、人類の持続可能な未来に貢献しようとする夢を持つ人
- 「グローバル市民」として、多文化共生社会に貢献することを目指し、生涯にわたり自律的な学びを継続する意志を持つ人
- 自らのアイデンティティと母語能力を基盤に、外国語でのコミュニケーションを通して異文化を理解し相互に交流を図ろうと努力する人

大学入学時までに身に付けて

おくべき教科・科目等

国際教養学部では、大学入学までに高等学校等において、次の教科・科目等を身に付けておくことが望まれます。

- 英語及び国語：国際社会において活躍するためのコミュニケーション能力、基礎的な読解力、表現力、思考力
- 社会：国際社会への関心・理解に必要な地理歴史・公民のうち、いずれかの科目についての基礎的な知識
- 理科及び数学：生命現象・健康・医療を理解する上で必要となる生物や化学、数学等の自然科学の基礎的な知識
- 課外活動、ボランティア活動、海外経験等を通じた主体性、自律性、積極性

国際教養学部 | Faculty of International Liberal Arts

4. 3領域への導入

初年次に「国際教養概論～グローバル市民を目指して～」を履修し、グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービスという3つの領域に触れ、領域間の関係性について学びます。

【形成期】

5. 3領域からなる展開科目

形成期に入る2年次には、各領域の概論科目を必修として履修し、各自の関心に応じて1領域を選択します。3年次以降は、3領域に関する科目を展開科目として設定します。

グローバル社会領域では、持続可能な未来へ向けて、グローバル化をめぐる問題を学び、グローバルヘルスサービス領域では、身体、健康、生命などに関して日本や世界が抱えている諸課題を学び、そして異文化コミュニケーション領域では、異質な文化とのコミュニケーションが内包し、表象する課題について深く理解し、多文化／多言語社会の構築に寄与する方途を学びます。

6. 専門的な外国語教育と海外留学・研修

将来の進路を念頭に自主的に英語を学習できる「目的別英語科目」を揃え、また、フランス語、スペイン語、中国語では選択科目として上級コースを配置します。海外留学の道が開かれており、「海外研修プログラム」も課程外の取り組みとして設定します。

【完成期】

7. 3領域をまたがる複眼的思考の醸成

学生が自ら選択する1領域に加え、他領域の授業科目についても領域横断的に履修することにより、複眼的思考を可能にする知見を得られるような教育編成とします。

8. 演習科目による専門性の強化

3,4年次の「グローバル市民演習」では各自が選択した領域に関連する課題について研究します。

9. 卒業論文の作成

各自が選択した領域に加え、場合によっては他領域での学びも組み込み、卒業論文を作成します。

【キャリア形成における2つの柱】

10. キャリア教育の単位化

入学直後の初年度から、学生の社会的・経済的自立を促すキャリア教育の充実にも重点を置き、キャリア科目をカリキュラムとして編成し、正規の科目として単位化します。

11. 教員免許（英語）を取得できる教職課程

指定された科目を履修し所定の単位を取得すれば、中学校及び高等学校教諭（英語）の1種免許を取得できます。

【学修方法】

12. 主体性を引き出すアクティブ・ラーニングの実践
学修方法として、少人数授業と協同学習を活用し、学生が主体的に関わるアクティブ・ラーニングを実践します。

【学修成果の評価】

13. 学修成果の包括的評価

学修成果は、授業科目の修得状況による客観的評価、コンピテンスの項目群を学生が参照し、定期的に自己のパフォーマンスを評価する主観的評価によって包括的に評価します。評価結果の活用を通じて、教育方法の改善につなげていきます。

学部長 木南 英紀
学長 新井 一
理事長 小川 秀興



保健医療学部 | Faculty of Health Science



2018年8月31日設置認可
2019年4月開設

理学療法学科

診療放射線学科

順天堂大学に新学部が誕生

天保9年の開学から180年、
順天堂大学は医学・医療・スポーツ健康科学などの領域を中心に
国際レベルでの進歩に貢献し続けてきました。
そして2019年、私たちは都心で唯一の
保健医療学部、理学療法学科と診療放射線学科を新設します。
最先端医療を、世界のすべての人々へ。
順天堂大学は、チームで発信していきます。
グローバル時代の、新しい医療人を育成する。
それが私たち順天堂の新しい挑戦です。



世界をリードする理学療法士、診療放射線技師を育成

Environment

— 環境 —

Education

— 教育 —

Experience

— 経験 —

特 色

Point 1
順天堂大学に
新たな学部が誕生

Point 2
附属病院と直結

Point 3
最新設備の整った
充実した教育環境

Point 4
経験豊かな教員による
充実の教育指導体制

Point 5
海外協定校を通じた国際化と
グローバル人材の育成

Point 6
スポーツロジでつなぐ
理学療法学と診療放射線学



保健医療学部 | Faculty of Health Science

理学療法学科

選ばれる理学療法士へ
豊かな人間性と確かな技術
時代の変化に対応できる
世界トップレベルの医療人の養成を目指します。



良質な理学療法士を育成

今、医療の現場では“結果が出せる理学療法士”の存在が求められています。本学科では4年間、附属病院のそばで最前線の医療に触れながら、多彩な症例、多彩な療法について学修。豊富なアクティブラーニングを通じて実践力を磨いていきます。

第一線の教授陣が学修を支援

1年次から卒業まですべての学年で少人数制ゼミを実施し、きめ細かな指導で医療人としての心構えを教えます。卒業研究、国家試験、就職活動などを臨床と研究の両方で活躍する経験豊かな教員が、シームレスにサポートします。

世界トップレベルの医療人へ

高齢化の問題は、もはや世界の問題です。現在では日本の理学療法を学ぶために、海外の医療人が順天堂を訪問することも珍しくなくなってきました。本学科では語学力、国際性が磨ける機会も豊富に用意し、良質な医療を世界に提供できる力も育てていきます。

診療放射線学科

本学科では、医療の第一線で活躍できる医療人としての診療放射線技師を育成します。診断部門・核医学部門・放射線治療部門の全部門で活躍できる医療人、それが診療放射線技師です。



教員はプロの医療人ぞろい

プロとして臨床経験豊富な医師や診療放射線技師が、学生の一人一人を学是である「仁」を備えた医療人として育成するために丁寧に指導します。
(正しい知識と技術を授けます。)

実体験して夢への実現力を磨く

附属病院と直結した臨床実習体制を完備し、外部の総合病院など多くの臨床実習体制を整備しています。精緻な技術力を身に付け、学生の医療人としての夢の実現力を磨き上げます。
(具体的な実現力を身に付けます。)

国際化に対応できる医療人となる

来院する患者さんの国際化に対応できるよう、医師や診療放射線技師などの医療人は、外国語によるコミュニケーション能力が求められます。海外の大学とも積極的に連携するなど、語学能力の向上にも努力しています。教員や学生もまた同様に、この環境を活用して、専門知識や技術に加えて外国語能力を高める体制づくりを実行します。
(真のコミュニケーション能力を磨きます。)

学生募集に関するミッション

本学部では、学是である「仁」の精神の基づき、順天堂の長い歴史と伝統の中で培われた安心・安全で質の高い保健医療を提供し、高い倫理観と豊かな人間性を兼ね備えた医療専門職者（理学療法士・診療放射線技師）を育成するため、以下のような資質を備えた学生を求めます。

【学部共通】

- ①「仁」の精神に共感でき、人に対する関心や思いやりがある人
- ②入学後に学ぶ学問領域に興味を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢・態度を有している人
- ③豊かな人間性、柔軟性と協調性を備え、他者との連携・協調を保てる人
- ④国内外の保健医療福祉の分野に広く貢献したいという志のある人
- ⑤高等学校等において能動的に幅広く学び、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている人
- ⑥基本的な生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人



【理学療法学科】

- ①「気配り、目配り、思いやり」を持って他者との関わりを大切に、相手の立場に立って物事を考えることができる人
- ②ヒトの運動や動作のメカニズムに関心がある人
- ③理学療法士になる意思が強く、目標達成のために様々な方法を見つけ、粘り強く努力を続けることのできる人
- ④社会の動きに関心を持ち、コミュニケーション能力がある人

【診療放射線学科】

- ①人を思いやる心、労わる心を持ち、相手の立場に立って物事を考えることができる人
- ②生命科学や放射線科学に興味を持ち、様々な分野で将来に亘り社会に貢献しようとする意欲のある人
- ③学ぶ意欲や挑戦しようとする意欲があり、粘り強く主体的に学修する意志のある人
- ④社会の動きに関心を持ち、コミュニケーション能力がある人

順天堂の歩みは、時代のニーズに呼応しています。

順天堂の歴史は、180年にわたります。「仁」の理念と「不断前進」の精神で時代のニーズに応えながら、人間の生命と健康を支えるために邁進してきました。そして、21世紀を迎えたいま、順天堂は、医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、保健看護学部、国際教養学部、保健医療学部を擁するわが国屈指の“健康総合大学”へと大きく成長しています。

医学塾から医学校、そして大学へ

- 1838年 ● 順天堂医学塾創立
- 1873年 ● 順天堂医院開院
- 1896年 ● 順天堂医院看護婦講習所開設

「医学塾を中心に心技ともに良き医師の育成」をめざして

- 1943年 ● 順天堂医学専門学校開設
- 1946年 ● 順天堂医科大学に昇格
- 1951年 ● 新制・順天堂大学の開学、体育学部開設

- 1952年 ● 医学部医学科を開設
- 1954年 ● 看護婦講習所を改組、順天堂准看護婦学院開設

- 1959年 ● 大学院医学研究科(博士)開設
- 1961年 ● 順天堂准看護婦学院を医学部附属高等看護婦学校に改組・改称

- 1964年 ● 高等看護婦学校を順天堂高等看護学校に改組・改称
- 1967年 ● 順天堂伊豆長岡病院(現・静岡病院)開院

- 1971年 ● 大学院体育学研究科(修士)開設
- 1976年 ● 順天堂高等看護学校を順天堂看護専門学校に改称

- 1984年 ● 順天堂浦安病院開院

健康志向のニーズに応え、真の“健康総合大学”を確立し、国際拠点大学・大学院大学へ

- 1988年 ● 創立150周年、さくら新キャンパス誕生
- 1989年 ● 順天堂看護専門学校を順天堂医療短期大学へ改組・開学(浦安)
- 順天堂越谷病院開院

- 1993年 ● 体育学部をスポーツ健康科学部に改組(さくら)
- 1997年 ● 大学院体育学研究科を大学院スポーツ健康科学研究科に改称

- 2000年 ● 大学院スポーツ健康科学研究科(博士)開設
- 2004年 ● 順天堂医療短期大学を4年制の医療看護学部へ改組・改称

- 順天堂東京江東高齢者医療センター開院
- 2005年 ● 順天堂伊豆長岡病院を順天堂静岡病院に改称

- 順天堂練馬病院開院
- 2007年 ● 大学院医療看護学研究科(修士)開設

- 2010年 ● 保健看護学部開設(三島)

- 2013年 ● 創立175周年

- 大学院医学研究科(修士)開設
- 2014年 ● 大学院医療看護学研究科(博士)開設

- 2015年 ● 国際教養学部開設(本郷・お茶の水)

- 2019年 ● 保健医療学部〔設置認可〕



順天堂の学祖
佐藤 泰然

・1838～

学祖・佐藤泰然は、医を志して長崎で蘭学を学んだのち、天保9(1838)年に、江戸・薬研堀にオランダ医学塾「和田塾」を創立。その後、下総・佐倉に移り、医院兼学塾の「順天堂」を開きました。泰然の業を継いだ二代目学主・佐藤尚中は、明治6(1873)年に佐倉の順天堂を本郷・湯島に移転しました。順天堂の礎は、この2人によって築かれたのです。

・1943～

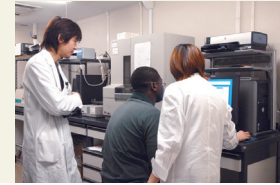
順天堂は、「心技ともに良き医師の育成」の目標をさらに前進させるため、昭和18(1943)年に医学専門学校を開設。その3年後には順天堂医科大学と改称しました。昭和26(1951)年には現在の順天堂大学と改称するとともに、医学知識を備えた保健体育指導者を養成する目的で、体育学部を創設。以来、医学界だけでなく、保健体育、スポーツの分野にも優れた人材を輩出しています。

・1988～

順天堂は、少子高齢化や国民の医療・健康に対する意識の高まりを受け、時代のニーズに応え得る医療看護職の養成に向けて医療短期大学を開設しました。また、スポーツやスポーツ産業等を取り巻く社会的環境の変化と社会的要請に応えるため、体育学部をスポーツ健康科学部に改組。健康とスポーツの科学的究明とその創造的応用によって、健康で文化的な生活形成に寄与する人材の養成に努めています。

21世紀を迎え、医療の高度化や長寿社会の一層の進展に伴い、メディカルケア、ヘルスケアの一翼を担う質の高い看護サービスが求められています。そこで、医療短期大学を改組し、医療看護学部を開設しました。順天堂はいま、医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、保健看護学部、国際教養学部、保健医療学部連携のもと、「仁」の心を持つ医療人、健康管理者、スポーツ教育者を養成する真の“健康総合大学”として、教育界をリードしています。

文部科学省私立大学
高度化推進事業に
選定された
大学院研究施設



医学研究科(博士課程)

国内外で活躍できる研究者、
高度専門職業人育成を目指す国内拠点順天堂！

順天堂大学大学院医学研究科は、医学を人間に関する総合科学と位置づけ、不断前進する医学的知識・技術を理解、実践し、更にはこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場です。ここでは、医師・医学者を科学者のみならず感性豊かな教養人として育成することを目的としています。即ち学は「仁」の心を兼ね備えた医学・医療の指導者・実践者を国際的レベルで育成する教育研究の拠点であります。

平成 24 (2012) 年度には、国立がん研究センターと、平成 26 (2014) 年度には、国立国際医療研究センター及び国立病院機構相模原病院、平成 30 (2018) 年度には国立研究開発法人理化学研究所と、それぞれ協定を締結し、新たな画期的取組みとして、連携大学院制度をスタート。さらに、平成 24 (2012) 年度に文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」にも採択される等、がん医療に携わるがん専門医療人の養成を目指すと同時にその姿勢が高く評価されております。また、平成 29 (2017) 年度には文部科学省の「基礎研究医養成活性化プログラム」に採択され、本学及び連携大学（東京大学、福島県立医科大学）を ICT と循環

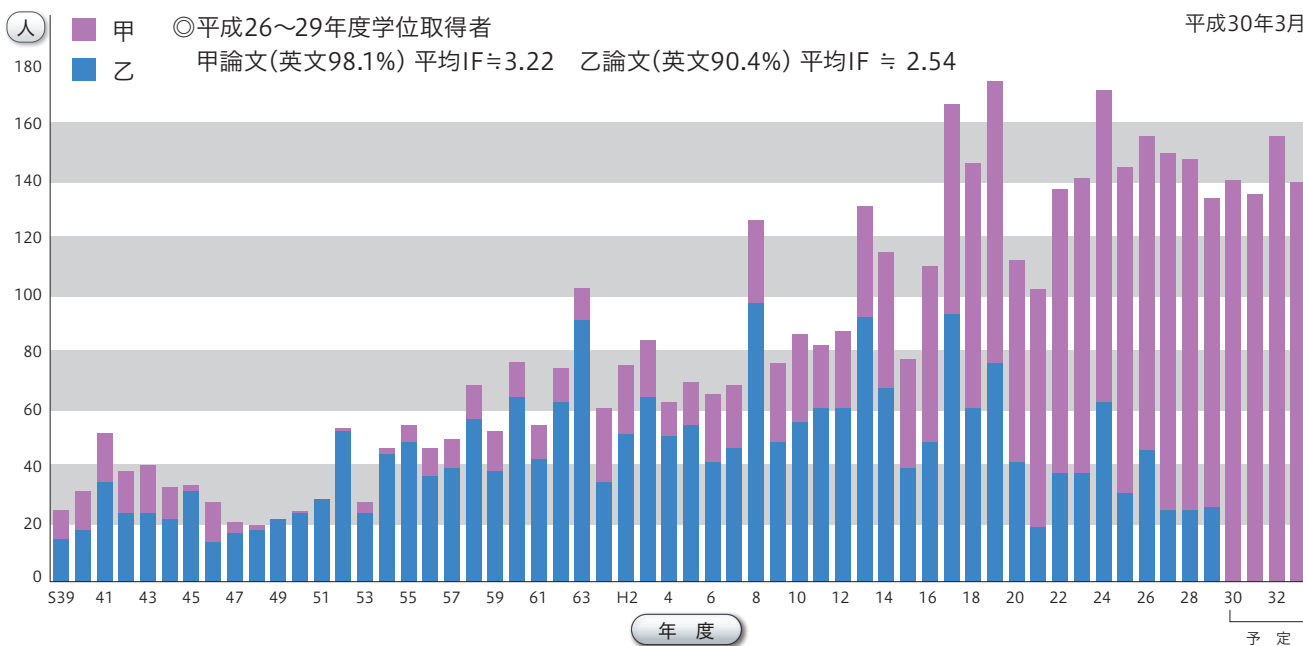
型人材交流で結び、地域中核病院において必要とされる死因究明、遠隔病理診断、そしてゲノム医療の知識を身に付けた病理医を育成し、地域における病理医の配置実現を目指しています。このような本学の基本理念と高い倫理観に立脚して、生涯にわたって医学と向き合う姿勢を持った基礎医学者と臨床医学者、或いはその両方を兼ね備えた Physician-Scientist を育成し、究極的には心身共に病める人々を救済することをその存在目標としています。また、博士論文において、主論文と副論文の掲載される主要国際誌の IF (インパクト・ファクター) の合計が 6.0 以上である場合などは、3 年間で課程を修了することができます。

環境整備の充実も図っており平成 24 年度から大学院講義は、ICT 環境が整備された講義棟（センチュリータワー）にて開講され、各キャンパス、附属病院間を専用のネットワークで結び、遠隔講義を行うことが可能となっています。

なお、教育研究活動等を勘案し、成績優秀と認められた大学院生には、学費減免の措置が講じられます。

順天堂大学博士(医学)学位授与者数推移

甲 2,004号 乙 2,421号 (計:4,425号)



文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」により、
医学研究科(博士課程)のプログラムの組織的展開を大幅に強化しました

学 年	カリキュラム			研究支援
	コアプログラム		専門プログラム	
1年次	入学式 / オリエンテーション	Unit3 レクチャーシリーズ 必修・選択必修・選択 1. 大学院特別講義 2. 大学院特別講義(浦安病院) 3. 大学院特別講義(英語) 4. E-Learning 5. Current Topics 6. 英語集中プログラム① 7. 英語集中プログラム② 8. 日本語集中プログラム① 9. 日本語集中プログラム② 10. 日本語集中プログラム③ 11. 日本語集中プログラム④ 12. 日本語講座①(中級) 13. 日本語講座②(上級) 14. 日本語講座③ (研究科長日本語特別講義) 15. 抗菌薬使用に関する ベーシックレクチャーシリーズ 16. 医療経営学入門 17. 次世代先導的がん研究者養成 コース連携大学ICT特別講義 18. 次世代先導的がん 専門医療人養成コース (インテンシブ・コース)	Unit4 専門コース 必修 講義・演習・実験実習 1. 研究者養成コース/ 高度臨床専門家養成コース 1) 環境と人間系 2) 人体の生命機能系 3) 人体の再生・再建系 4) 附属病院 5) 寄附講座 6) 共同研究講座 7) 連携大学院 2. スペシャリスト養成コース 1) 感染制御科学者養成コース [感染制御科学研究センター] 2) 次世代先導的 がん研究者養成コース [がんプロフェッショナル 養成基盤推進プラン] 3) 健康・予防医学専門家 養成コース [スポーツロジセンター]	C o u r s e s 専 門 研 究 研 究 基 盤 セ ン タ ー ・ 研 究 戦 略 推 進 セ ン タ ー
	Unit1 基礎教育 必修 1. Basic Course ----- 2. Research Support Course (研究基盤センター集中コース)			
	Unit2 実践教育 選択必修 1. 分子病態生物学 2. 画像病理形態学 3. ライフサイクル医学 4. 免疫アレルギー学 5. 腫瘍医学 6. 神経医学 7. ライフスタイル医学 8. 社会の中の医学 9. 再生・再建医学 10. 動物実験 11. 環境中の耐性菌分離と同定法体得 12. 臨床統計入門 13. 臨床統計応用 14. 医療・医学入門[ビデオオンデマンド授業] 15. 臨床オミックス			
	研究進捗状況評価(8月) 研究進捗状況評価「研究計画書・研究指導計画書」の作成・提出			
	1年次到達目標に基づく成績評価(自己評価／教員による評価)			
2年次	Unit1 基礎教育 必修 3. Advanced Course	[参 考] 1.~2.[1~3年次で各3回必修] 3.[1~3年次で各2回必修] 4.~7.15.~18.[選 択] 8.~14.[留学生必修]	Unit5 専門研究 必修 論文基礎・応用演習 ・ポスターセッション ・研究指導(論文作成指導)	
	研究進捗状況評価(3月) 「研究進捗状況報告書」の作成・提出			
	2年次到達目標に基づく成績評価(自己評価／教員による評価)			
3年次	研究進捗状況評価(3月) 「ポスターセッション」による中間評価			
	3年次到達目標に基づく成績評価(自己評価／教員による評価)			
4年次	学位論文の作成・投稿			
	研究進捗状況評価(11月申請締め切り) 学位審査[最終試験](12月~2月頃)			
	4年次到達目標に基づく成績評価(自己評価／教員による評価)			
	修了要件 30単位			
学 位 授 与				

大 学 院

医 学 研 究 科 (修士課程)

“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を
国際レベルで人材養成

平成 25 (2013) 年度より修士課程を設置し、医学部以外の教育を受けた学生に対して、基礎的な医学・生命科学・医療学の概要を修得できるようにしました。医科学専攻カリキュラムを履修することで、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢を持ち続け、「仁」の心を兼ね備えた、“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を国際的レベルで人材養成します。

また、平成 31 (2019) 年度より疫学、生物統計学、社会科学・行動学、保健行政・医療管理学などを修め、臨床研究を実施するための実務・運営能力を身につけた高度専門職業人及び保健施策、健康指導、国際保健活動などグローバルヘルスの現場に必要とされる実践的能力を持った専門家を養成するために公衆衛生学コースを新設します。

本専攻の教育は、一般教育科目・専門教育科目・特別研究科目の3つで構成されています。昼夜開講制を導入しており、社会人の方でも平日勤務終了後の夜間等に講義出席することで単位を修得することが可能であるほか、各研究分野

において、各自のバックグラウンドに応じた個別的教育プログラムが設定されます。

医学分野以外の教育を受けられた方のうち、すでに医学・医療分野で活躍する社会人の方には、専門職者としてリーダーシップを発揮できる医療人として、また、専門性を更に高め、研究者の立場に立って助言できるリサーチアドミニストレーターとして養成します。医学医療の基礎を学んだ経験が無い方にも、基礎医学および基礎臨床医学分野の総合的基礎医学知識を学ぶ機会を提供し、将来、医療関連分野の現場で活躍できるリーダーとして育成します。

特別研究科目において関心のあるテーマを研究指導担当教員と探究し、得られた専門知識を医科学研究の発展のため継続的に活かすことのできる学際的な人材を養成します。博士課程への進学を目指す方は、修士課程修了後、本学大学院医学研究科博士課程へ進学し、将来、大学の研究員・技術員、官公庁、企業、病院等医療分野への就職も期待されます。

一般教育科目

一般教育科目では、多様な背景を持つ方が、医学の各分野を学習するために必要な基礎医科学知識を得られる科目を開講しています。既に医学医療分野での基礎的な知識を持つ方に対しては、その知識を再認識でき、また最新の医療・医学知識を修得できる科目構成となっています。

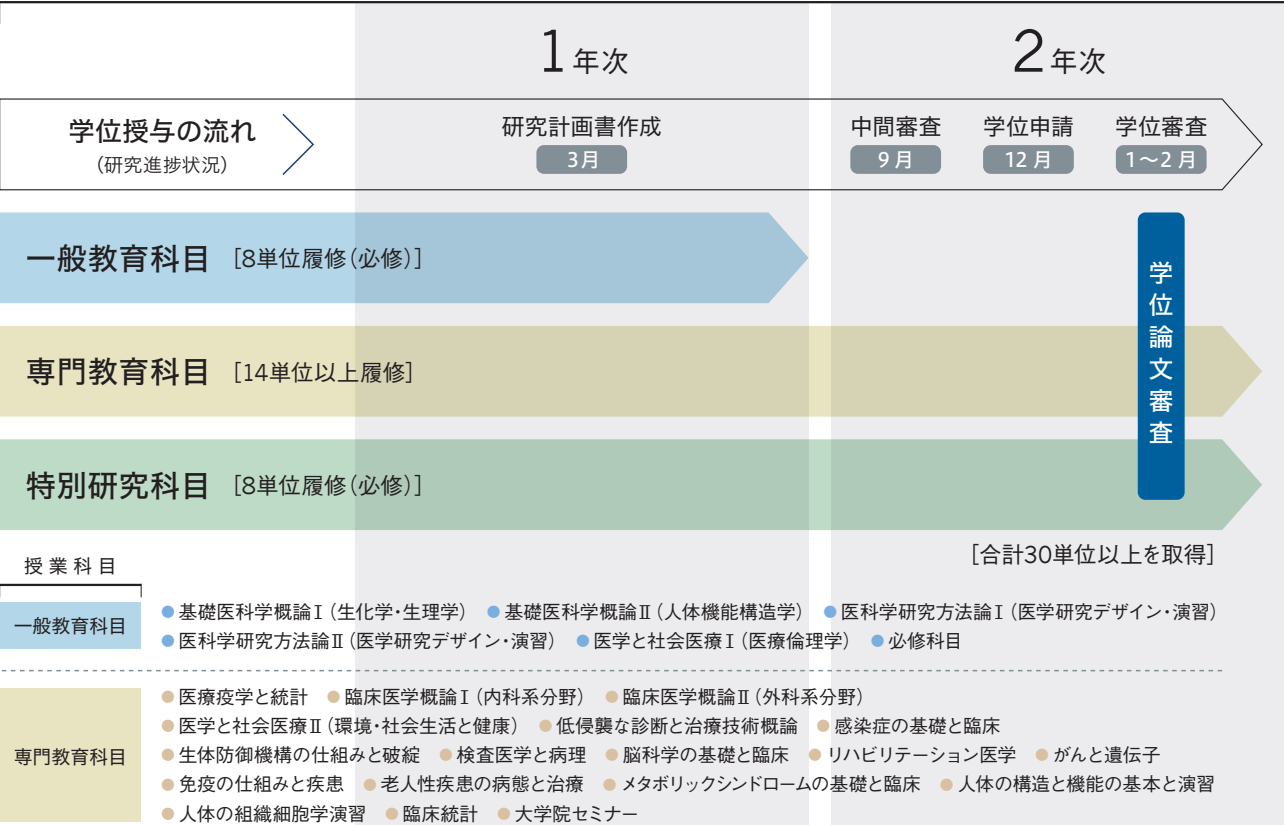
専門教育科目

専門教育科目では、基礎・臨床の専門的知識を多用な研究者の指導から修得することができます。同時に、研究の幅を広げながら、最先端の医療・医学の知識の修得を図ります。大学院セミナーでは Current Topics として設定された多くの講義等を履修することで、より専門的知識を得ることができ、医学医療等の分野で活躍できる人材を育成するための教育が行われています。

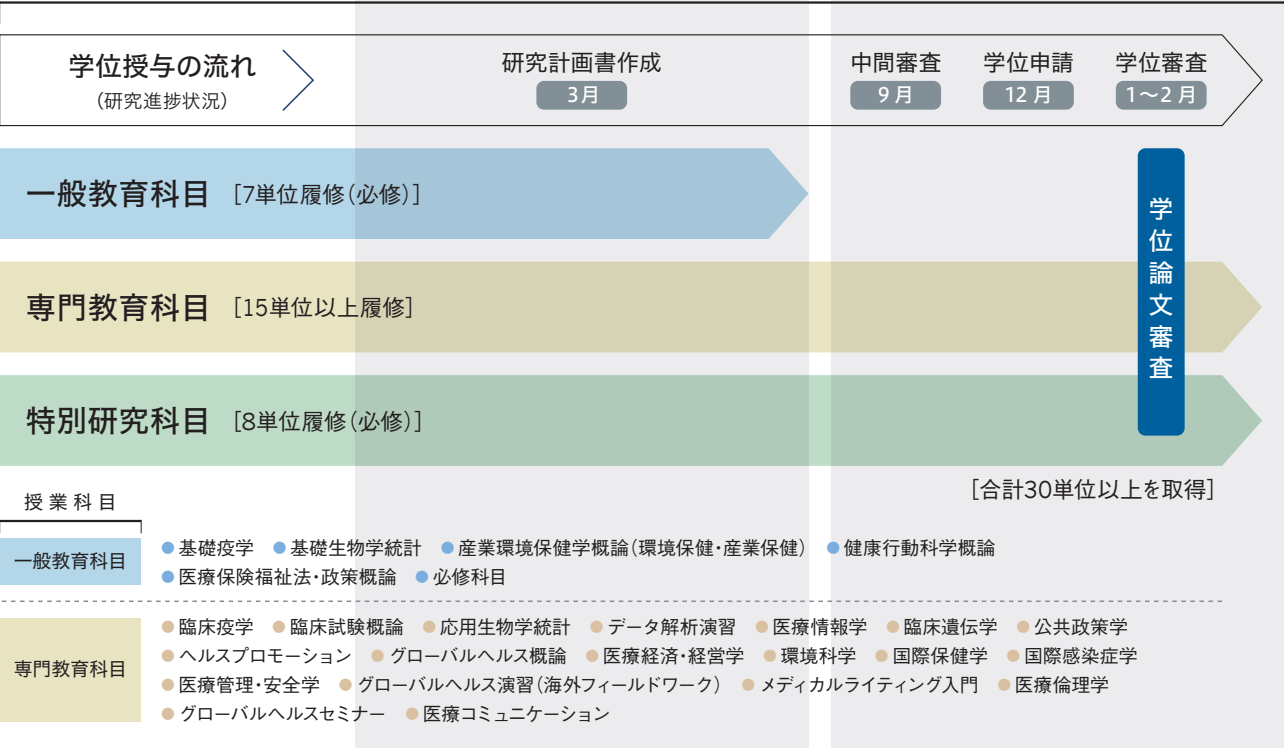
特別研究科目

特別研究科目では、多様な教育研究分野から関心のある分野を探索し、修士論文として研究成果とするため、質の高い研究指導が行われます。各研究分野の研究指導教員のみならず、複数の教員から研究指導を受けられるようになっており、基礎医科学研究の幅を広げながら修士論文を作成することのできる指導体制が整備されています。

【医科学コース】



【公衆衛生学コース】



大 学 院

スポーツ健康科学研究科

スポーツの科学的基礎及び

社会科学的価値とヘルスプロモーションの追究

順天堂大学では昭和 46 (1971) 年、私立大学の体育系大学院として日本初の体育学研究科を開設。その後、体育学部をスポーツ健康科学部に改組したことに伴い、大学院もスポーツ健康科学研究科と名称変更しました。

さらに平成 12 (2000) 年には、博士課程設置が認可されました。現在、大学院は定員 61 名の博士前期 (修士) 課程と、定員 10 名の博士後期 (博士) 課程で構成されています。

平成 18 (2006) 年から社会人のリカレント教育を目的として、博士前期 (修士) 課程【夜間クラス】を東京本郷・お茶の水キャンパスにおいても開講しました。医学研究科、医療看護学研究科との連携を図り、健康総合大学院大学としての特性を活かしたスポーツ健康科学の専門家を養成しています。

本研究科は、本学の学是「仁」と「不断前進」の理念のもと、スポーツと健康の医科学的研究を行い、人々の健康で文化的な生活形成に貢献できる実践的かつ創造的な人材を育成することを目的としています。スポーツ健康科学部の 3 学科に対応する 3 つの研究領域、即ち「スポーツ科学」「スポーツ社会科学」「健康科学」が大きな柱となっています。

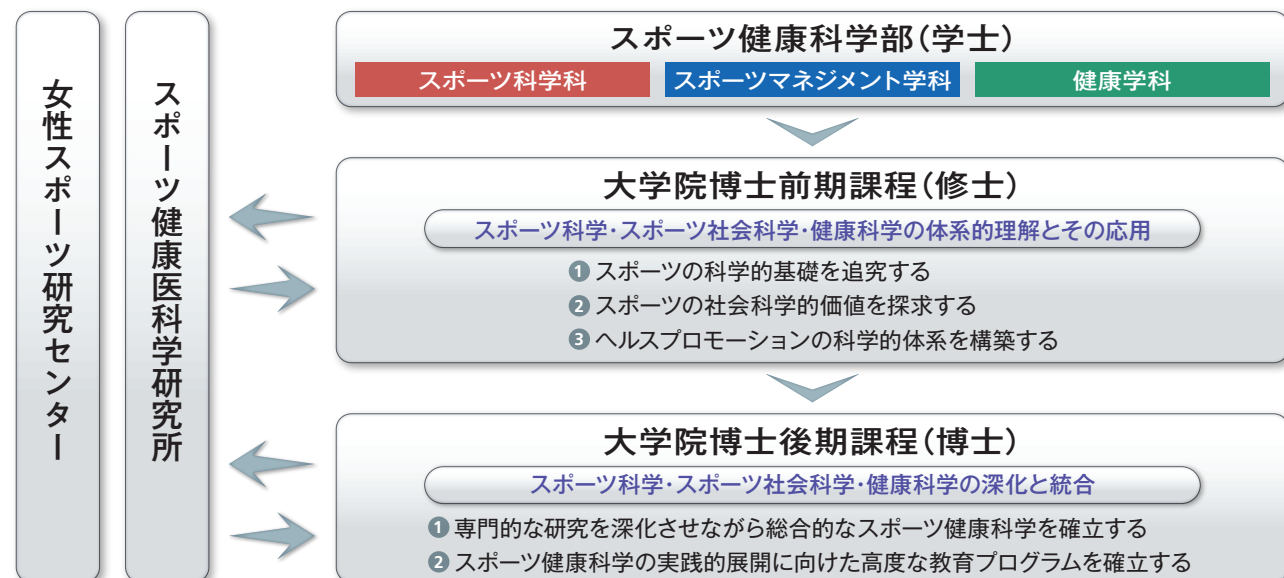
「スポーツ科学」では、国際レベルの競技から一般の人々が気軽に参加できる楽しいスポーツや健康のためのスポーツまで、あらゆるスポーツを対象に、従来の体育学研究の成果と方法論を生かしつつ、その特性や指導の基礎となる科学的原理を追究します。

「スポーツ社会科学」では、スポーツビジネスやスポーツマスコミなど、スポーツと社会に大きな影響力を持つ社会事象を対象に、社会学及び経営学を基礎に、コミュニケーション論、組織開発論などの研究成果やその社会科学的研究方法の一つである社会調査法を活用して、スポーツの社会科学的価値の本質理解と文化的・経済的効用を探究します。

「健康科学」では、健康な人、障害のある人など、様々な健康水準にあるあらゆる年齢層の人々の主体的な健康の保持増進に関わる生活現象を対象に、生涯を通しての健康的なライフスタイルの形成と快適環境の形成とを意図するヘルスプロモーションの推進と体系的な方法論を確立します。

博士前期課程においては、スポーツの科学的基礎、社会科学的価値並びにヘルスプロモーションの考究に関わる学習と研究を通して、その成果を人々の健康や体力の維持・向上及びスポーツの社会的発展に体系的に応用できる実践的・理論的根拠を身につけた人材を育成することを目的としています。

博士後期課程においては、スポーツと健康の科学に関する知の修得と創造に貢献する研究と教育を通して、独創的かつ先端的な研究を独立して行うことができ、さらに単なる専門分化にとどまることなくその成果をスポーツ健康科学の発展に応用し、より高度な教育プログラムの開発ができる高度な専門家・指導者を育成することを目的としています。



医療看護学研究科

高度な看護実践能力および教育・研究能力を身に付け

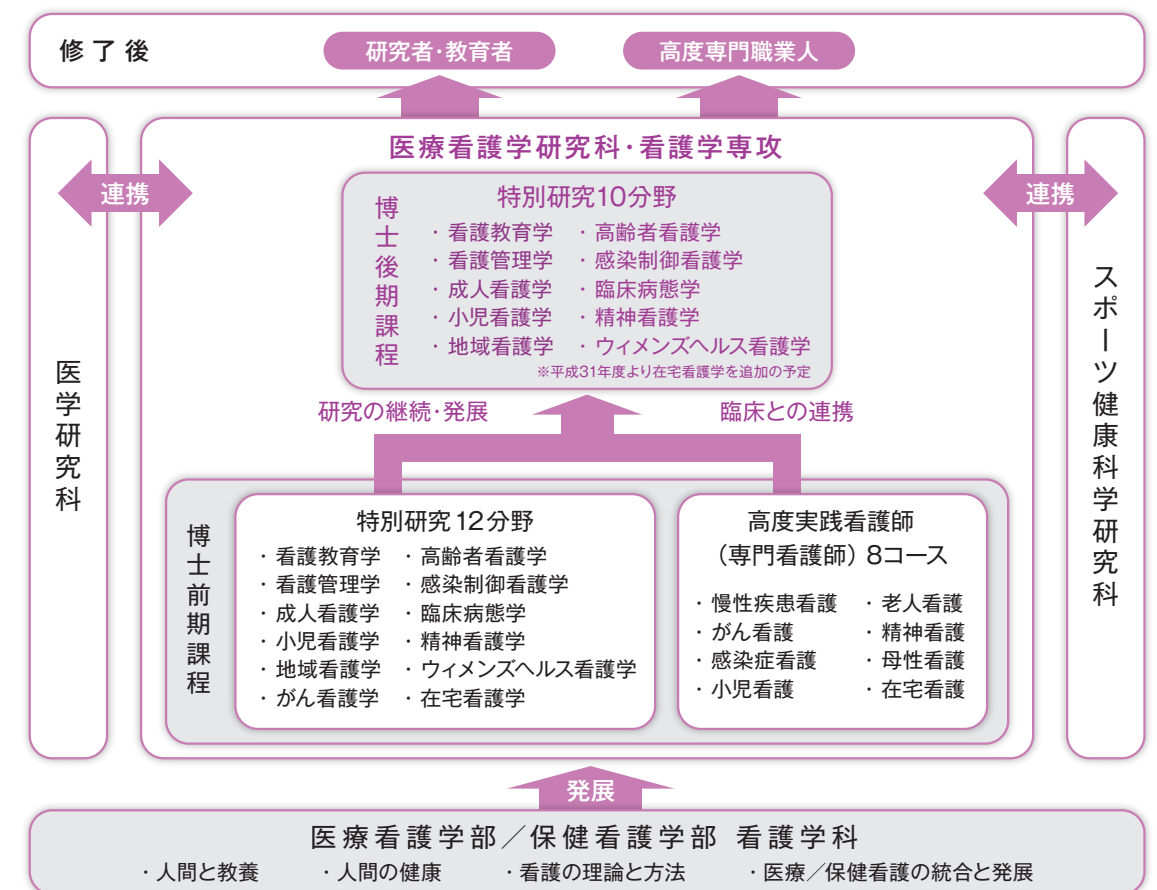
国内外の人々の健康に寄与できる看護職者を育成

健康に課題を持つ人の支援や病気を持つ人に質の高い看護ケアを提供するためには、常に新しい知見や諸理論を学び続ける必要があります。研究成果を活用して保健・医療・福祉環境の変化に斬新的・創造的に対応できる看護実践能力を養い、国内および国外の人々の健康に寄与することも大切です。

日々変貌する保健・医療・福祉の場では、科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を発揮する必要性が求められています。また、看護学は、健康を希求する人々に貢献する実践科学として、新たな理論や方法論を開発し発展させる必要があります。さらに、看護職者は対人関係を基盤として成り立つ職業であり、看護する人とされる人が共に学び成長するために、豊かな学識と人間性を生涯にわたり涵養することも重要です。

このような人々のヘルスケアニーズや看護学の学問的発展に応えるために順天堂大学大学院医療看護学研究科では、学是である「仁」の精神に基づき、高度な実践能力を持つ看護専門職者および医療看護学のあり方を探究する教育者・研究者を育成し、国内外の人々の健康に寄与することを目指しています。

本研究科では、医学研究科およびスポーツ健康科学研究科と連携し、健康総合大学としての強みを生かし学際的な視点から看護学を探究できる教育を行っています。また、社会人が仕事をしながら学べるように昼夜開講とし、本研究科で開講している特定科目を履修する科目等履修生も受け入れ、看護職者として継続的にキャリア発達ができるよう支援しています。



臨床研修

順天堂(医院)における「初期臨床研修」「専門研修」が新しく生まれ変わりました。

順天堂は、若手医師が将来目指す医師像に向かって、初期臨床研修修了から医学博士の学位取得、認定医・専門医取得、そして国内外への留学等、医師としての夢の実現・キャリア形成ができるよう支援いたします。

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A－1 初期・大学院併用コース	医師国試合格	初期臨床研修(レジデント)									
			大 学 院 医 学 研 究 科				PD／助教				
A－2 初期・大学院併用コース	医師国試合格	初期臨床研修(レジデント)									
				大学院医学研究科			PD／助教				
B 初期・大学院ストレート進学コース	医師国試合格	初期臨床研修(レジデント)									
		(順天堂大学以外で修了した方も全て含む)		大 学 院 医 学 研 究 科			PD／助教				
C シニア・レジデント特別コース	医師国試合格	初期臨床研修(レジデント)									
		(順天堂大学以外で修了した方も全て含む)		シニア・レジデント			大 学 院 研 究 科			PD／助教	
D－1 ECFMG特別コース①	医師国試合格	初期臨床研修(レジデント)									
		(順天堂大学以外で修了した方も全て含む)		大学院医学研究科			PD／助教				
				順天堂国際医学教育塾(USMLEコース)							
				USMLE STEP 1 国内受験	USMLE STEP 2 (CK) 国内受験	留学(6ヵ月以内) USMLE STEP 2 (CS) 米国受験	留 学 USMLE STEP 3 取得 最長3ヵ月				
D－2 ECFMG特別コース②	医師国試合格	初期臨床研修(レジデント)									
				順天堂国際医学教育塾(USMLEコース)							
				USMLE STEP 1 国内受験							
					大学院医学研究科		PD／助教				
					USMLE STEP 2 (CK) 国内受験	留学(6ヵ月以内) USMLE STEP 2 (CS) 米国受験	留 学 USMLE STEP 3 取得 最長3ヵ月				

※CK(Clinical knowledge)… 臨床医学知識を問う試験

※CS(Clinical Skill)…………… 模擬外来患者に対する臨床技能試験(フィラデルフィア・シカゴ・アトランタ・ヒューストン・ロサンゼルス)

大学院医学研究科(博士課程)について

初期臨床研修との併用期間を除き、最長4年間、処遇されます。

- (1) 診療従事手当月額：100,000円
- (2) 社会保険等：労災保険適用
- (3) 有給で研修が可能：原則「週1回(1日)もしくは週2回(半日×2回)」の外勤先が紹介されます。
- (4) 本学医学部卒業者及び本学附属病院で初期臨床研修を修了した者は、大学院入学時に奨学金給付制度があります。
- (5) 大学院生は、原則、順天堂附属病院群(Ⅰ群)で診療、臨床研究を行います。
- (6) 基礎－臨床研究遂行上、必要に応じて学内外の研究機関に在籍・出向します。

※大学院へ進学することが条件となります

- (1) 本給月額：135,000円、賞与なし
- (2) 社会保険等
 - ◎日本私立学校振興・共済事業団の私学共済に加入
 - ◎雇用保険、労災保険適用
- (3) 「週1回(1日)」もしくは「週2回(半日×2回)」の外勤(病診・病病連携)先が紹介され、有給で研修が可能です。
- (4) シニアレジデントは、原則、順天堂附属病院群(Ⅰ群)で診療を行います。

シニア・レジデントについて

初期臨床研修について

－ 医師としての基本的診療能力を修得しながら生涯設計を実行します －

募集理念 キーワード

- 1. 豊富で多彩な臨床例
- 2. 臨床(基本的診察能力・専門性)・研究のための充実した教育陣(熱心な指導)
- 3. 個々のニーズに合った将来の進路に向けた指導(専門性と関連領域の教育体制の確保)
- 4. 進路に向けた柔軟性のある研修プログラム
- 5. 初期臨床研修修了後、個々のニーズに合ったスムーズな進級
※初期臨床研修2年目で大学院入学が可能です。
(臨床研修医2年生と大学院1年生として在籍することができます。)
- 6. 出身校を問わない(学閥がない)
- 7. 医学部附属6病院(3,400床以上)で研修が可能
- 8. 各種研修会・講習会など幅広い学習機会
- 9. チューター制を導入(希望科と臨床研修センターの指導医が担当)
- 10. 小児科プログラム・産科プログラムの設置

研修内容

- ◎ 基本的診療能力を身につけながら、将来の進路に向けて指導します。
- ◎ 将来の進路科の関連領域を含む専門性の高い診療能力を修得できます。
- ◎ 進路が決まっている方、進路の範囲がある程度決まっている方、進路に迷っている方にも柔軟に対応します。
- ◎ 小児科プログラム、産科プログラムでは、関連領域の研修も考慮した特徴あるプログラムを準備しています。

専門研修について

募集理念 キーワード

- 1. 豊富な臨床症例
- 2. 充実した教育陣(専門医・指導医、認定施設)
- 3. 出身校を問わない(学閥がない)
- 4. 生活面を保障
- 5. 医学部附属6病院でローテート研修が可能
- 6. 魅力ある大学院(専門医取得の期間として加算が可能)
- 7. 国内外留学を推薦



大学院コース

- ◎ 大学院は4年制ですが、優秀な論文を完成すれば3年間で学位(医学)甲がとれます。
- ◎ 各科専門医もとれるよう指導が受けられます。
- ◎ 本学以外の大学・病院・研究所・企業等に就職、又は勉学中の方でも臨床研究(基礎も含む)の研究者・教育者として適格と認められたもの(修士課程修了者又はそれと同等の実力がある者を一応の原則とします)は、勤務を継続しつつ、夜間・休日等を利用して、社会人入学者として博士課程に入学することができます。

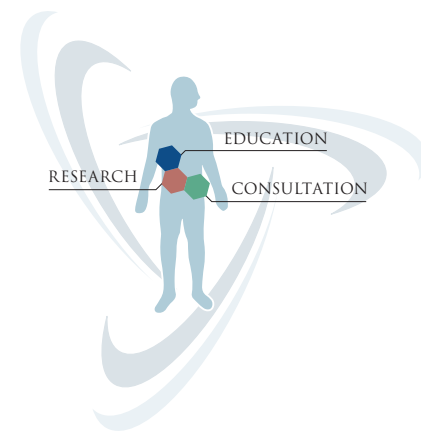
2 シニアレジデント特別コース

- ◎ 初期臨床研修医修了後、「シニアレジデント」を経て大学院へ進学するコースです。
- ◎ 「シニアレジデント」の期間は、原則3年間(1または2年間も可)です。
- ◎ 大学院へ進学することが条件となります。
- ◎ 「シニアレジデント」は、順天堂附属病院群を中心にローテーションを行い、豊富な症例を経験します。
ローテーションは臨床研修センターにて管理します。

3 専門医・専攻生コース

- ◎ 専門医・専攻生コースでは、臨床各科に所属し、順天堂に集まる多数の患者さん(症例)と優秀な臨床教育スタッフより最短距離(年数)で専門医を目指した臨床指導が行われます。
- ◎ 専門医修得を優先しますが、学位(医学)乙も取得できるよう指導が受けられます。

順天堂を構成する 3つの柱



教育

「仁」の精神に基づき
社会から支持され続ける存在を目指す

誇るべき順天堂の教育理念

順天堂は、江戸・天保年間から西洋医学教育を開始した、わが国で最も歴史のある医系教育機関です。天保9（1838）年に学祖佐藤泰然が、江戸の薬研堀にオランダ医学塾「和田塾」を開いて以来、「仁」を学是に、「心技ともに良き医師の育成」を目標に掲げ、医学、医療の担い手育成に邁進しています。その精神は、「生命の世紀」といわれる21世紀を迎えた今日に至るまで連綿と受け継がれてきました。

医学、生命科学は急速な発展、進歩を遂げていま

すが、それに伴い医療や健康に対する国民の関心は大きな高まりをみせています。順天堂は、最新医療に関する知識の修得と技術の伝授に努めるとともに、高度な医療の知識や技術だけでなく、「患者の痛み」が理解できる心と豊かな人間性・感性を兼ね備えた医療の確立と医師の育成を目指しています。それこそが、順天堂が誇るべき教育理念といえましょう。

この理念に基づき、人間形成の過程におけるゆとりある教育、学生の個性を引き出す教育、自己学習の意欲を喚起する教育を柱に据え、順天堂独自の教育が進められているのです。順天堂大学は現在、医学



部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、保健看護学部、国際教養学部の5学部で構成されていますが、順天堂の学是「仁」は全学部貫かれ、息づいています。平成27（2015）年度に開設した国際教養学部では、この「仁」の精神を活かし、真のグローバル人材の育成を目指します。

成果を挙げる少人数教育

医学部とスポーツ健康科学部の人間形成の場となっているのが、1年次の全寮生活です。学生は、千葉県のさくらキャンパスにある「啓心寮」で、共同生活を送ります。

これは開学以来変わることのない順天堂の伝統であり、「自由に振る舞って、しかも他人に迷惑を及ぼさぬ社会的訓練の場」となっています。全寮生活によって一生の友が得られるとともに、他を思いやる温かい心や協調性が育まれ、明日の医療、健康、スポーツを担う人材が育っていくことは間違いありません。

学生の個性を引き出し、自己学習の意欲を喚起する教育としては、学生のアクティブな自主学習を促していることが、順天堂の教育の特長として挙げられます。授業や実習は、教員からの一方通行とらないよ



Focus

自分を成長させる場となる
全寮生活

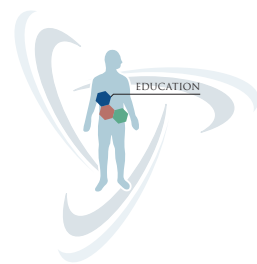
入寮前は共同生活への不安や抵抗感を抱く学生もいるようですが、入寮式で2年生の室長が開催する歓迎会やルームメイトとの顔合わせで、不安や緊張は瞬く間に解消してしまいます。

そして1年後、学生の多くは、「部活の合宿のようで、あっという間の1年だった」「家族のように楽しく暮らせた」「生涯の友人を得ることができた」と振り返ります。もちろん、共同生活ではルールを守り、他人を思いやる心が大切です。「自分を見つめる絶好の機会になった」「人間関係の大切さを学んだ」という声が示すように、集団の中における個の確立を醸成し、自分を大きく成長させる場となっています。

教育

う、少人数授業・小グループ学習を積極的に導入し、学生の自主性や学習意欲が自然と身につくよう配慮されています。

例えば、医学部では附属病院において、3～4人1グループのきめ細かな指導体制のもと、病状を正確に把握するための問診の方法や診察法の技能、態度などを習得していきます。また、医療看護学部及び保健看護学部においても、少人数教育を導入し、きめ細かな指導によって、看護実践現場での的確な状況判断と問題解決能力を高めています。



社会ニーズに真摯に対応

順天堂は、開学以来の学是、教育理念を貫き通す一方で、常に時代の動向、ニーズを迅速・的確にキャッチし、変化に即応した改革も進めてきました。

「体育・スポーツと健康を科学的に究明し、健康・体力の保持増進の道を探究しつつ、少人数制による全人的教育をもって、医学的知識の豊かな保健体育指導者を養成する」。この教育目標を掲げて昭和26(1951)年度に創設された旧体育学部は、わが国の保健体育分野での大学教育を切り拓く上で、先進的な役割を果たしてきました。

そして、スポーツを行う機会の量的拡大と質的变化、スポーツ産業の拡大、少子高齢化の進展など、スポーツを取り巻く環境と社会的ニーズの変化をいち早く捉えた順天堂は、心身の健康維持、バランスの取れた健康生活を医学とスポーツ健康科学の両面から探究していくことを目的に、平成5(1993)年度、体育学部をスポーツ健康科学部に発展的に改組転換し現在に至っています。

また、順天堂は明治29(1896)年から看護職養成に取り組んできましたが、看護、介護へのニーズの高まりにこたえていくため、平成16(2004)年度、順天堂医療短期大学を改組して、4年制の医療看護学部を開設。さらに、平成22(2010)年度に保健看護学部を開設しました。120年の伝統を誇る順天堂の看護教



育「日本一優しい、心技共に優れた看護師の育成」を継承し、全人教育に基づいて、質の高い看護サービスを提供する人材の養成に取り組んでいます。

平成24(2012)年度には、文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業に採択されました。次世代の基礎医学研究者養成は国家的急務であり本学では国際感覚を有した研究者の養成、研究成果を臨床へ橋渡しするマネジメント能力にも長けた人材を養成します。

有能な人材を各界に輩出

こうして順天堂はいま、わが国屈指の「健康総合大学」に成長しました。学部間が連携し、人材交流や情報交換を図るとともに、常に医療現場からのフィードバックに努めているのが最大の特長だといえましょう。

開学以来の揺るぎない教育理念と、時代をリードする先取の精神に基づいたカリキュラムと指導法によって、順天堂大学医学部の医師国家試験合格率は、全国国公私立大学80校中2位(過去10年間、及び20年間の平均)の好成績を収めるなど、大きな成果を挙げています。そして、ヘルスケアを担う人材、スポーツの場においてリーダーシップを発揮する有能な実践的指導者が順天堂から巣立っています。

さらに国際社会で活躍する真のグローバル人材の育成にも今後、益々、力を入れていきます。



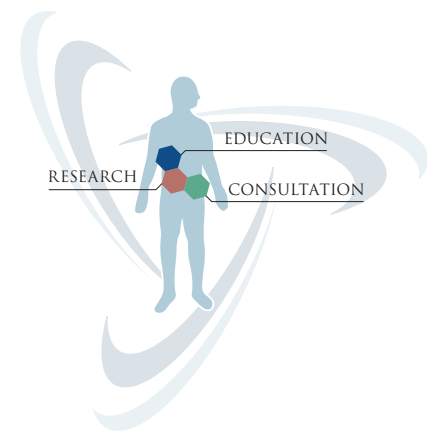
Focus

学習意欲の向上を図る 多彩な取り組み

本学では、専門科目はもちろんのこと、一般教養科目にも重点をおき、より一層の教育の充実を図っています。例えば、語学教育においてはTOEFLやIELTSなどの試験において特に優秀な成績を修めた場合に授与する奨励賞制度を導入し在学生の学習意欲の向上を図るなど、国際化を視野に入れた積極的な教育的支援に取り組んでいます。

また、入学試験において成績が特に優秀な場合に学費の一部又は全額を減免する学費減免制度や、在学時における多彩な奨学金制度及び、卓越して成績が優秀な学生に対する学納金減免(特待生)制度なども導入しています。

順天堂を構成する 3つの柱



研究

横断的な中央共同研究体制で、 研究のレベルアップを図る

独自の“中央機構”を採用

順天堂は、研究分野においても数多くの優れた功績を残していますが、研究における第一の特長は、その体制にあります。

医系大学の多くは講座制の研究体制を採用しているのに対し、順天堂は昭和 40 年代に、いち早く講座制の研究体制を横断的な中央共同研究体制に再編しました。これは研究のレベルアップを目的とした試みであり、研究に必要な施設や機器・設備類を講座単位ではなく、独自の“中央機構”で導入し、大学全

体で保有、管理しようというものです。各施設には専任スタッフも常駐し、研究の効率化や精度を高めていくための支援を行っています。

近年の医学研究は、分子生物学の進歩に伴い、理学、薬学、工学など、分野を越えた成果や技術をどんどん取り入れていくが必要になってきました。それを先駆性をもって、効率的・効果的に推進し、確実にバックアップしていくのが中央機構なのです。

講座制のみならず基礎医学と臨床医学の壁すら取り払った、この優れた研究体制のもと、順天堂は大学紛争時代の変化に柔軟に対応し、わが国のみならず

世界の医学をリードする研究を推進しています。研究レベルの高さはもとより、人格重視、開かれた研究の場をいち早く提供し、出身大学や学部、国籍を問わず博士（医学）及び修士（医科学）の学位が取得できるのも順天堂の大きな特長です。

内外から寄せられる高い評価

順天堂はまた、健康総合大学を理念とした医学研究科、スポーツ健康科学研究科、医療看護学研究科の共同研究を学長プロジェクトとして推進するとともに、平成 30 (2018) 年 4 月時点で 60 校との国際協定を締結するなど欧米やアジアなどの諸外国との交流も積極的に促進しています。

順天堂で取り組んでいる研究活動の水準の高さは、医学界のみならず、さまざまな分野から高い評価を得ており、国内外の多専門域からなる研究者の有機的な融合を導き、多くの国・公・民的資金の提供を受けています。

平成 10 (1998) 年度には、「アトピー疾患の病因、病態、治療に関する分子医学的研究」が文部省（当時）助成による学術フロンティア推進事業として採択され、「アトピー疾患研究センター：小川秀興センター長（初代）」を設置しました。遺伝子解析を主とする分子生物学研究室や無菌動物室、SPF 施設を整備し、わが国におけるアトピー疾患の治療研究のコアとして学内外の学者に活用されています。順天堂は、同センターを拠点にアトピー疾患を克服するための基礎研究、臨床研究を推進しています。

平成 12 (2000) 年度には、文科省ハイテク・リサーチ・センター整備事業として「老人性疾患病態・治療研究センター：水野美邦センター長（初代）」が設立され、研究活動に取り組んでいます。

平成 14 (2002) 年度には、文科省ハイテク・リサーチ・センター整備事業として順天堂大学浦安病院に「環境医学研究所：小川秀興所長（初代）」を併設し、環境医学という新しい分野の研究にも挑戦しています。平成 15 (2003) 年度には、①文科省 21 世紀 COE プログラムとして「病院感染予防のための国際的教育拠点：平松啓一所長」として採択され、研

Focus

アトピー疾患克服の研究推進

順天堂の研究分野の中でも特に注目されているのが、平成 10 (1998) 年度に開設されたアトピー疾患研究センターの研究活動です。「現在の日本国民の約 3 分の 1 がアトピー性疾患にかかっているということを考えた場合、これは生活習慣病ともいえると思います。そのような環境因子と、発症に至る免疫、遺伝上の制御機構との関連を国内外の学者の英知を集め、研究し、本症の予防と治療の根幹をなす情報を世界に向けて発信する施設たらんと所員一同、邁進していく所存です」と、小川秀興理事長・アトピー疾患研究センター初代センター長は、固い決意を表明しています。



研究

究者の育成機関として感染制御学博士課程の認可を受けました。②文科省リーディング国家プロジェクトとして「個人の遺伝情報に応じた医療の実現化プロジェクト」への参画が決まりました。

平成 17 (2005) 年度には、文科省ハイテク・リサーチ・センター整備事業として、スポーツ健康科学研究科に「スポーツ健康医科学研究所：小川秀興所長（初代）」の設置が認可され、“運動に対する心と身体の適応：オーダーメイド型運動プログラム作成のための客観マーカー開発”の研究を中心に取り組んでいます。平成 19 (2007) 年度には、文科科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業として、スポーツロジセンターの設置、そして私学では困難と言われていた「大学院教育改革支援プログラム」、更に「がんプロフェッショナル養成プラン」にも採択されました。東京都の順天堂医院、静岡県静岡病院、そして千葉県浦安病院では、厚生労働省より「がん診療連携拠点病院」に選定されています。

平成 23 (2011) 年度には、文科科学省戦略的研究基盤形成支援事業に「子どもの健康づくりのためのスポーツ医科学拠点の形成」（スポーツ健康医科学研究所）が採択され、運動とスポーツを通じた子どもの健康づくりのための研究が進められています。

平成 24 (2012) 年度には、研究開発能力と人材などを活用した連携・協力を推進するために、「理化学研究所」と包括的基本協定を、「株式会社日立製作所」と包括的産学連携協定をそれぞれ締結。国際レベルをリーディングする科学技術の振興や人材の育成を目指しています。また、「がんプロフェッショナル養成プラン」の継続事業である「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に採択され、がん専門医



療人材養成のための教育拠点を構築しています。

近年では、女性研究者や女性アスリートの更なる環境整備に取り組む姿勢が評価され、文部科学省の女性研究者研究活動支援事業に採択、また平成 26 (2014) 年度には、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択により「女性スポーツ研究センター：小笠原悦子センター長」を設立し、女性アスリートの支援方策について、「研究」という視点からの実行を図っています。

また、平成 27 (2015) 年度には、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択により「静岡災害医学研究センター：佐藤浩一センター長」を設立し、大規模災害に対応する包括的医療提供体制構築を目指す統合型研究拠点を形成しています。加えて、平成 28 (2016) 年度には、難治性疾患の病因・病態解明と治療法の開発に重点をおく基礎研究、臨床研究の拠点として「難病の診断と治療研究センター：新井一センター長」を設立しました。

さらに、最先端次世代研究開発支援プログラムにて本学教員が2名採択（2010）されたことや、文部科学省の科学研究費補助金獲得額では私立大学5位（2015）となったことなどからも、本学の研究分野への期待が証明されているといえます。

学術情報に関するデータベースの構築と提供を行っている米国の民間機関・ISI トムソン社は、平成 12 (2000) 年 10 月に世界トップクラスの論文を発表した日本の研究者 30 人に「引用最高栄誉賞」を授与しましたが、その中に本学の教授も選ばれました。研究論文がいくかに引用されたかをみる論文引用度指数（国内 2011 ～ 2015 年）のランキングでも、順天堂大学は国公立大学の中でトップ 30 に入っています。英高等教育情報誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーションが発表したアジア大学ランキング 2015 トップ 100 においても第 75 位（日本の私立大学では3大学のみ）となり、国外でも高い評価を得ていることが証明されており。

研究成果を分かりやすい形で広く知らしめているのも順天堂の特長で、明治 8 (1875) 年に創刊した「順天堂醫事雑誌」は、全国の一般医学の啓発雑誌として現在も刊行されており、広く重用されています。

“Quality of Life”の実現に向けた研究

一方、スポーツに目を転じると、これまでは体力の向上や技術の習得によって勝ち負けを競い、記録に挑戦する競技スポーツが中心でしたが、スポーツを取り巻く状況は大きく様変わりしました。活発に開催されるスポーツ大会、スポーツイベントは、経済活動のみならず、人々の生活を豊かにする“文化”へと成長しています。少子高齢化の急進展に伴い、生涯スポーツや健康づくりのニーズが高まっています。

いま“Quality of Life”という言葉をよく耳にしますが、順天堂では、従来の「体育」の範疇に留まらず、スポーツと健康づくりを通じたQOL 実現に向け、医学とも連携した研究に取り組んでいるのです。

平成 27 (2015) 年度には文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」のサテライト拠点（『ロコモ予防・改善のための健康・医療イノベーション』）に採択されたほか、平成 29 (2017) 年度には「私立大学研究ブランディング事業」の支援対象に『スポーツ科学による「Health Creation」：代謝科学研究を基軸に世界展開するブランディング事業』が採択されるなど、順天堂大学の「スポーツ」と「医学」の両輪によるQOL 向上への取り組みは、高い評価を得ています。

順天堂の学是の「仁」は、「人なりて我在り、他を思いやり、慈しむ心」を表しており、病める人々の立場に立つ心を持った医療人、健康管理者、スポーツ教育者を育成することが、順天堂の精神なのです。その原点に位置づけられている「仁」を大切に育み、次世代を担う学生や若い研究者の涵養に取り組みながら、順天堂は21 世紀の医療、ヘルスケア、健康を支える研究に尽力しています。

本学と国際協定を締結している大学

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| ① イギリス(2大学) | ⑩ トルコ(1大学) | ⑲ 韓国(4大学) |
| ② ベルギー(1大学) | ⑪ バーレーン(1大学) | ⑳ カナダ(1大学) |
| ③ ドイツ(1大学) | ⑫ タイ(7大学) | ㉑ アメリカ(6大学) |
| ④ フランス(1大学) | ⑬ 中国(14大学) | ㉒ ブラジル(1大学) |
| ⑤ スペイン(2大学) | ⑭ マレーシア(1大学) | ㉓ オーストラリア(1大学) |
| ⑥ ハンガリー(1大学) | ⑮ インドネシア(4大学) | ㉔ イラン(1大学) |
| ⑦ ポーランド(1大学) | ⑯ ベトナム(2大学) | ㉕ ニュージーランド(1大学) |
| ⑧ フィンランド(1大学) | ⑰ 台湾(3大学) | |
| ⑨ ロシア連邦(1大学) | ⑱ シンガポール(1大学) | |

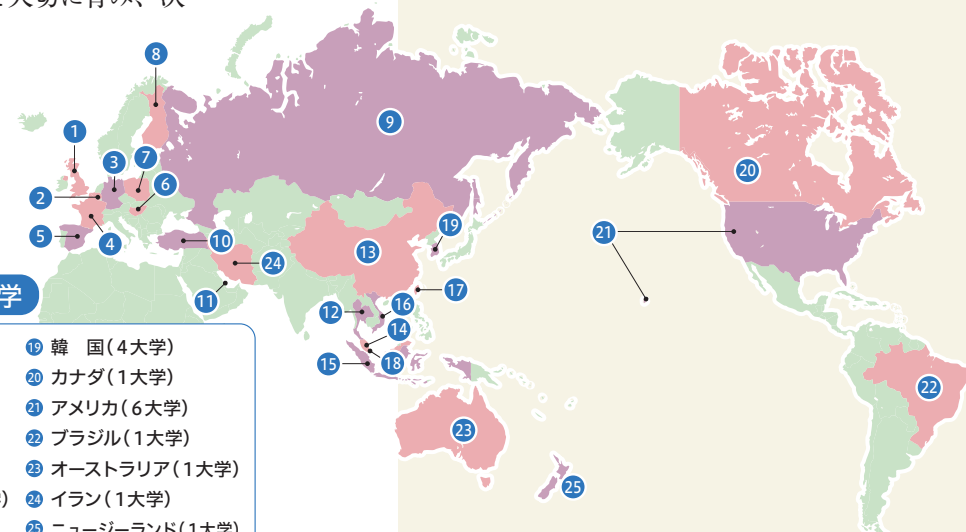
Focus

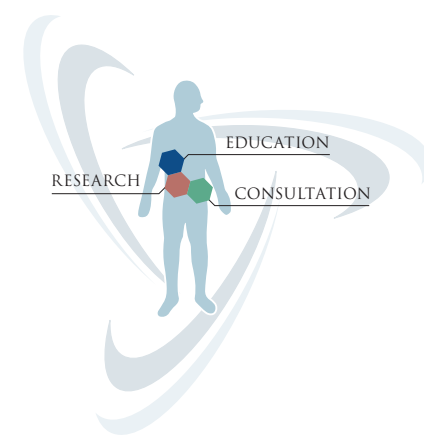
「学際的交流」と「国際化」

順天堂では、「学際的交流」と「国際化」をキーワードに、研究体制を構築しています。

学際的交流では、基礎医学と臨床医学の交流はもとより、健康総合大学として医学と健康科学、スポーツ科学、保健や福祉分野、さらには他の自然科学、人文科学との積極的な交流に努めています。国公立大学の枠組みにとらわれず、優れた研究者を擁する研究機関との交流や連携を推進しています。

国際化においては、垣根を持たない開放性、公平性の精神に基づき、豊かな国際性を育む環境を整えています。海外の大学との交流が盛んで、留学の機会が多い一方で、欧米や東南アジアから数多くの外国人留学生を迎えているのも順天堂ならではの特長です。





診療・実践

日本の医学界をリードするとともに、
スポーツの発展に大きく貢献

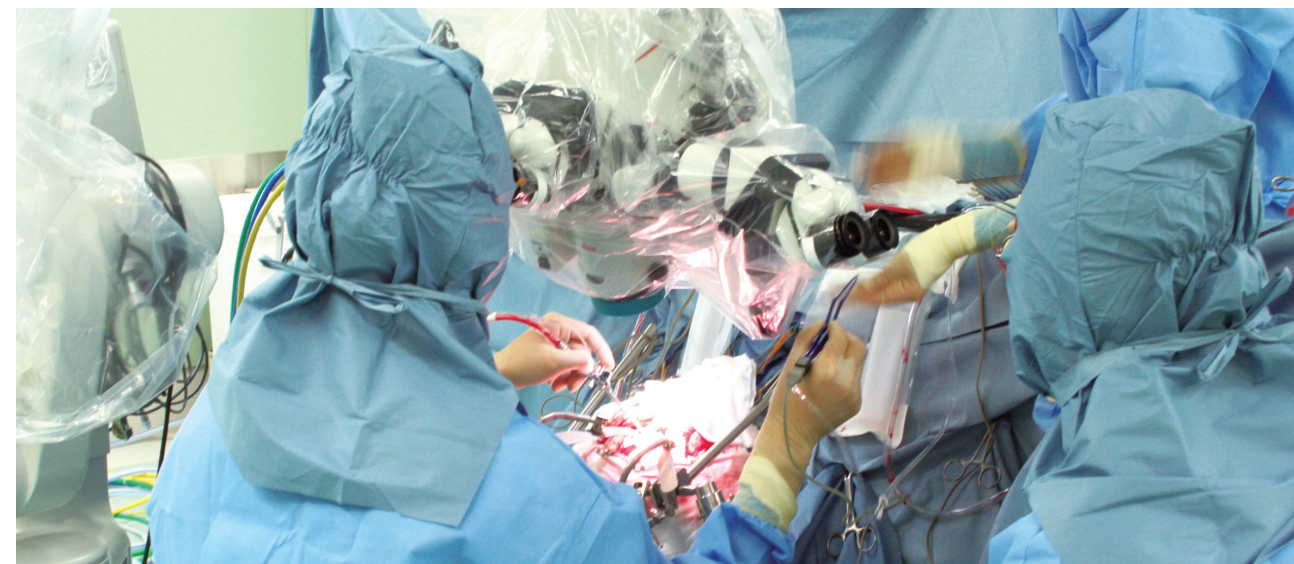
“順天堂人”として使命感をもって

順天堂の大きな特長は、「自由な競争環境の中にこそ、活気ある教育研究活動が展開される」という共通認識が連綿と受け継がれてきたことです。旧設医大でありながら、まったくといってよいほど学閥がなく、優秀な人材であれば出身校を問わず任用するという学風が確立されています。

そして、順天堂に集う者はすべてがその学風を理解し、自己研鑽と競争環境、相互信頼の下、“順天堂人”としての連帯感を涵養し、高い倫理観に基づいた医療

を実践し続けています。

天保9（1838年）の開設以来、最先端の医療技術と知識で日本の医学界をリードし続けてきたのが、東京・本郷の順天堂医院です。総病床数1,026床、外来患者数1日平均約4,000人で、診療圏は、国内はもとより東南アジア、欧米に及びます。また、欧米の大学、国際学会、シンポジウムなどへ招待される研究者も数多く、諸外国からの実習生、研究員も絶えることがありません。まさに西洋医学の導入、興隆に率先して取り組んできた順天堂の伝統がここに息づいているといえましょう。

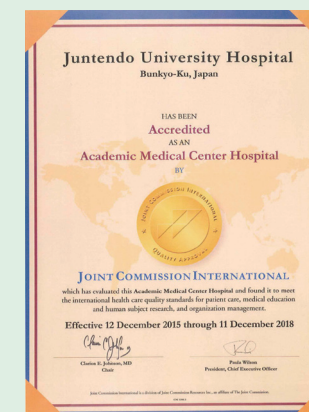


また、病院建築技術の粋を集めた新病棟（B棟）として、平成26年（2014）に21階建ての高層棟、平成28年（2016）に7階建ての低層棟が竣工し、安全性と環境に配慮した最新鋭の療養環境整備を実現しました。



JCI (Joint Commission International) 認証取得

2015年、順天堂医院は医学教育とヒトに関する研究のプログラムを兼ね揃えた大学病院の本院として、わが国で初めてJCI(※)による認証を取得いたしました。



※ JCI とは米国の医療分野における「医療の質と患者の安全に関する継続的な改善」に関する第三者評価認証機関である The Joint Commission の国際部門として、1994年に設立された非営利組織 Joint Commission International の略称です。

Focus

鈴木 大地

(体育学部 平成元年卒)

1988年 ◆ソウルオリンピック
○100M背泳ぎ 金メダル
現 在 ◆スポーツ庁長官(初代)



富田 洋之

(スポーツ健康科学部 平成15年卒)

2004年 ◆アテネオリンピック
○体操競技男子団体 金メダル
○体操競技男子種目別平行棒 銀メダル
◆紫綬褒章 受章

2008年 ◆北京オリンピック
○体操競技男子団体 銀メダル
現 在 ◆スポーツ健康科学部 准教授



今井 正人

(スポーツ健康科学部 平成19年卒)

◆東京箱根間往復大学駅伝競走
最優秀選手('05、'06、'07)
5区で活躍し「山の神」と呼ばれる
◆2015年8月に中国北京で開催される
世界選手権のマラソン日本代表に
選出される



診療・実践

学是「仁」に基づく医療の実践

医療法では、20床以上の病床を持つ医療施設を「病院」と定義していますが、順天堂医院を「医院」と称しているのには理由があります。順天堂の創立者・佐藤泰然のあとを継いだ佐藤尚中が、大学東校（東京大学医学部の前身）開校を主宰していた明治4（1871）年に文部省に対して「病院改称伺」を提出し、その中で「『病院』という言葉には、病人を治すという意味は含まれず、ただ病人を集めておく所という意味合いがある」と指摘しました。順天堂は尚中のこの見識を守り、いまでも本郷の本院を「順天堂医院」と称しているのです。



そして、静岡病院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター〔平成16（2004）年、東京都の公設民営化第一号〕、練馬病院〔平成17（2005）年、練馬区の要請に応じ開院〕も、地域医療の中核拠点施設としての役割を担っています。そこにおける医療実践、診療が患者や地域住民から絶大な信頼を得ている背景には、順天堂の学是「仁」を大切に育み、受け継いできたことが根幹としてあるのです。

また、順天堂の看護教育には120年の歴史があり、日本の看護学史上初の婦長は順天堂に学んだ杉本かね氏であります。その功績を受け継ぎ、日本一優しい、心技共に優れた質の高い看護サービスの提供にも努めています。

めざましいスポーツ界への貢献

順天堂の名声を高めているものとして、スポーツ健康科学部の活躍を挙げることができます。

陸上競技部の日本学生陸上競技対校選手権優勝27回、箱根駅伝総合優勝11回をはじめ、体操競技部も全日本体操競技団体選手権大会、全日本学生体操競技選手権大会などを制しております。バレーボール、サッカー、フットサル、スカッシュなどの競技部も好成績をおさめており、オリンピック・パラリンピック選手、Jリーグ選手など、国内外で活躍するアスリート、プレーヤーを輩出しているのも、順天堂の大きな実績といえます。平成28（2016）年の夏季オリンピッ



ク リオデジャネイロ大会には卒業生を含め7名の選手と10名のJOC公式スタッフを送り出しました。そして、体操競技男子団体に金メダルを獲得しました。

社会環境の変化、少子高齢社会の急進展に伴い、スポーツに対するイメージとニーズが大きく変貌していく中で、生涯スポーツや健康づくりを通じた“Quality of Life”を提供できる人材の育成と実践活動に努めているのも、順天堂の大きな特長です。企業やスポーツ団体などで実施するスポーツ活動、スポーツイベントなどに参加し、さまざまな実習を通じて学生自ら体験する「インターンシップ（実務研修）」を導入しています。

また、東京都中央区教育委員会との連携事業として、平成20年度より中央区内の全区立小学校に体育指導補助員を派遣しております。これらの諸活動を通して子供の体力や小学校教員の体育指導力の向上などの面から地域社会への貢献を果たしています。

開かれた大学を目指し、各種公開講座を実施しているのも順天堂の特長のひとつです。さくらキャンパスでは地元・印西市と酒々井町共催の「生涯学習公開講座」をはじめ、複数の自治体との連携による公開講座を開催。地域住民との交流に積極的に取り組み、地域活性化にも一役買っています。



Focus

高平 慎二

（スポーツ健康科学部 平成19年卒）

2004年 ◆アテネオリンピック

○4×100Mリレー 4位

2008年 ◆北京オリンピック

○4×100Mリレー 銅メダル

2012年 ◆ロンドンオリンピック

○4×100Mリレー 5位



加藤 凌平

（スポーツ健康科学部 平成27年卒）

2012年 ◆ロンドンオリンピック

○体操競技男子団体 銀メダル

2016年 ◆リオデジャネイロオリンピック

○体操競技男子団体 金メダル



提供：アフロスポーツ

田中 佑典

（スポーツ健康科学部 平成24年卒）

2012年 ◆ロンドンオリンピック

○体操競技男子団体総合 銀メダル

2016年 ◆リオデジャネイロオリンピック

○体操競技男子団体 金メダル



提供：フォート・キシモト

キャンパス・附属病院へのアクセス



本部／本郷・お茶の水キャンパス

医 学 部
国際教養学部
医学研究科（修士・博士課程）
保健医学学部
※2018年8月31日設置認可、2019年4月開設

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1
TEL.03-3813-3111(代表)



さくらキャンパス

※医学部の1年次はさくらキャンパスで学びます。

スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学研究科（博士前期・後期課程）

〒270-1695 千葉県印西市平賀学園台1-1
TEL.0476-98-1001(代表)



浦安キャンパス

医療看護学部
医療看護学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

〒279-0023 千葉県浦安市高洲2-5-1
TEL.047-355-3111(代表)



三島キャンパス

保健看護学部
医療看護学研究科（博士前期課程）（サテライトキャンパス）

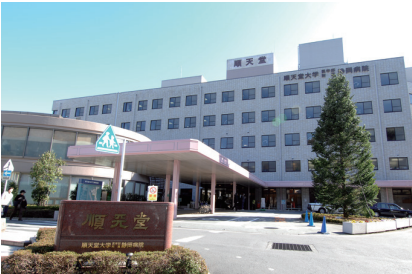
〒411-8787 静岡県三島市大宮町3-7-33
TEL.055-991-3111



順天堂医院

明治初期の開院以来、常に最先端の知識と技術で日本の医学界をリードしてきた国内屈指の総合病院。外来患者数は1日平均約4,000人にのぼり、その診療圏は広く東南アジア、欧米にもおよんでいます。

病床数 1026床
東京都文京区本郷3-1-3 TEL.03-3813-3111(代表)



静岡病院

昭和42(1967)年、静岡県東部エリアの地域医療中核病院として開院。救命救急センターを重点診療分野とするほか、災害医学研究所との共同研究体制の強化を進めています。平成16(2004)年にドクターヘリも導入され地域救急医療へ絶大な貢献をしています。

病床数 577床
静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL.055-948-3111(代表)



浦安病院

昭和59(1984)年、千葉県浦安市に開院した附属病院。平成7(1995)年からは浦安市・市川市における高規格救急車の導入による救急医療も引き受けている地域の中核病院です。環境医学研究所も併設され、研究体制の強化を進めています。

病床数 785床
千葉県浦安市富岡2-1-1 TEL.047-353-3111(代表)



順天堂越谷病院

昭和42(1967)年設立の(財)順天堂精神医学研究所の附属病院が平成元(1989)年に医学部附属病院へ改組された精神神経科病院。順天堂医院との密接な連携のもと、精神医学の一貫した卒前・卒後教育を行っています。

病床数 226床
埼玉県越谷市袋山560 TEL.048-975-0321(代表)



順天堂東京江東高齢者医療センター

平成14(2002)年、東京都が高齢者に向けた『福祉・医療の複合施設』として誕生させた医療センターで、平成16(2004)年度以降は、公設民営方式により学校法人順天堂が運営をしています。

病床数 404床
東京都江東区新砂3-3-20 TEL.03-5632-3111(代表)



練馬病院

東京都練馬区の強い要請で、平成17(2005)年7月に開院した総合病院で、地域医療機関とも十分な連携を図り、災害時の拠点施設としての機能(免震構造、震度8にも対応)をそなえています。院内感染予防にも国内最高レベルの体制を整備しています。

病床数 400床
東京都練馬区高野台3-1-10 TEL.03-5923-3111(代表)

順天堂大学の概要

※ 2017 年度事業報告書を転用

DATA 編

PROFILE OF JUNTENDO UNIVERSITY

2018 ~ 2019



順天堂大学の概要

CONTENTS

順天堂大学 4キャンパス 6附属病院群	51		
順天堂の沿革	52		
1 法人の設置する学校	54	14 学部卒業生数	66
2 医学部附属病院	55	15 卒業後の進路状況	67
3 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター	55	16 教育研究活動の主な概要	68
4 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等	56	17 臨床活動の主な概要	70
5 役 員	57	18 国際交流活動	73
6 評議員	57	19 文部科学省等採択事業の概要	75
7 研究科・学部一覧	57	20 教育研究施設・設備の充実	76
8 教職員数	58	21 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について	77
9 研究費・補助金	59	22 スポーツ分野での活躍	79
10 寄付講座	62	23 公開講座	80
11 共同研究講座	63	24 社会貢献・地域交流・ボランティア活動	85
12 授業料・入学金等学生が納付する金額	64	25 平成29年度事業の収支及び財務状況の概要	89
13 学位記授与数	65	26 財務状況の推移	92

順天堂大学 4キャンパス 6附属病院群



<https://www.juntendo.ac.jp/>



（※）2018年8月31日設置認可、2019年4月開設



2018年 順天堂創立180周年記念

開塾:1838年（天保9年）



順天堂の沿革



順天堂は、江戸後期の天保9(1838)年、今から180年前に学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀（現在の東日本橋2-6-8）に設立したオランダ医学塾・和田塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末・攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉（現在の千葉県佐倉市）に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」（明治天皇の主治医団長）・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校（現 東京大学医学部の前身）の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府（東京帝国大学医学部）の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を行いました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学学校の設立を助け、その学生及び卒業生（野口英世ら）は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学学校を母体として、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、明治8(1875)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌（現在は欧文誌、Juntendo Medical Journal: JMJとして）』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長、また大韓医院（現ソウル大学医学

部）を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主（初代理事長）・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部（現在のスポーツ健康科学部）を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代学長、次いで理事長として、その発展を支えました。

第五代堂主（理事長）・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程（現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程）を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院（94床）（現在の静岡病院）」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主（理事長）・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院（250床）」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館（新1号館）の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主（理事長）・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス（現在の印西市）へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開設しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院（221床）」に改組しました。

第八代堂主（理事長）・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館（1号館）を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附



A法人章



B法人章

「意匠登録」：1996(平成8)年



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」（天の意志に順い、人々の期待に応える）と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」（自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる）に由来します。

A法人章

仁義礼智信・・・の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章

佐藤の“サ”又はA法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。（1957(昭和32)年制定）

平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。

順天堂の沿革

属病院群としての地域医療機能充実に図りました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護取締(総婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして近年、第九代堂主(理事長)・小川秀興は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行してきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果、

①平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。

②平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。

③平成19(2007)年、医療看護学部に大学院医療看護学研究科・修士課程が開設されました。

④平成22(2010)年、第4の学部として保健看護学部(静岡県三島市)が開設されました。

⑤平成25(2013)年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。

⑥平成14(2002)年6月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成16(2004)年4月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第5番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。

⑦加えて、練馬区も病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から学校法人順天堂が選定され、平成17(2005)年、順天堂第6番目の医学部附属病院「練馬病院」が開設されました。

⑧大学内に文部科学省(文部省)などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として以下のセンター・研究所が設立されました。

(1)アトピー疾患研究センター

(2)疾患モデル研究センター

(3)老人性疾患病態・治療研究センター

(4)環境医学研究所

(5)感染制御科学研究センター

(6)スポーツ健康医科学研究所

(7)スポーツロジセンター

(8)国際交流センター

(9)ゲノム・再生医療センター

(10)難病の診断と治療研究センター

(11)静岡災害医学研究センター

(12)女性スポーツ研究センター

(13)先導的がん医療開発研究センター

⑨平成26年12月国際的に活躍する人材養成を目的として第5の学部となる「国際教養学部」の設置認可を受け、平成27年4月開学し、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。

順天堂は、附属6病院合計で総病床数3,418床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。附属6病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発展させつつ、総合力に秀でた医育機関として、全国そして国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

現在、国際連携大学・研究所としては、北京大学、第四軍医大学(西安)、中国医科大学、中日友好医院(北京)、タイ国立皮膚病学研究所(バンコク)、ベトナム軍医大学、メイヨークリニック、MD アンダーソンがんセンター、シャリテ医科(ベルリン)大学などがあり、海外からの留学生・研究生は増え続けています。

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校・国籍・性別の差別のない“三無主義”を学風として掲げ、5学部3研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2018年5月15日(創立記念日)
学校法人 順 天 堂
理事長 小 川 秀 興

1 法人の設置する学校

研究科・学部名称			所 在 地	沿 革
大 学 院	医学研究科	修士課程	東京都文京区 本郷2丁目1番1号	平成24.11.大学院医学研究科(修士課程)設置認可。 平成25. 4. 同 開設。
		博士課程		昭和34. 3.大学院医学研究科(博士課程)設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
	スポーツ 健康科学 研究科	博士 前期課程	千葉県印西市 平賀学園台1丁目1番地	昭和46. 3.大学院体育学研究科(修士課程)設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4.大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士 後期課程		平成11.12.大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学 研究科	博士 前期課程	千葉県浦安市 高洲2丁目5番1号	平成18.11.大学院医療看護学研究科(修士課程)設置認可。 平成19. 4. 同 開設。 平成26. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士 後期課程		平成25.10.大学院医療看護学研究科(博士後期課程)設置認可。 平成26. 4. 同 開設。
学 部	医学部 医学科		東京都文京区 本郷2丁目1番1号	天保9年(1838年)西洋医学塾開塾。以降、江戸(薬研堀)から佐倉(千葉)、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18.12.(財)順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5.(財)順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2.(学)順天堂医科大学認可。 昭和26. 6.順天堂大学体育学部Ⅱ類(医学進学コース)開設。 昭和27. 2.新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4.順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科		千葉県印西市 平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6.体育学部Ⅰ類(体育学専攻、健康教育学専攻)開設。 昭和46. 1.体育学部(体育学科、健康学科)設置認可。 平成 4.12.スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4.体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
				(看護教育沿革) 明治29.10.順天堂医院看護婦養成所開設。 昭和29. 4.順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3.同高等看護婦学校開設。 昭和38. 4 順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51.11.順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科		千葉県浦安市 高洲2丁目5番1号	平成元. 4.順天堂医療短期大学開設。 平成15.11.医療看護学部設置認可。 平成16. 4.順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6.同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科		静岡県三島市 大宮町3丁目7番33号	平成21. 6.保健看護学部設置届出。 平成21. 9.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21.10.保健師看護師学校指定。 平成22. 4.保健看護学部開設。
	国際教養学部 国際教養学科		東京都文京区 本郷2丁目1番1号	平成26.12.国際教養学部設置認可。 平成27. 4. 同 開設。

2 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所 在 地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,026床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和42. 4. 1	577床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和59. 5.15	785床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成14. 6. 3	404床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
練馬病院	平成17. 7. 1	400床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合 計		3,418床	

※病床数は平成30年3月31日現在の稼働数

3 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長	開設時の文部科学省補助事業	開設年月日	初代センター長
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア推進事業	平成10.11.19	小川 秀興
疾患モデル研究センター	代田 浩之	学術フロンティア推進事業	平成11. 4. 1	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成12. 3.21	水野 美邦
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成14. 9.19	小川 秀興
感染制御科学研究センター	平松 啓一	21世紀COEプログラム	平成15. 4. 1	平松 啓一
研究基盤センター	代田 浩之	—	平成15.10. 1	木南 英紀
スポーツ健康医科学研究所	木南 英紀	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成17.10. 1	小川 秀興
スポーツロジセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成19. 4.24	小川 秀興
国際交流センター	小川 秀興	—	平成20.11. 1	小川 秀興
ゲノム・再生医療センター	新井 一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成25.10. 1	新井 一
先導的がん医療開発研究センター	代田 浩之	研究拠点形成費等補助金	平成25.11. 1	新井 一
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	戦略的研究基盤形成支援事業	平成26. 8. 1	小笠原悦子
静岡災害医学研究センター	佐藤 浩一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成27.10. 1	佐藤 浩一
難病の診断と治療研究センター	岡崎 康司	—	平成28. 4. 1	新井 一

4 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

(単位:名)

研究科・学部・学科名称			修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3						
								1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
大 学 院	医学研究科	修士課程	2年	20	31	40	56	30 (20)	26 (20)	—	—	—	—
		博士課程	4年	140	160	520	535	155 (140)	133 (140)	136 (120)	111 (120)	—	—
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2年	61	67	122	123	67 (61)	56 (61)	—	—	—	—
		博士後期課程	3年	10	10	30	40	9 (10)	16 (10)	15 (10)	—	—	—
	医療看護学 研究科	博士前期課程	2年	15	15	30	38	15 (15)	23 (15)	—	—	—	—
		博士後期課程	3年	7	6	21	26	6 (7)	7 (7)	13 (7)	—	—	—
大学院 計				253	289	763	818	282 (253)	261 (253)	164 (137)	111 (120)	—	—

学 部	医学部 医学科	6年	137	138	763	774	138 (137)	132 (130)	127 (127)	132 (124)	121 (124)	124 (121)
	スポーツ健康科学部		410	410	1,400	1,384	408 (410)	323 (330)	330 (330)	323 (330)	—	—
	スポーツ科学科	4年	250	250	820	811	250 (250)	186 (190)	190 (190)	185 (190)	—	—
	スポーツマネジメント学科	4年	80	80	290	284	79 (80)	68 (70)	69 (70)	68 (70)	—	—
	健康学科	4年	80	80	290	289	79 (80)	69 (70)	71 (70)	70 (70)	—	—
	医療看護学部 看護学科	4年	200	204	800	800	204 (200)	205 (200)	199 (200)	192 (200)	—	—
	保健看護学部 看護学科	4年	120	124	480	489	126 (120)	120 (120)	124 (120)	119 (120)	—	—
	国際教養学部 国際教養学科	4年	120	123	360	360	123 (120)	122 (120)	115 (120)	平成27年度開設		—
	学部 計		987	999	3,803	3,807	999 (987)	902 (900)	895 (897)	766 (774)	121 (124)	124 (121)

※1 入学者欄は平成29年4月に入学した学生数

※2 在籍者欄は平成30年3月31日における学生数

※3 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

5 役 員

区 分	氏 名	主 な 役 職
理事長	小 川 秀 興	
	新 井 一	学長
理 事	木 南 英 紀	学長特別補佐、国際教養学部長
	代 田 浩 之	医学部長、大学院医学研究科長
	内 藤 久 士	スポーツ健康科学部長、大学院スポーツ健康科学研究科長
	工 藤 綾 子	医療看護学部長
	大 熊 泰 之	保健看護学部長
	天 野 篤	順天堂医院長
	三 橋 直 樹	静岡病院長
	吉 田 幸 洋	浦安病院長
	高 崎 芳 成	順天堂越谷病院長
	津 田 裕 士	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児 島 邦 明	練馬病院長
	宮 野 武	練馬病院名誉院長
	高 森 建 二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐 藤 信 紘	特任教授
	梁 井 皎	特任教授
	植 木 純	大学院医療看護学研究科長
	多 田 宏	非常勤
監 事	辛 島 睦	非常勤
	濱 本 英 輔	非常勤

6 評 議 員

<選任条項順に記載>

児島 邦明	吉田 幸洋	高橋 和久	川崎 誠治	青木 和浩	工藤 綾子	細谷 芳三
幅下 貞美	島内 憲夫	長岡 功	吉村 雅文	高森 建二	富野康日己	森近 浩
中澤 真逸	土屋 清子	佐藤 潔	濱野 光之	小川 秀興	新井 一	天野 篤
内藤 久士	代田 浩之	梁井 皎	多田 宏	佐藤 信紘	大熊 泰之	三橋 直樹
植木 純	宮野 武	新井 平伊	岡田 隆夫	高崎 芳成	津田 裕士	丸木 親
奥村 康	稲富 恵子	澤木 啓祐	木南 英紀	青木きよ子		
(計 40名)						

7 研究科・学部一覧

研究科・学部・学科名称		取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士(医科学) 博士(医学)	代 田 浩 之
	スポーツ健康科学研究科	修士(スポーツ健康科学) 博士()	内 藤 久 士
	医療看護学研究科	修士(看護学) 博士()	植 木 純
学 部	医学部 医学科	学士(医学)	代 田 浩 之
	スポーツ健康科学部	学士(学位名は下記のとおり)	内 藤 久 士
	スポーツ科学科	学士(スポーツ科学)	廣 瀬 伸 良
	スポーツマネジメント学科	学士(スポーツマネジメント学)	黒 須 充
	健康学科	学士(健康学)	四方田 清
	医療看護学部 看護学科	学士(看護学)	工 藤 綾 子
	保健看護学部 看護学科	学士(看護学)	大 熊 泰 之
	国際教養学部 国際教養学科	学士(国際教養学)	木 南 英 紀

8 教 職 員 数

(平成30年 3月31日現在)

(1) 教員数

学 長
1

(単位:名)

		教 授	先任准教授	准教授	講 師	助 教	助 手	常勤計	非常勤	計
大学院		193	13	51	4	37	4	302	157	459
(内訳)	医学研究科	165	7	50	4	37	4	267	111	378
	スポーツ健康科学研究科	15	5	0	0	0	0	20	10	30
	医療看護学研究科	13	1	1	0	0	0	15	36	51
学 部		35	116	321	25	395	382	1,274	2,714	3,988
(内訳)	医学部	5	87	283	6	344	376	1,101	2,381	3,482
	スポーツ健康科学部	5	16	12	1	19	5	58	143	201
	医療看護学部	0	6	16	5	22	1	50	66	116
	保健看護学部	9	5	5	11	7	0	37	43	80
	国際教養学部	16	2	5	2	3	0	28	81	109
合 計		228	129	372	29	432	386	1,576	2,871	4,447

※上記内、併任教員数

教員数合計(本務・併任合計)

	教 授	准教授	講 師	助 教	計
大学院本務教員内学部併任教員	145	47	1	22	215
学部本務教員内大学院併任教員	6	355	6	29	396

	教員数
大学院	855
学 部	4,203

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
632	14	4,313	40	168	5,167

教職員合計
9,615

<参考:平成29年度臨床研修医受入数(括弧内は平成29年度新規受入数)>

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
94 (48)	32 (13)	75 (36)	64 (32)	265 (129)

9 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独)日本学術振興会:科学研究費助成事業

研究種目名	区分	採択件数 (件)		直接経費 (千円)		間接経費 (千円)
新学術領域研究 (研究領域提案型)	新規	2	7	6,300	52,800	15,840
	継続	5		46,500		
基盤研究 (S)	新規	1	1	52,100	52,100	15,630
	継続	0		0		
基盤研究 (B)	新規	11	30	50,600	91,300	33,390
	継続	19		40,700		
基盤研究 (C)	新規	85	263	113,000	296,700	89,010
	継続	178		183,700		
挑戦の萌芽研究	新規		24		21,350	6,405
	継続	24		21,350		
挑戦的研究(萌芽)	新規	4	4	8,400	8,400	2,520
	継続					
若手研究 (A)	新規	0	1	0	4,400	1,320
	継続	1		4,400		
若手研究 (B)	新規	40	127	57,000	143,500	43,050
	継続	87		86,500		
研究活動スタート支援	新規	5	16	5,500	16,100	4,830
	継続	11		10,600		
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)	新規	0	1	0	11,200	3,360
	継続	1		11,200		
特別研究員奨励費	新規	3	9	2,500	9,000	1,650
	継続	6		6,500		
奨励研究	新規	3	3	1,570	1,570	0
	継続					
合 計	新規	154	486	296,970	708,420	217,005
	継続	332		411,450		

② 文部科学省:科学技術人材育成費補助金

事 業 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)	1	9,000
卓越研究員事業	1	8,383
合 計	2	17,383

③ 文部科学省:戦略的研究基盤形成支援事業

研究期間	研究代表者	プロジェクト名
平成25年度～ 平成29年度	環境医学研究所 高森建二 所長(特任教授)	難治性“かゆみ”の発症機構解明と予防・治療法開発の研究基盤構築
平成26年度～ 平成30年度	スポーツロジ－センター 綿田裕孝 センター長補佐(教授)	骨格筋機能に着目した統合的な介護予防法開発プロジェクト
平成26年度～ 平成30年度	ゲノム・再生医療センター 新井 一 センター長(研究科長)	再生技術を用いた生活習慣病の次世代型統合的研究基盤の構築

平成26年度～ 平成30年度	女性スポーツ研究センター 小笠原悦子 センター長(教授)	女性スポーツ研究センターにおける女性アスリートコンディション管理に関する研究基盤構築
平成27年度～ 平成31年度	静岡災害医学研究センター 佐藤浩一 センター長(教授)	大規模災害に対応する包括的医療提供体制構築を目指す統合型研究拠点の形成

④ 文部科学省:私立大学研究ブランディング事業

研究期間	事業組織	プロジェクト名
平成28年度～ 平成32年度	健康総合科学先端研究機構 機構長 新井 一(学長)	脳の機能と構造を視る:多次元イメージングセンター
平成29年度～ 平成33年度		スポーツ科学による“Health Creation”:代謝科学研究を基軸に世界展開するブランディング事業

⑤ 厚生労働省:厚生労働科学研究費補助金

事 業 名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
厚生労働科学特別研究事業	1	3,028	908
がん対策推進総合研究事業	1	8,775	2,632
女性の健康の包括的支援政策研究事業	1	4,616	1,384
難治性疾患政策研究事業	1	6,237	1,871
地域医療基盤開発推進研究事業	1	4,600	400
合 計	5	27,256	7,195

⑥ 厚生労働省:労災疾病臨床研究事業費補助金

事 業 名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
労災疾病臨床研究事業費補助金	1	15,939	4,779
合 計	1	15,939	4,779

⑦ 厚生労働省:慢性疼痛診療体制構築モデル事業

事 業 名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
慢性疼痛診療体制構築モデル事業	1	8,000	0
合 計	1	8,000	0

⑧ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構:医療研究開発推進事業費補助金

事 業 名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会基盤整備事業	1	3,846	1,154
合 計	1	3,846	1,154

10 寄付講座

(2) 委託費

① 文部科学省：女性アスリート育成・支援プロジェクト

プログラム名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	一般管理費 (千円)
女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究	1	13,000	1,300
女性スポーツ医学普及啓発プログラム	1	3,636	364
合 計	2	16,636	1,664

② 国立研究開発法人日本医療研究開発機構：医療研究開発推進事業費補助金

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費等 (千円)
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	1	48,077	14,423
創薬基盤推進研究事業	2	30,769	9,231
再生医療実現拠点ネットワークプログラム	2	18,895	5,668
再生医療実用化研究事業	1	30,769	9,231
再生医療臨床研究促進基盤整備事業	1	1,538	462
革新的がん医療実用化研究事業	1	7,690	2,307
脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	3	27,192	8,158
長寿・障害総合研究事業	1	3,846	1,154
難治性疾患実用化研究事業	2	28,900	8,670
腎疾患実用化研究事業	1	13,923	3,727
革新的先端研究開発支援事業	4	38,538	11,562
オーダーメイド医療の実現プログラム	1	84,271	8,427
医薬品等規制調和・評価研究事業	1	5,169	1,551
創薬支援推進事業・創薬総合支援事業	1	9,090	909
合 計	22	348,667	85,480

③ 国立研究開発法人科学技術振興機構

プログラム名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	一般管理費 (千円)
革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)	1	5,750	250
合 計	1	5,750	250

④ 国立研究開発法人科学技術振興機構

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
戦略的創造研究推進事業 (CREST)	1	19,000	5,700
研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)	1	500	150
研究成果展開事業 (COI)	1	44,120	11,030
合 計	3	63,620	16,880

寄付講座名	寄付者	設置期間	責任者等
プロバイオティクス研究 (ヤクルト)講座	株式会社ヤクルト本社	H17. 4. 1 ～H33. 3.31	医学研究科 特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	武田薬品工業株式会社ジャパンファーマビジネスユニット 株式会社三和化学研究所 株式会社総合医科学研究所	H18. 4. 1 ～H32. 3.31	代謝内分内分泌科学 教 授 綿田 裕孝
認知症診断・予防・治療学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H21. 1. 1 ～H29.12.31	神経学 教 授 服部 信孝
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	H23. 5. 1 ～H32. 3.31	医学研究科 研究科長 代田 浩之
免疫病・がん先端治療学講座	キッセイ薬品工業株式会社	H24. 4. 1 ～H30. 3.31	免疫学 特任教授 奥村 康
運動障害疾患病態研究・治療講座	日本メドトロニック株式会社 協和発酵キリン株式会社 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 キッセイ薬品工業株式会社	H24. 4. 1 ～H30. 3.31	神経学 教 授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	テルモ株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社カネカメディックス	H24. 8. 1 ～H30. 7.31	脳神経外科学 教 授 新井 一
神経疾患病態構造学講座	株式会社未来開拓総合企画	H25. 4. 1 ～H30. 3.31	特任教授 内山 安男
パーキンソン病病態解明研究講座	大塚製薬株式会社 山岸広太郎	H25. 4. 1 ～H31. 3.31	神経学 教 授 服部 信孝
電子医療情報管理学講座	富士通株式会社	H26. 4. 1 ～H31. 3.31	医学研究科 研究科長 代田 浩之
遺伝子疾患先端情報学講座	大塚製薬株式会社 ジェネシスヘルスケア株式会社 株式会社イグニス	H26. 4. 1 ～H32. 3.31	泌尿器外科学 教 授 堀江 重郎
多発性硬化症および 神経難病治療・研究講座	大原薬品工業株式会社 小野薬品工業株式会社 旭化成メディカル株式会社 田辺三菱製薬株式会社 日本製薬株式会社 MiZ株式会社 アッヴィ合同会社	H26.10. 1 ～H32. 9.30	神経学 教 授 服部 信孝
ジェロントロジー ：医学・健康学応用講座	株式会社東急不動産R&Dセンター 東急不動産株式会社 株式会社東急イーライフデザイン	H27. 1. 1 ～H32.12.31	特任教授 佐藤 信紘
心血管睡眠呼吸医学講座	フィリップス・レスピロニクス合同会社 フクダ電子株式会社 レスメド株式会社	H27. 4. 1 ～H30. 3.31	循環器内科学 教 授 代田 浩之
運動器・腫瘍性疾患病態学講座	中外製薬株式会社 サントリーウエルネス株式会社 久光製薬株式会社 株式会社大田胃酸 大正富山医薬品株式会社	H27. 4. 1 ～H30. 3.31	整形外科・運動器医学 教 授 金子 和夫
乳酸菌生体機能研究講座	株式会社明治研究本部	H27. 4. 1 ～H30. 3.31	免疫学 特任教授 奥村 康

11 共同研究講座

共同研究講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
漢方医学先端臨床センター	株式会社ツムラ	H28. 4. 1 ～H31. 3.31	病院管理学 教 授 小林 弘幸
戦略的手術室改善マネジメント講座	株式会社ホギメディカル	H28.10. 1 ～H31. 9.30	心臓血管外科学 教 授 天野 篤
次世代血液検査医学講座	シスメックス株式会社	H28.12. 1 ～H31.11.30	輸血・幹細胞制御学 教 授 大坂 顯通
次世代免疫細胞・再生医療学講座 (江川記念 SETA講座)	医療法人社団滉志会	H29. 4. 1 ～H34.12.31	学 長 新井 一
オートファジー調節化合物探索 研究講座	大日本住友製薬株式会社	H29. 4. 1 ～H32. 3.31	神経学 教 授 服部 信孝
居住環境神経生理学研究講座	株式会社フジタ	H29. 7. 1 ～H32. 3.31	病院管理学 教 授 小林 弘幸
創傷治癒学先端研究講座	佐藤製薬株式会社	H29.10. 1 ～H32. 9.30	形成外科学 教 授 水野 博司
認知症診断・予防・治療学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H30. 1. 1 ～H32.12.31	神経学 教 授 服部 信孝

※責任者等の職制は、平成30年3月31日の現職を記載

12 授業料・入学金等学生が納付する金額

(単位:円)									
大学院・学部			入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度 合計	入学試験 検定料
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	－	150,000	－	750,000	20,000
		修士課程	200,000	400,000	150,000	－	－	750,000	20,000
	スポーツ健康科学研究科		200,000	550,000	－	50,000	－	800,000	30,000
	医療看護学研究科		200,000	550,000	－	50,000	－	800,000	30,000
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	－	－	2,900,000	※4参照
		2年次以降	－	2,000,000	860,000	－	720,000	3,580,000	－
	スポーツ健康科学部		200,000	700,000	300,000	－	150,000	1,350,000	※4参照
	医療看護学部		300,000	900,000	300,000	350,000 ※2	－	1,850,000	※4参照
	保健看護学部		300,000	900,000	300,000	140,000 ※3	－	1,640,000	※4参照
	国際教養学部		300,000	1,000,000	－	－	250,000	1,550,000	※4参照

※1 入学時のみ

※2 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

※3 2年次以降は420,000円

※4 試験形態毎の入学検定料

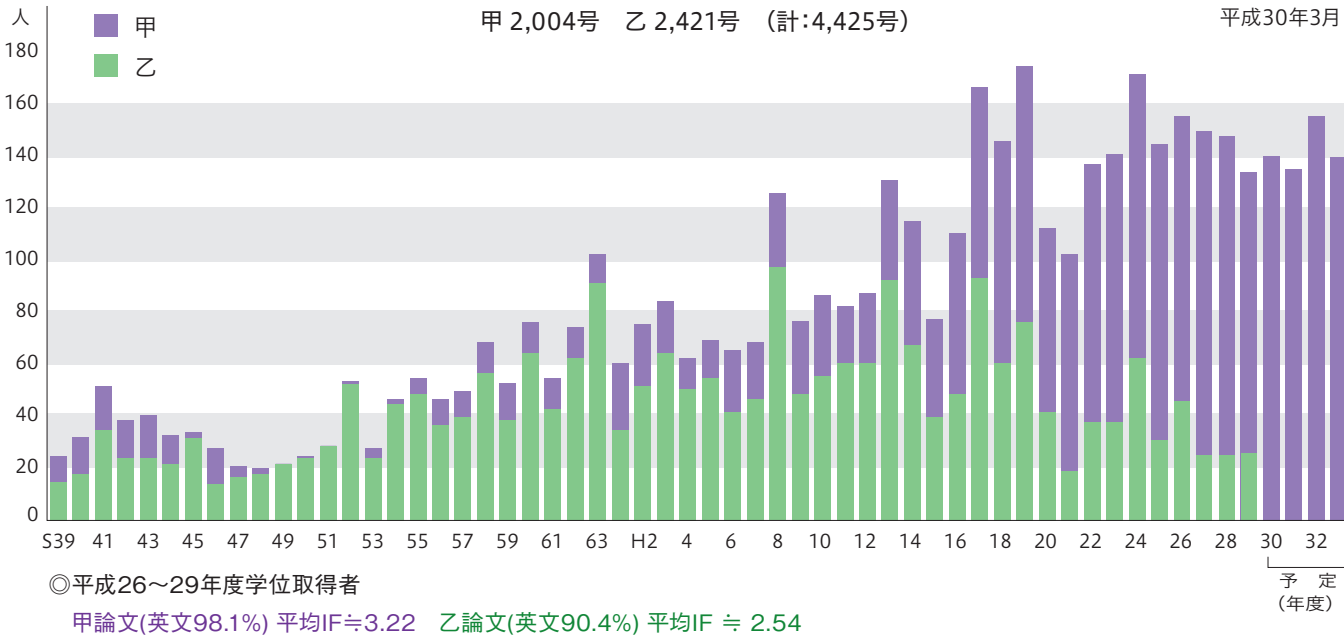
4 試験形態毎の入学検定料

(単位:円)

学部	試験形態	入学検定料	学部	試験形態	入学検定料	
医学部	一般A方式	60,000	医療看護学部	推薦・帰国生	30,000	
	一般B方式			一般	35,000	
	地域枠選抜			センター利用(前期)	25,000	
	センター・一般独自併用			センター利用(後期)	1/13 17時までの出願 15,000	
	センター利用	1/13 17時以降の出願 25,000				
	国際臨床医・研究医枠	併願(一般、センター利用)		55,000		
スポーツ健康科学部	AO(一般選抜・教員志望選抜)	◇ (一般、センター・独自併用)			70,000	
	AO(一般選抜・教員志望選抜セット出願)	◇ (センター利用、センター・独自併用)				
	推薦(一般推薦、スポーツ推薦)	◇ (一般、センター利用、センター・独自併用)	保健看護学部	推薦	30,000	
	一般推薦+スポーツ推薦セット出願	特別選抜				
	一般(1学科)(英語外部試験利用も同様)	一般				
	◇ (2学科)(英語外部試験利用も同様)	センター利用(前期、後期)		25,000		
	◇ (3学科)(英語外部試験利用も同様)	併願(推薦、特別選抜)		50,000		
	センター+一般セット出願(1学科)	◇ (一般、センター利用)				
	◇ (2学科)	◇ (一般、センター独自併用)				
	◇ (3学科)	◇ (一般、センター利用前期、センター独自併用)		65,000		
	センター利用A方式(センター型)	◇ (一般、センター利用前期・後期、センター独自併用)		70,000		
	◇ B方式(独自併用型)	30,000		国際教養学部	特別(Ⅰ、Ⅱ)	35,000
	◇ C方式(面接型)				特別(グローバル方式)	30,000
	◇ D方式(競型)		推薦		35,000	
	センター利用(A方式、B方式)	20,000				
	併願(センターA方式、B方式)	35,000				
	一般(前期A方式、前期B方式、後期)	35,000				
	併願(一般前期A方式、前期B方式)	50,000				

(单位:名)

区 分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員(博士)	100	100	120	120	
入学者数(〳)	119	138	121	127	
博士(医学)甲 学位記授与数	110	125	121	107	累計《2,004》
満期退学後学位取得者数	0	0	1	0	
博士(医学)乙 学位記授与数	46	26	26	27	《2,421》
当該年度修了者の入学時入学定員(修士)	20	20	20	20	
入学者数(〳)	31	22	27	25	
修士(医科学)学位記授与数	30	22	24	26	《102》



(单位:名)

区 分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員(博士)	10	10	10	10	
◇ 入学者数(◇)	9	8	13	12	
博士(スポーツ健康科学)甲 学位記授与数	6	8	8	7	累計《56》
満期退学後学位取得者数	2	1	0	1	
博士(スポーツ健康科学)乙 学位記授与数	3	3	3	3	《22》
当該年度修了者の入学時入学定員(修士)	61	61	61	61	
◇ 入学者数(◇)	48	51	60	56	
修士(スポーツ健康科学)学位記授与数	49	51	57	51	《1,026》

(单位:名)

区 分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員(博士)	—	—	7	7	
〃 入学者数(〃)	—	—	11	11	
博士(看護学)甲 学位記授与数	—	—	7	7	《14》
当該年度修了者の入学時入学定員(修士)	15	15	15	15	
〃 入学者数(〃)	15	20	21	22	
修士(看護学)学位記授与数	14	18	20	22	《167》

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位(学士)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	111(29)	108(36)	123(38)	123(37)	医専卒《 319》 医科大卒《 89》 学部卒《5,003》 累計《5,411》
スポーツ健康科学部		323(105)	323(105)	332(108)	320(102)	体育学部卒《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《6,940》 累計《12,147》
スポーツ科学科	スポーツ科学	185(54)	186(52)	190(55)	184(52)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	70(25)	68(27)	72(27)	66(24)	
健康学科	健康学	68(26)	69(26)	70(26)	70(26)	
医療看護学部 看護学科	看護学	197(185)	196(190)	202(189)	192(182)	講習所《1,182》 看護学院《 29》 准看護婦学院《 132》 高等看護学校《 775》 看護専門学校《1,194》 医療短期大学《1,476》 医療看護学部《1,985》 累計《6,773》
保健看護学部 看護学科	看護学	118(110)	120(107)	119(109)	119(110)	累計《 590》

15 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部			進路	人数	修了者数・卒業者数
大 学 院	医学 研究科	博士課程	大学・研究機関	60名	109名
			医療機関	34名	
			民間企業	2名	
			その他	13名	
		修士課程	大学・研究機関	4名	26名
			医療機関	3名	
			民間企業	5名	
	スポーツ 健康科学 研究科	博士後期 課程	進学	12名	
			その他	2名	
			教員・研究機関	8名	11名
			就職(民間企業・公務員等)	1名	
			その他	2名	
		博士前期 課程	教員・研究機関	18名	51名
			就職(民間企業・公務員等)	25名	
			進学	3名	
			その他	5名	
	医療看護学 研究科	博士後期 課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	1名	7名
			教員・研究機関	6名	
			その他	0名	
		博士前期 課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	12名	22名
			教員・研究機関	5名	
			進学	3名	
			その他	2名	
学 部	医学部		初期臨床研修医(本学医学部附属病院群)	76名	123名
			〃 (他大学医学部附属病院群)	6名	
			〃 (大学病院以外の臨床研修指定病院群)	38名	
			その他	3名	
	スポーツ健康科学部		教員・研究機関	68名	320名
			就職(民間企業・公務員等)	213名	
			進学	28名	
			その他	11名	
	医療看護学部		本学医学部附属病院群	172名	192名
			本学以外の医療機関	16名	
			進学	3名	
			その他	1名	
	保健看護学部		本学医学部附属病院群	77名	119名
			本学以外の医療機関	38名	
			進学	3名	
			その他	1名	

16 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

東京都女性活躍推進大賞優秀賞受賞

東京都より平成29年度『東京都女性活躍推進大賞』優秀賞(教育分野)を受賞しました。同賞は、全ての女性が意欲と能力に応じて多様な生き方が選択できる社会の実現に向け、女性の活躍推進に取り組む団体に東京都が贈呈する賞です。

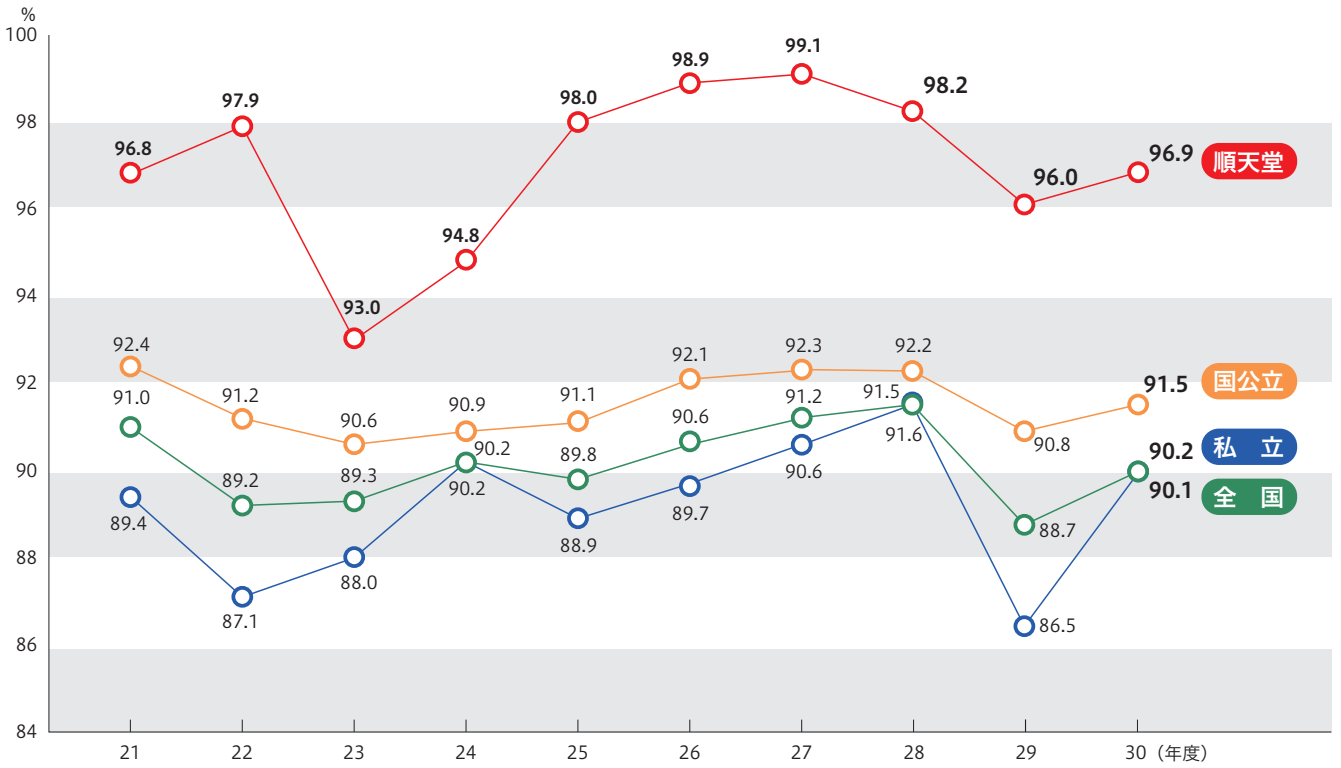
学校法人順天堂「AA」の格付けを維持

我が国最大の格付機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)による格付けにおいて、本法人は「AA(ダブルエーフラット)」の格付けを維持しました。本法人の医療機関としての強い競争力が評価され、今後の方向性も「安定的」とされました。本法人は、平成19年8月に初めて格付けを取得してから継続して「AA」を維持しています。

【大学院医学研究科・医学部】

医師国家試験合格率推移

今年度の第112回医師国家試験の合格率は96.9%で全国国公立大学80校中4位、直近10年間平均の合格率は全国2位でした。



スポーツロジーに関する
取組が科学誌「Nature」に掲載

本学のスポーツロジーに関する取組が、科学誌「Nature」(2017年9月7日号)の特集「SPOTLIGHT ON SPORTS SCIENCE」で2ページにわたり掲載されました。「スポーツロジー」は、医学、スポーツ科学をコアとして、神経学、哲学及び社会学なども統合して、スポーツのプレーや観戦と健康増進効果との関係を調べる新しい研究領域です。スポーツロジーに関する国際学会を本学で開催するに至った経緯、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、とくにパラリンピックに焦点を当てた第3回国際スポーツロジー学会(2017年10月14日開催)が紹介されています。併せて、平成30年度に180周年を迎える本学全体の紹介記事も掲載されました。



医学部の入学定員増

平成29年7月10日付、文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの平成30年度医学部入学定員の増加について」を受け、地域医療に貢献する医師養成の観点から、入学定員を3名増員する計画〔千葉県地域枠1名(追加)、埼玉県地域枠2名(追加)〕を申請し、認可されました。平成30年度から医学部入学定員は137名から140名に増員となります。

【大学院スポーツ健康科学研究科・スポーツ健康科学部】

スポーツ健康科学部入学定員増

平成29年度から入学定員増が認められ、1学年の定員が410名(スポーツ科学科250名、スポーツマネジメント学科80名、健康学科80名)となりました。

教員採用試験・就職率

教員採用試験は、現役生・既卒生合わせ103名(補欠合格・私学含む)が合格しました。うち現役生の合格者数は32名でした。企業就職志望者188名の就職内定率は100%となり、平成27年度から3年連続で就職内定率100%を達成しました。

スポーツ庁委託事業「日本版NCAA創設事業(大学スポーツ振興の推進)」に採択

スポーツ庁が大学スポーツ・アドミニストレータを配置する大学におけるスポーツ活動を支援する公募事業「大学横断的かつ競技横断的統括組織(日本版NCAA)創設事業(大学スポーツ振興の推進)」に採択されました。

日本ゴールボール協会・日本ボッチャ協会との連携協力協定締結

平成30年1月25日、本学は、一般社団法人日本ゴールボール協会及び一般社団法人日本ボッチャ協会と連携協力協定を締結しました。「ゴールボール」及び「ボッチャ」は、2020年の東京パラリンピックでの正式競技種目で、メダル獲得への期待が高まっているパラ(障がい者)スポーツです。すでに取り組んでいる体験会・体験授業等の事業は、本学学生主導で行われており、子どもたちを対象とした学校での活動をはじめ、自治体や企業との連携をより積極的に推進しています。

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】

看護師・保健師・助産師国家試験合格率

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	100%	93.5%	100%
保健看護学部	98.4%	82.0%	—
全国平均(参考)	91.0%	81.4%	98.7%

専門看護師認定実績

医療看護学研究科修了生2名が専門看護師(CNS)認定試験に合格しました(慢性疾患看護分野2名)。これまでのCNS合格者数は、慢性疾患看護分野17名、がん看護分野7名、精神看護分野3名、老人看護分野2名、小児看護分野2名、感染症看護分野2名の合計33名です。

また、従来6分野(慢性看護、がん看護、精神看護、老年看護、小児看護、感染看護)で26単位の専門看護師教育課程として実施していましたが、平成29年度からは更に2分野(母性看護、在宅看護)を加えた計8分野において、新たに38単位の教育課程を開講しました。

【国際教養学部】

国際教養学部 セミナー・フォーラム・特別講義の開催

リベラルアーツの涵養を図るため、国内外の専門家を招いてセミナー・フォーラム・特別講義を開催しました。

(1)第2回「持続可能な高齢化社会」フォーラム

開催日:平成29年12月18日

●講演① シンガポール国立大学日本研究学科長
Dr.Thang Leng Leng

●講演② シンガポール国立大学社会政策分析学部
教授 Paul Cheung

●講演③ 順天堂大学医学部医学教育研究室
教授 武田 裕子

(2)特別講義

開催日	タイトル	講師
5月8日 ～5月29日	特別講義(計4回開催) ①様々な世界地図を見て国際感覚を身につけよう ②組織論について ③アメリカという国の成り立ち ④死生観、コミュニケーションのあり方	特任教授 池上 彰
11月7日	石巻と東日本大震災と私	石巻市復興まちづくり情報交流館中央館館長 リチャード・ハルバーシュタット
11月14日	国際教養としての日本美学①	日本画家 平松 礼二
11月21日	世界遺産アンコール遺跡にみる国際情勢	NHK国際放送局 道傳 愛子
11月28日	国際教養としての日本美学②	日本画家 平松 礼二
12月11日	グローバル人材になるための準備 国際公務員になる近道	公益財団法人フォーリン・プレスセンター理事長 赤阪 清隆
12月12日	時速30キロ～ヤンゴン市鉄道とミャンマー民主化	NHK国際放送局 道傳 愛子
12月20日	国連の理想と現実 東アジアの危機と国連	公益財団法人フォーリン・プレスセンター理事長 赤阪 清隆
1月9日	世界はTOKYOをめざす	NHK国際放送局 道傳 愛子
1月10日	国境なき医師団と人道援助活動	国境なき医師団会長 加藤 寛幸
1月17日	地球の旅人 ～世界73カ国を回って行ってきた国際貢献や交流について～	NPO法人国際交流支援協会理事長 松下 文治

17 臨床活動の主な概要

【順天堂医院】

東京都難病相談・支援センター開設

平成29年7月、東京都からの委託事業として、C棟2階に東京都難病・相談支援センターを開設しました。平日10時から17時まで、専従の看護師、医療相談員が療養相談、就労相談を受けています。難病相談医療の会、講演会等も定期的に開催しており、東京都と協力して、難病患者さんの不安を少しでも取り除けるよう、環境を整えています。

睡眠・呼吸障害センター開設

平成29年8月、C棟4階に睡眠・呼吸障害センターを開設しました。睡眠異常が生活習慣病や心血管疾患のリスクになることが世界的に注目されています。複数診療科での診療協力体制と医師・技師・看護師等の教育体制を充実させ、睡眠問題を抱える患者の受け入れを一元化し、検査・治療装置や治療薬に関する臨床研究、治験の充実、更には、医療の発展へつなげていくことを目的としています。

1,026床への増床

平成29年8月、順天堂による国家戦略特区高度医療提供事業の一環として、これまでの1,020床から1,026床に増床し、稼働しました。今後も順次増床を行い、最終的に1,051床の増床を予定しています。特定機能病院として、また国家戦略特区高度医療提供事業として、高度で先進的な医療を推進し、より高い質の医療を提供出来るよう努めます。

低侵襲医療への取り組み

平成29年度は特に低侵襲医療に力を入れました。ロボット支援下手術:ダヴィンチによる手術実績は、年々増加しています。ホームページにも低侵襲医療について特設ページを設け、より高度な医療を求める患者さんに分かり易いよう掲載しています。低侵襲治療を推進し、平均在院日数の短縮を図り、患者さんが1日でも早く社会復帰出来るよう、ニーズに応えた診療を提供していきます。

JCI追加審査（B棟低層棟）

平成29年12月8日に追加審査を受け、概ね良好の評価をいただき、B棟低層棟についてもJCI(Joint Commission International)の認証を取得しました。平成30年12月には、再審査が予定されています。順天堂医院一丸となって、再審査受審に向け取り組んでいきます。

礼拝室「Prayer Room」の設置

お祈りを必要とされる方のために平成29年12月1日に1号館地下1階に礼拝室「Prayer Room」を設置しました。主にムスリムの方の利用を想定していますが、特定の宗教に限定せず、お祈り、祈祷、黙祷、瞑想、物思いなど静かな環境の下での精神活動のために、患者さんやそのご家族、大学の留学生や教職員の利用も見込んでいます。

【静岡病院】

ドクターヘリ格納庫運用開始

平成29年4月6日に関連市町関係者を招いてドクターヘリ格納庫の竣工式を行い、4月13日から運用を開始しました。

システムの強化

4月：眼科カルテシステム、10月：リハビリシステム及び透析システム、11月：手術部門システム、2月：耳鼻科カルテシステムの運用を順次開始しました。業務の効率化・省力化の推進と診療支援機能の向上を図りました。

新棟建設の実施設計を開始

平成30年2月に「静岡病院増改築計画」実施設計及び施工会社が決定し、平成30年12月着工を目標として、新築工事の実施設計を開始しました。

X線CT装置の更新

平成30年2月、X線CT装置を更新しました。従来のCTより多彩なソフトウェアを搭載しスペックが向上しており、低被曝化により安全性が大幅に向上しています。今回の更新により、3台体制による64列以上のCT稼働が確立でき、高画質による診療の質向上と患者待ち時間が大幅に短縮されました。

心臓血管造影X線診断装置の更新

平成30年3月、心臓血管造影X線診断装置を更新しました。以前よりも低被曝で、より鮮明で緻密な画像を得られ、従来よりも安全に、短い時間で治療が可能となりました。また、近年増加傾向にある下肢血管の診断や治療にも対応が可能となりました。

【浦安病院】

3号館竣工

平成29年6月13日に3号館竣工式を執り行い、浦安病院の総病床数は659床より785床に増床しました。6月21日より正面玄関、第1駐車場の運用開始、7月1日より4～7階病棟の運用開始、7月10日に外来・医事課会計窓口含めての全面運用を開始しました。

中央手術室の増室

平成29年4月から、中央手術室を3室増室しました。これにより、増加する手術に対応ができ、飛躍的に手術件数が増加しました。

外科組織変更及び救急プライマリケアセンターを新設

平成29年4月1日、診療体制強化を目的に、「外科」を臓器別で患者に分かりやすい表記にするため、「消化器・一般外科」と「乳腺・内分泌外科」に組織変更しました。また、3次救急医療から独歩・小児科患者まで軽症から幅広く救急患者を受け入れる体制を整備し、救命救急センターの下に「救急プライマリケアセンター」を新設しました。

うらやす市民大学「医療講座」の開設

平成29年6月より、「浦安の身近な医療・健康問題を考えるー日本における西洋医学の変遷と今日・今後の医療に視点を据えてー」と題し、6月3日～翌年3月17日までの第1、3土曜日に各診療科の教授、講師が計17回の講義を実施しました。また、本郷・お茶の水キャンパスにある日本医学教育歴史館見学や佐倉順天堂記念館で現地学習を実施しました。

X線TV装置設置

3号館3階の内視鏡センターにCアーム付X線TV装置を設置しました。気管支鏡検査時の体位変換が不要で、被曝低減により患者及び医療スタッフの安全性も向上しました。

中央採血室、心電図室の増室

平成30年1月に、中央採血室の拡張、心電図室の増室を行いました。これにより、外来患者の検査待ち時間の解消だけでなく、検査件数の増加にも寄与しました。

病児・病後児保育室の開室

平成30年3月に、病児・病後児保育室「みつばち うらやす」を開室しました。院内での設置には、浦安市民からの強い要望があり、病気により保育園等に預けられない乳幼児・小学校に就学している児童を一時的に預かり、保育及び看護ケアを行うものです。

【順天堂越谷病院】

医療情報システム稼働

平成29年5月7日より新医療情報システム(オーダーリングシステム)が稼働を開始しました。

DPAT派遣協定締結

平成30年3月23日付で、埼玉県災害派遣精神医療チーム(埼玉DPAT)の派遣に関する協定を締結しました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

SPECT装置更新

開院以来15年以上経過した大型診療機器が更新の時期を迎えており、平成29年度は、SPECT装置の更新を行ないSPECT-CT装置を導入しました。

医療情報システム更新

平成30年度電子カルテ導入に向けて、平成29年度は、平成24年1月に導入したハードウェア、ソフトウェアの機能拡充のための更新を平成29年12月から平成30年1月までに行ないました。

地域医療連携の強化

平成25年度から江東区医師会と医療連携推進委員会を年2回開催して病院の紹介・情報交換を行なっています。さらに医療連携の強化を図るために、江戸川区医師会とも平成29年10月より医療連携推進委員会を開催することとなりました。

【練馬病院】

注射薬自動払出装置の導入

平成30年1月22日より、1号館1階薬剤科において、注射自動払出装置を導入しました。カートを収納すると自動的に取り揃えが行われることが可能です。アレルギー情報や薬歴を確認しながら調剤できるようになりました。

救急室看護師のメキシコ派遣

平成29年9月に発生したメキシコ大地震に関して、日本の国際緊急援助隊救助チームの派遣が決定し、当院救急室の坂本看護師に依頼がありました。9月21日より10日間で現地にて任務にあたりました。

病理人材育成と体制整備事業

平成29年11月8日に、厚生労働省の国際展開推進事業の一環として、病理診断システムの強化・病理医養成に係る研修の受け入れを当院にて行いました。当日は、カンボジアより4名の病理医師が訪問し、見学、診断方法の説明や病理医養成等についてスライドを使用した説明を行いました。

医療連携の会開催

平成29年5月6日に、ホテルメトロポリタン池袋において、『逆紹介』をテーマに当院主催の医療連携の会を開催しました。病院からは職員68名が参加し、連携先医療機関からは108名の方々にご参加いただきました。各診療科長より、診療科のセールスポイントなどを説明し、今後の更なる病診連携を推進する良い機会となりました。

診療情報提供書の電子化

東京都地域医療連携ICTシステム整備支援事業の一環として、HPKI(Healthcare Public Key Infrastructure)を導入しました。これにより、医師資格証を用いて診療情報提供書の電子化が可能となり、円滑な病診連携を進めることが可能となります。

18 国際交流活動

【大学交流協定について】

新たに、ストラスブール大学、ブリガム・アンド・ウィメンズ病院、北京大学人民医院、ミネソタ大学、デモントフォート大学、シンガポール国立大学と大学交流協定を結び、国際交流協定校は23カ国／地域、57校となりました。



【留学生の研修・交流活動について】

留学生の受け入れは、39カ国／地域、453名でした。留学生同士の交流を図るとともに、日本人学生や教職員との交流も積極的に推進しています。

国/地域名	人数	国/地域名	人数	国/地域名	人数
中国	118名	オマーン	4名	スイス	1名
台湾	69	ニュージーランド	4	スロベニア	1
シンガポール	34	フィリピン	4	チリ	1
アメリカ	33	ベトナム	4	トルコ	1
韓国	31	オーストリア	3	バングラデシュ	1
タイ	30	パキスタン	3	ブルネイ	1
マレーシア	20	カナダ	2	ポーランド	1
ドイツ	18	コロンビア	2	ホンジュラス	1
イギリス	15	スウェーデン	2	ミャンマー	1
インドネシア	11	メキシコ	2	モンゴル	1
オーストラリア	11	イラン	1	ロシア	1
フランス	7	エストニア	1		
イタリア	6	オランダ	1		
ブラジル	5	クウェート	1		
					合計：39カ国/地域 453名

※学部生、大学院生(修士・博士)、外国人研究生、短期研修生

【学術交流について】

○ 東京オンコロジーコンソーシアム参画・MDACCとの姉妹協定締結

平成29年7月29日、聖路加国際大学・慶応義塾大学の組織する東京オンコロジーコンソーシアムに参画し、MDアンダーソンがんセンターとの姉妹協定を締結しました。同日、本協定締結を記念し、MDアンダーソンがんセンター・東京オンコロジーコンソーシアム主催(後援:厚生労働省)による国際シンポジウム「Oncology Forum 2017」が開催されました。今後は本協定のもと、がんの根絶に向け、臨床・教育・予防・研究プログラムの開発に関する協働活動の促進が期待されます。



活気に満ちた国際シンポジウムの様子

○ ルクセンブルク大公国保健大臣来訪

平成29年10月3日、ルクセンブルク大公国保健省 Mutsch Lydia 大臣をはじめとする訪問団が、順天堂大学を来訪されました。当日は、本学医学部神経学講座(教授:服部信孝)とルクセンブルク大学システム生体医学センターのパーキンソン病に関する各種研究における連携強化を目的とした共同研究協定が締結されました。今後、同分野での研究が加速されることが期待されます。



ルクセンブルク大公国訪問団の表敬訪問の様子

○ 第2回順天堂大学-仁済大学国際共同シンポジウム

平成29年11月4日、第2回順天堂大学-仁済大学国際共同シンポジウムが順天堂大学本郷・お茶の水キャンパスにて開催されました。本学からは、新井一学長、代田浩之医学部長、生化学第一講座 横溝岳彦教授、神経学講座 横山和正講師、血液内科学講



第2回順天堂大学-仁済大学国際共同シンポジウムの様子

座 安藤純准教授が出席し、免疫学というテーマについて、それぞれ神経学並びに血液内科学分野の視点から発表されました。次回共同シンポジウムは韓国にて開催される予定です。

○ 海外留学支援シンポジウム

平成29年11月17日、海外留学を希望・検討している学生、研修医、教職員を対象とした海外留学支援シンポジウムが開催されました。当日は様々な立場と制度で留学を経験した3名の演者より、それぞれの経緯から感想・現在のキャリアへの関連性までを率直に講演いただきました。参加者は熱心に耳を傾け、続く質疑応答・懇親会では非常に具体的な意見交換がなされました。今後

も各学部・研究科をはじめとする部署との連携を強め、同様のイベントの支援をする等、学内の国際化を推進していきます。



シンポジウム後の懇親会にて

19 文部科学省等採択事業の概要

科学研究費助成事業

平成29年度文部科学省「科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)」の新規採択率は26.3%、採択件数は491件(継続含む)で4年制私立大学569校中第5位、配分額は第6位となりました。

私立大学研究ブランディング事業

平成29年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」(タイプB【世界展開型】)に、本学の研究プロジェクト「スポーツ科学による「Health Creation」:代謝科学研究を基軸に世界展開するブランディング事業」が選定されました。

私立学校施設整備費補助金

文部科学省「私立学校施設整備費補助金」に採択され、次の整備事業を実施しました。

- (1)研究装置
 - ①クラスタマシン(ゲノム情報解析用高性能コンピュータ)
- (2)防災機能等強化緊急特別推進事業
 - ①順天堂大学キャンパス・ホスピタル再編事業(仮称) 新研究棟 建設

私立大学等研究設備整備費等補助金

文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金」に採択され、次の整備事業を実施しました。

- ①マルチアングルライブイメージングシステム Lightsheet Z.1、

- ②日立MRイメージング装置、③多用途筋機能評価運動装置、④ミトコンドリア酸素活性・細胞代謝計測セット Oxygraph-2k/LEDmodule、⑤汎用超音波画像診断装置 Aixplorer 一式

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)

平成27年度に採択されました文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」が3年目(補助期間最終年)を迎えました。東京医科歯科大学、株式会社ニッピと連携して行う本事業では、女性研究者の活躍推進や研究環境のダイバーシティ実現に取り組んでおり、合同シンポジウムや各種セミナー開催しました。補助期間は平成29年度で終了しましたが、連携機関との共同実施に関する協定書に基づき平成32年度まで女性研究者活躍促進事業を実施します。

センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム事業

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム事業『運動のカルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点』」が立命館大学との共同拠点として3年目を迎え、ロコモ発症・進展予防のためのプログラム開発・技術開発に加え、ロコモ予防運動プログラム及び女性医師を活用したICT診療化に向けた開発・実証を行い、成果を各種セミナーや展示会で発表しました。今後も参画企業と連携し製品化などの社会実装に向け更なる研究開発を進めます。

基礎研究医養成活性化プログラム

平成29年度文部科学省「基礎研究医養成活性化プログラム」において、東京大学を申請大学、福島県立医科大学、本学を連携大学として「福島・関東 病理・法医連携プログラム『つなぐ』」が採択されました。

本プログラムの目的は「基礎医学を志す医師の減少に歯止めを

かけるとともに、我が国の国際競争力を強化するため、各大学が連携し、キャリアパスの構築までを見据えた体系的な教育を実施する取組を支援することにより、病理学や法医学等の分野における基礎研究医の更なる確保や基礎研究の強化を図る」とされています。3大学の病理学、法医学分野の連携により、人材育成を目指します。

20 教育研究施設・設備の充実

【本郷・お茶の水キャンパス】

(仮称) 新研究棟建設工事

平成28年8月から地下・新築工事(I期)に着手し、躯体工事を実施しています。新築工事(I期)は、平成30年12月竣工の予定で工事を進めています。また、9号館13階SPF施設を10号館10階及び12階へ移転するための改修工事を実施しています。

【さくらキャンパス】

学生食堂リニューアル

平成29年9月に学生会館2階の教職員専用食堂内の厨房機器を整備し、教職員・学生の区別なく利用可能な「学生食堂」としてリニューアルオープンしました。この食堂では、500円程度でオムライスプレートやパスタ、サラダなどを中心に提供しています。また、1月には1階食堂のメニュー充実を図り、テイクアウトコーナーも整備しました。

屋外ハンドボールコート照明整備

平成29年11月に屋外ハンドボールコートの照明を整備しました。これにより、同施設での各クラブの日没以降の練習が可能となり、利用可能時間の拡大、安全性向上など、利用環境の改善を図ることができました。

【浦安キャンパス】

モバイル端末を利用した出席・授業評価システムの導入

平成29年度4月から学生が所有するモバイル端末を利用した

出席確認・授業評価システムを導入しました。これまでのマークシート式と比較し、ペーパーレス化を実現できたこと他、配布と回収にかかる時間を削減でき、授業時間を確保することができるようになりました。

ネットワーク環境整備

平成29年12月、コアシッチ(ネットワークカテゴリを分けセキュリティを確保するためのネットワーク装置)を更新しました。平成30年3月、モバイル端末を利用した出席管理・授業評価システム導入に伴い、教室の無線アクセスポイントの増強及びその通信が最優先になるよう設定変更しました。また無線アクセスポイントを集中管理するコントローラ装置を更新しました。

【三島キャンパス】

キャンパス共用パソコン・プリンターの更新工事

マルチメディア教室設置のパソコン133台とプリンター6台、学術メディアセンター設置のパソコン20台、ラーニングcommons設置のパソコン8台、ラウンジ設置のパソコン2台を入れ替えました。動画再生やe-learningを進める上で必要な高いスペックのPCを設置したので、快適なシステム環境のもとで学習を進めることができます。

学内ネットワークシステムの更新工事

学内のサーバー室に設置されているネットワークシステムを更新しました。これによりスピーディーで、より安定した学内のネットワーク環境を提供できます。また無線LANのアクセスポイントも更新したので、学内ネットワークへのアクセスのしやすさも向上しました。

21 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

順天堂創立175周年記念事業の一環として取り組み中の大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗状況は以下のとおりです。

(1) 本郷・お茶の水キャンパス

①1号館外来・病棟改修工事

外来改修、病棟改修(ICU、無菌、小児・周産期)が進行しています。



礼 拝 室



無 菌 病 室

②新研究棟建設

平成29年4月から基礎工事に着手して、第Ⅰ期は平成30年12月、第Ⅱ期は平成32年7月竣工予定です。



外 観



講 堂

③土地・建物不動産取得

キャンパスに近接する複数のビルをサテライトとして購入し活用を図りました。

(2) 静岡病院

病院の増床、医療機能の拡充等のための病院整備計画が進められています。



外観(イメージ)

(3) 浦安病院

132床の増床許可を得て、免震構造の地上9階、地下2階の新病棟(3号館)建設工事を進め、平成29年5月に竣工しました。



外 観



エントランスホール

(4) 練馬病院

病院の増床、医療機能の拡充等のための病院整備計画を進めていて、平成30年5月に外来棟の工事の準備が進められています。



外観(イメージ)



外来待合(イメージ)

22 スポーツ分野での活躍

パラリンピック・世界選手権

平成30年3月に韓国の平昌で開催された冬季パラリンピック大会に三澤拓君(大学院博士前期課程1年)がパラアルペンスキー競技の5種目に出場しました。平成29年12月にメキシコで開催されたパラ・パワーリフティング世界選手権大会に奥山一輝君(スポーツ科学科2年)がジュニア59kg級に出場、自己記録を更新し、銅メダルを獲得しました。

また、平成29年8月にイギリスのロンドンで開催された世界陸上競技選手権大会に山本凌雅君(スポーツ科学科4年)、北川貴理君(スポーツ科学科3年)の2名が出場、平成29年10月にカナダのモントリオールで開催された世界体操競技選手権大会に谷川航君(スポーツ科学科3年)が出場し、世界の大舞台で活躍しました。

ユニバーシアード競技大会

学生のオリンピックと言われ、2年に1度開催されているユニバーシアード競技大会が平成29年8月に台湾の台北で開催され、本学より選手12名、スタッフ16名が参加しました。陸上競技、体操競技、サッカー、バレーボールの活躍により、金5個、銀1個、銅7個のメダルを獲得しました。本学の貢献により、日本チーム史上初のメダル獲得国別ランキングで1位となりました。

部活動の全国大会優勝

体操競技部男子、スカッシュ部男子・女子、フットサル部が全日本インカレで優勝しました。体操競技部男子は全日本団体選手権大会においても社会人の強豪チームのコナミスポーツクラブなどを抑え優勝し、東日本学生選手権大会と合わせ2年連続で3冠獲得となりました。

体操競技部



写真提供: フォート・キシモト

パラ・パワーリフティング／銅メダル



写真提供: 日本パラ・パワーリフティング連盟

男子サッカー競技／金メダル



写真提供: フォート・キシモト

スカッシュ部



23 公開講座

左欄:開催年月日

右欄:講座名・テーマ

【法人・大学】

29. 5.20	第342回順天堂医学会学術集会 「医学研究のUP－TO－DATE」
6.17	第40回順天堂大学医学部主催・都民公開講座 「漢方治療の現状と課題」
24	先端メディカル・イメージング・セミナー「8Kで医療を変える」
7. 1	ジェロントロジー:医学・健康学応用講座シンポジウム 「超高齢社会を幸せに生きる」
15	第3回高校生セミナー「顕微鏡の世界～正常細胞とがん細胞の違い～」
9.14	第343回順天堂医学会学術集会 「あなたの身近にも、ほら、感染症が・・・」
30. 2.17	第41回順天堂大学医学部主催・都民公開講座 「再生医療の現状」
3.22	研究ブランディング事業成果報告会
28	第344回順天堂医学会学術集会 「教授定年退職記念講演会」

【順天堂医院】

29. 6.24	第19回市民公開講座(がん治療センター) 「悪性リンパ腫」～特にホジキンリンパ腫について～ 「実は身近な薬剤師！」～がん治療における薬剤師の役割～
10. 9	難病医療講演会(東京都難病相談・支援センター) 「パーキンソン病」～パーキンソン病患者さんにスマイルを！～
11.11	難病医療講演会(東京都難病相談・支援センター) 「後縦靱帯骨化症」～疾患と付き合う必要性～
12.16	第20回市民公開講座(がん治療センター) 「乳がん検診」～自分にあった検診方法を見つけよう～ 「恥ずかしがらずに受けよう・勧めよう子宮がん検診」
23	難病医療講演会(東京都難病・相談支援センター) 「膠原病・リウマチ」～膠原病・リウマチをより深く理解するために～
30. 2.12	難病医療講演会(東京都難病・相談支援センター) 「潰瘍性大腸炎・クローン病」～炎症性腸疾患の検査と最新の治療 普通の人と変わらぬ生活を～

【静岡病院】

29. 4.24	第54回市民公開講座 「おしっこのごことでお困りではありませんか？」
5.24	第55回市民公開講座 「関節リウマチの最新治療 ～適切な治療で「寛解」を目指しましょう～」
6.20	第56回市民公開講座 「脳腫瘍を知ろう ～病気が見つかる症状と最新の治療～」
7. 5	第57回市民公開講座 「パーキンソン病のやさしい診断と治療」
8. 8	第58回市民公開講座 「『がん』について学ぼう ～これからの時代、知っておくべき『がん』の知識～」
9.16	第59回市民公開講座 ※三島キャンパス合同開催 「知っておきたい高齢者の目の病気」 ①高齢者の目の病気とは？ ②視覚障害を持つ高齢者の在宅療養の実践と予防
10.23	第60回市民公開講座 「心臓病に対する診断と治療 ～正しく理解する為に～」
11.14	第61回市民公開講座 「がんとわかったときからはじまる緩和ケア」

12.25	第62回市民公開講座 「産婦人科のがんについて ～子宮頸癌ってなに？～」
30. 1.17	第63回市民公開講座 「知っていますか？眼瞼下垂～まぶたが下がっていませんか？気になる症状と治療法～」
2.15	第64回市民公開講座 「平成28年熊本地震における基幹災害拠点病院の対応」
3. 3	第65回市民公開講座 ※三島キャンパス合同開催 「鼻呼吸と腹式呼吸の重要性」 ①誰でも、いつでも、どこでもできる鼻呼吸と腹式呼吸を用いた健康法 ②生き生き息ササイズ(イキササイズ)&ブローライフルで、健康増進！

【浦安病院】

29. 6. 3	第1回うらやす市民大学「医療講座」 「日本の医療と順天堂の歩み」
17	第2回うらやす市民大学「医療講座」 「消化器内視鏡の歴史と進歩について～最近の診断と治療～」
7.15	第3回うらやす市民大学「医療講座」 「日光による皮膚トラブル(光老化)」
8. 5	第4回うらやす市民大学「医療講座」 「肺がん治療の最前線～分子標的治療から免疫療法まで～」
9. 2	第5回うらやす市民大学「医療講座」 「血液疾患と造血幹細胞移植」
16	第6回うらやす市民大学「医療講座」 「乳がんの最新情報～検診から診断・治療まで～」
10. 7	第7回うらやす市民大学「医療講座」 「前立腺癌に対する診断・治療」
21	第8回うらやす市民大学「医療講座」 「加齢による目の病気」
28	第80回市民公開講座 「乳がんを知ろう～診断と治療の最新情報～」
11. 4	第9回うらやす市民大学「医療講座」 「糖尿病の現在と未来」
18	第10回うらやす市民大学「医療講座」 「不整脈と言われたら…。」
12. 2	第11回うらやす市民大学「医療講座」 「生殖補助医療(不妊治療)の光と影～浦安卵子凍結の背景とは？～」
16	第12回うらやす市民大学「医療講座」 「脳卒中をどう防ぎ、どう治療するか？～知っておきたい脳卒中のこと！～」
30. 1.20	第13回うらやす市民大学「医療講座」 「ロコモティブシンドロームを知っていますか？～そのチェック方法と予防法～」
2. 3	第14回うらやす市民大学「医療講座」 「ヘルスリテラシーの向上～医療の質について考える～」
17	第15回うらやす市民大学「医療講座」 「大震災時に適切な医療を受けるための備え」
3. 3	第16回うらやす市民大学「医療講座」 「身近な心の病」
17	第17回うらやす市民大学「医療講座」 「認知症ってどんな病気？」
24	第81回市民公開講座 「前立腺癌の治療～ロボット手術を含めて」

【順天堂越谷病院】

29. 4.15	第63回 順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催 講演会 「男の更年期障害」
7.29	第64回 順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催 講演会 「男のうつ・女のうつ」
11.18	第 3回 ガーヤ★健康茶論 「関節が痛い!! これって膠原病?」「ストレスって何???」 「冬到来！予防しよう、インフルエンザ」
26	第65回 順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催 講演会 「介護予防から看取りまでー最晩年の生き方ー」

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

29. 4.22	第1回区民健康講座 「あなたのその症状、『胸やけ』『呑酸』、理解されていますか？」
5.27	第2回区民健康講座 「膝の痛み・腰の痛み・歩きに不安を感じますか？～原因は酸化ストレスかもしれません～」
6.17	第3回区民健康講座 「心臓病にならない 敵を知って、予防の極意をつかむ～百寿への新たな挑戦～」
24	第2回区民健康講座(再演) 「膝の痛み・腰の痛み・歩きに不安を感じますか？～原因は酸化ストレスかもしれません～」
7. 1	第4回区民健康講座 「認知症に寄り添う日常」
16	第5回区民健康講座 「視界が狭い、まぶたが重い…眼瞼下垂では？原因と治療法のおはなし」
10.21	第6回区民健康講座 「子育て、孫育てと鼻づまりのおはなし」
11.18	第7回区民健康講座 「女性の尿トラブルー頻尿・尿もれ・臓器脱ー」
12.16	第8回区民健康講座 「抗生物質で効かない細菌とは？ー不適切な処方はありませんかー」

【練馬病院】

29. 4.22	区民健康医学講座 「認知症とその予防」
6.24	区民健康医学講座 「ピロリ菌と胃がん」
10.28	区民健康医学講座 「乳がんの診断から治療まで」※練馬区との共催
18	区民健康医学講座 「子宮頸がん予防と治療最前線ー完全征圧を目指してー」※練馬区との共催
25	区民健康医学講座 「泌尿器科診療最前線ーおしっこ、がんの話から手術で治る高血圧の話までー」 ※練馬区との共催
30. 2. 3	区民健康医学講座 「慢性腎臓病・CKD(シーケディ)ってなに？」

【さくらキャンパス】

29. 4. 9	女性スポーツリーダーシップカンファレンス2017
7.29	ロコモ対策 公開講座 講義①「運動の大切さを知ろう！」
8.12	ロコモ対策 公開講座 講義②「子どもの身体活動と体力低下」
24	女性スポーツ勉強会「女子サッカー選手の視点から考える日本版NCAAの行方」
10. 7	ロコモ対策 公開講座 講義③「運動と認知機能」
22	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「レクリエーション教室」
28	ロコモ対策 公開講座 講義④「筋力トレーニング・有酸素運動の効果と方法」

29	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「サッカー教室」
11. 3	オープンキャンパス公開講座 「自宅でできる筋トレを身に付けよう！」 「ちゃれんじどフィットネスクラブ」 「陸上競技クリニック」 「パラリンピック・スポーツを知って・感じて・考える！！—オリンピック・パラリンピックを通した学びとは？【講義 編】」 オープンキャンパス公開講座(続き) 「みんなで身体と心と目を調べよう！～スポーツ科学の視点から～」 「親子でできる筋トレを身に付けよう！」 「健康難民から健康住民へ～インターカレッジ・ヘルスプロモーション・セミナー (ICHPS) 体験会～」 「パラリンピック・スポーツを知って・感じて・考える！！—オリンピック・パラリンピックを通した学びとは？【実習 編】」 「『上手くなる』脳のしくみについて考えてみよう！～プリズムメガネを使った運動学習実験～」 「アルツハイマー病の治療の現状と予防について～運動の意義～」 「バレーボールクリニック」 「伝わる英語の話し方～英語のPronunciation Clinic子音編～」 「野球の試合の数学モデルによる表現」 ----- ロコモ対策 公開講座 実技『自宅でできる筋トレを身に付けよう！』
12	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「陸上競技教室」
16	平成29年度順天堂大学公開講座 兼(公財)日本体育施設協会認定公認体育施設管理士養成講習会
19	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「バスケットボール教室」
12. 9	ロコモ対策 公開講座 講義⑤「運動と栄養」
30. 1.13	文京ジュニア・アスリート・アカデミー公開講座 「スポーツ活動中のケガを防ぐポイント」
20	文京区健康・体力増進事業・講演会 テーマ「姿勢」
28	文京区健康・体力増進事業・講演会 テーマ「メンタルヘルス」
2. 3	文京区健康・体力増進事業・講演会 テーマ「アクティブライフ」
10	女性アスリートヘルスサポートセミナー2018
3.26	浦安市公開講座「なわとび教室」

【浦安キャンパス】

29. 7.19	第32回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「脳卒中の予防について」
8. 5	オープンスクール 「感染予防における看護師の役割」
6	オープンスクール 「自然免疫の仕組み～病原体はどのように認識されるのか～」
23	第33回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「冬場に流行する感染症を予防するための方法」
8.23	オープンスクール 「看護という仕事」
9.20	第34回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「コミュニケーションと健康」
10.18	第35回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「最期まで自分らしく暮らすー訪問看護を上手に使うー」
20	第36回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「こどもの夜尿症について知っておくべき基礎知識」
11.20	第37回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「いざというとき困らないために」

12.13	ベイシニア浦安地域医療セミナー 「肺の健康を考えよう」
30. 2. 8	第38回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「こころの健康 マインドフルネス瞑想をやってみよう」

【三島キャンパス】

29. 9.14	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第1回「先人に学ぶ 心と身体の健康」
16	第10回順天堂大学保健看護学部公開講座 ※静岡病院合同開催 「知っておきたい高齢者の目の病気」 ①高齢者の目の病気とは？ ②視覚障害を持つ高齢者の在宅療養の実際と予防
21	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第2回「健康のためのナース活用法 ーナースは何者？何を提供できるのかー」
10. 5	第3回「日々の生活を整えるところから」
12	第4回「脳の健康を考える」
30. 3. 3	第11回順天堂大学保健看護学部公開講座 ※静岡病院合同開催 「鼻呼吸と腹式呼吸の重要性」 ①誰でも、いつでも、どこでもできる鼻呼吸と腹式呼吸を用いた健康法 ②生き生き息ササイズ(イキササイズ)&ブローライフで健康増進！

【国際教養学部】

29.10.21	市民公開講座 順天堂健康塾 「サイレントキラー～放置すると怖い高血圧症～」[生涯健康学習のすすめ]
24	「UNHCR難民映画祭ー学校パートナーズ」上映会
12.18	「持続可能な高齢化社会」フォーラム

【男女共同参画推進室】

29.11.18	第7回順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウム 「イノベーションによる未来の働き方の創生～医科学領域における女性の更なる活躍に向けて～」 (東京医科歯科大学・株式会社ニッピバイオマトリックス研究所との共同開催)
12.12	平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」第3回シンポジウム 「男女が共に働きやすい働きがいのある職場とは～ダイバーシティ環境を目指して～」 (東京医科歯科大学・株式会社ニッピバイオマトリックス研究所との共同開催)

24 社会貢献・地域交流・ボランティア活動

左欄:開催年月日	右欄:活動名
----------	--------

【本郷・お茶の水キャンパス】

29.4.9	順天堂交響楽団定期演奏会(ティアラこうとう大ホール)
10.28	東京都主催「外国人おもてなし語学ボランティア養成講座」(国際教養学部)
11.17	「文京博覧会2017」出展(～18日)
30.3.11	ポッチャ体験・普及員講習会に職員が参加

【順天堂医院】

29.6.6	都立北特別支援学校遠足 医師・看護師派遣
7.5	都立文京盲学校移動教室における付添医師派遣(7月5日～7日)
23	小児病棟夏祭り
10.3	都立北特別支援学校遠足 医師・看護師派遣

【静岡病院】

29.5.22	中学生職場体験(～23日)(伊豆の国市立韮山中学校2名参加)
24	中学生職場体験(～26日)(伊豆の国市立大仁中学校1名参加)
6.1	中学生職場体験(～2日)(伊豆の国市立長岡中学校2名参加)
5	高校生職場体験(～9日)(田方農業高等学校1名参加)
7.27	高校生1日体験ナース(～28日)(27日29名、28日28名参加)
8.3	高校生リハビリテーション見学(静岡県東部地区高等学校6名参加)
9.22	キャリア教育 フライトドクター・ナース派遣(三島市立山田小学校)
10.30	中学生職場体験(～31日)(沼津市立大平中学校2名参加)
11.12	糖尿病予防キャンペーン 看護師派遣(アビタ大仁)
30.2.5	職業講話学習 フライトナース派遣(三島市立北小学校)
3.1	社会人講話 看護師派遣(函南町立東中学校)
31	子ども医療体験会「コード・ブルーセミナー」(小中学生24名参加)

【浦安病院】

29.4.24	浦安市介護認定審査会に看護師、リハビリテーション科技師各1名派遣(年11回)
5.13	県民が集う「看護の日」に看護師1名派遣(千葉県看護協会主催)
9.16	「まちの保健室」に看護師1名参加(千葉県看護協会主催)
7.28	ふれあい看護体験(千葉県看護協会主催、高校生受入)
10.27	◇
11.1	浦安市夜間路上禁煙運動駅前キャンペーンに参加(新浦安駅前)
13	浦安市学校等における巡回訪問看護事業検討委員会に看護師2名派遣
30.1.22	◇
2.17	「まちの保健室」に看護師1名参加(千葉県看護協会主催)

【順天堂越谷病院】

30.3.10	桜井地区民生委員・児童委員協議会共催 「地域福祉推進講演会」『認知症の人と共に生きる』 桜井地区センター・公民館「あすばる」多目的ホールの講演会に講師(看護師)派遣
---------	--

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

29.4.19	認知症カフェ(院内開催)(5月31日、6月21日、7月19日、8月16日、9月20日、10月7日、10月25日、11月15日、12月20日、1月17日、2月21日、3月3日、3月28日)
23	NPO法人深川長屋認知症カフェ:講師派遣
5.27	第2回レビー小体型認知症サポートネットワーク 埼玉交流会:講師派遣
28	NPO法人深川長屋認知症カフェ:講師派遣
6.18	第三回 認知症 手をあてるフォーラム(TKP品川カンファレンスセンター):講師派遣
7.1	病院看護師のための認知症ケア研修～ケア加算対象～(外部看護師対象)(～2日)
13	江東区介護予防リーター養成講座:講師派遣
23	NPO法人深川長屋認知症カフェ:講師派遣
28	認知症について(清湘会記念病院):講師派遣
8.1	高校生一日体験(ナースプラザ 2名)
9.9	認知症家族介護者教室(北砂ホーム):講師派遣
16	認知症カフェ 銀色茶房:講師派遣
24	NPO法人深川長屋認知症カフェ:講師派遣
10.7	いきいき健康茶論
14	ウエルカムサポートセンター訪問看護師対象ストーマケアセミナー(江東区文化センター):講師派遣
26	みどりの郷 オレンジカフェ「福はうち」:講師派遣
28	第35回江東区民まつり中央まつり:講師派遣
11.26	NPO法人深川長屋認知症カフェ:講師派遣
27	大島西中学校職業体験(～29日)
30	認知症を理解しようパートⅡ(清湘会記念病院):講師派遣
12.1	認知症家族教室
22	墨田区介護事業者向け講演会(中村病院と開催)
30.3.3	いきいき健康茶論
毎月第2土	すこやか認知症カフェ健康相談:講師派遣

【練馬病院】

29.6.21	食事療法に関する調査、取材訪問(徳島県立富岡西高等学校)
22	小学生による探検(練馬区立谷原小学校)
28	小学生による施設見学およびインタビュー(練馬区立石神井東小学校)
7.12	まち探検における施設見学およびインタビュー(練馬区立石神井東小学校)
21	一日看護体験学習(東京都看護協会東京都ナースプラザ)(～8月1日)
8.12	C-cubeプロジェクト(練馬区南田中小学校・石神井東小学校38名参加)
9.7	中学生職場体験学習(練馬区立練馬中学校)
13	中学生職場体験学習(練馬区立南ヶ丘中学校)
11.9	中学生職場体験学習(練馬区立光が丘第二中学校)(～11月10日)
30.2.2	中学生職場訪問(練馬区立谷原中学校)
3.25	練馬こぶしハーフマラソン2018(救護体制への応援・メディカルランナーの参加)

【さくらキャンパス】

29.4.2	体操教室(小中学生対象・毎週日曜日)
12	成田市 適応指導教室における学習支援
5.28	酒々井町学習支援「未来塾」中学生への学習指導ボランティア(～H30.3.11)
30	成田市 子どもの運動能力向上支援事業 関係者向けの運動遊びの研修会(講師派遣 全3回)

6.24	アンブティサッカー日本代表候補合宿 学生による運営ボランティア、トレーニングサポート(～25日)
27	成田市 子どもの運動能力向上支援事業 保育園での運動指導(講師派遣 全18回)
7. 2	SAKURA未来プロジェクトVol.2「スポーツの力でこどもの未来を変える」開催
5	佐倉市民カレッジ(講師派遣 全5回)
7	文京区体力向上アドバイザー(区内小学校への指導者派遣 全20校)
29	印西市民アカデミー「健康と運動～健康づくりとライフスタイル」講師派遣
8. 1	習志野こども健康大学(～2日)
10. 8	酒々井スポーツ・レクリエーション祭開催に伴う運営協力
14	文京区 こども体力向上推進事業 イベント(講師派遣 全2回)
11. 5	体力・運動能力測定会講師派遣
7	富里市 幼児の運動遊び推進活動
12	酒々井まちづくり研究所シンポジウム「地域と創年・子供」パネリスト
21	富里第一小学校家庭教育学級「たんばぼ学級」講師派遣
26	平成29年度港区ジュニア育成事業「ジュニア陸上競技教室」(指導者派遣 全4回)
28	全日本女子ソフトボールチーム合宿ボランティア
29	「パラスポーツフォーラム in CHIBA」パラリンピック・スポーツの体験会参加
12.10	千葉県男女共同参画センター連携セミナー「ダンス」
15	白井市民大学校講座「地域でのつながりを考えてみよう～被災地からみえてきたもの～」
24	白井市スポーツ指導者養成講座(講師派遣 全2回)
30. 1.21	アメリカのコーチ、選手による陸上クリニック(小中学生対象)
25	富里市創年セミナー「筋力アップストレッチ講座」講師派遣
26	富里第一小学校「1000カ所ミニ集会」に係る講師派遣
2.20	SAKURA未来プロジェクトVol.3「大学と地域の連携によるパラスポーツ推進」(印西市内小中学校3ヶ所で開催)
24	さかえスポーツフェスタ～誰もがオリンピックを目指して～講師派遣
その他の活動	パラリンピック日本代表候補選手合宿(投擲)の受け入れ
	パラリンピック日本代表候補選手(高校生)への練習場所の提供
	日本ゴールボール協会の代表選手合宿・体験会の実施
	日本ボッチャ協会の体験会における補助
	海外トップ選手(五輪メダリスト)への練習場所の提供

【浦安キャンパス】

29. 4.16	地域の障害者との交流とミニ運動会参加
5.18	ゴミゼロ運動普及啓発キャンペーン参加(～19日)
6. 9	自転車無盗難及び無灯火自転車ゼロキャンペーン参加
10	地域の障がい者・児とのふれあい芋ほり交流会バスツアー参加
9	自転車無盗難推進キャンペーン参加
7.13	夏季防犯キャンペーン及び市内一斉防犯パトロール団結式参加
8.21	うらやすこども大学 市内在住の小学4,5年生に「心ぞうの動きを感じてみよう」、「みて・聴いて・触れて・驚く!新生児の不思議」をテーマに講義
9. 1	福島でのティベアクリニックサークル活動 被災地ボランティア「遊びの教室」
21	健康教室 浦安市老人クラブ対象(海南クラブ)
23	健康教室 浦安市高齢者対象(浦安市老人福祉センター)
30	健康教室 浦安市老人クラブ対象(海風の街これから会)
10. 3	赤い羽根共同募金街頭募金活動参加
9	東京都医師会キッズホスピタルランド 幼児から小学生の親子対象 学生派遣

15	自転車盗難防止キャンペーン参加(～16日)
18	健康教室 浦安市老人クラブ対象(舞浜三丁目マイアミクラブ) 健康教室 生後1歳未満児とその父母対象(地域子育て支援センター ハミング)
24	健康教室 浦安市老人クラブ対象(浦安市老人福祉センター) 健康教室 浦安市老人クラブ対象(富岡渚会)
27	喫煙マナー向上・ポイ捨て防止合同キャンペーン参加
11.20	健康教室 浦安市老人クラブ対象(海楽菜の花クラブ)
22	健康教室 生後1歳未満児とその父母対象(地域子育て支援センター ハミング) 健康教室 浦安市老人クラブ対象(海園の街盛年会)
24	健康教室 浦安市老人クラブ対象(見明川常盤会)
12. 1	歳末たすけあい街頭募金参加
21	キャンドルサービス(病棟・病室訪問)
4～3月	浦安子ども支援サークル[UP DRAFT](生活困窮世帯などの子どもの学習支援) 浦安市学生防犯委員会V5会議参加(年7回開催) 浦安市指定避難所 災害時の避難施設として浦安キャンパスの一部を浦安市民に開放 浦安市こどもプロジェクト事業効果測定研究(少子化対策への取組方法の研究)への協力 市民参加型ワークショップ「浦安ワクワク会議」への参加

【三島キャンパス】

29. 4.29	大場川クリーン活動(リバーフレンドシップ制度に基づく学生清掃ボランティア活動、年11回活動)
8. 8	三島市家族介護教室(9月22日まで計5回開催)
9. 9	三島市災害時医療救護体制 救護所訓練
25	東部健康福祉センター・三島市「自殺予防週間」街頭キャンペーン参加(学生・教員)
11.25	静岡県賀茂郡南伊豆町でのDRC活動のPR及び海岸清掃
12. 9	キャンドルナイト三島参加(温暖化防止イベントでの学生有志及び吹奏楽部の活動)
21	クリスマスキャロル(静岡病院)病棟・病室訪問
30. 2.10	ノルディックウォーキングガイド養成講座
その他の活動	三島市「グローバル人材育成都市協議会」参画
	三島市「ガーデンシティみしま推進会」参画
	三島市健康づくり推進協議会委員派遣
	三島市「A・RU・KU～みしま散歩とカラダリフレ～」参画
	三島市子ども・子育て会議委員派遣
	三島市高齢者福祉及び介護保険運営懇話会委員派遣
	三島市まち・ひと・しごと創生推進会議委員会派遣
	三島警察署協議会委員派遣
	複数高校へ出張し、模擬授業を広報委員(教員)、他教員が分担して担当(高大連携)
	地元住民の早朝ウォーキング、休日テニスなどの施設貸出
	大学祭での他福祉施設へ出展ブース提供などの協力(地域社会・住民と学生の協働)
	三島市スポーツ保育推進事業への教員・学生ボランティアの参加
	三島市防災訓練協力
	OSCE模擬患者役に地域の方々が教育ボランティアとして参加
	「患者援助論」演習における地域の方々が教育ボランティアとして参加
	「公衆衛生看護活動論Ⅰ」演習における地域の方々が教育ボランティアとして参加
	三島市民有志による「大学花壇づくりボランティア」の受入れ(第3月曜日)

25 平成29年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算書

(収入の部)		(単位:百万円)		
科 目	補正後予算	決 算	差 異	
学生納付金収入	7,704	7,777	△ 73	
手数料収入	468	494	△ 26	
寄付金収入	1,869	1,804	65	
補助金収入	7,182	7,099	83	
資産売却収入	6,558	13,122	△ 6,564	
付随事業・収益事業収入	2,756	3,358	△ 602	
医療収入	141,887	142,040	△ 154	
受取利息・配当金収入	159	196	△ 38	
雑収入	2,021	2,284	△ 263	
借入金等収入	500	120	380	
前受金収入	1,982	2,113	△ 131	
その他の収入	24,838	25,313	△ 475	
資金収入調整勘定	△ 26,887	△ 27,216	329	
当年度資金収入合計	171,035	178,504	△ 7,468	
前年度繰越支払資金	23,767	23,767	△ 0	
収入の部合計	194,802	202,271	△ 7,468	

資金収入は、補正後予算(以下予算という)と比較し、約75億円上回りました。主な要因として、再編事業の支払いや新学部の開設準備に充当するため、有価証券を取り崩したことがあげられます。

(支出の部)		(単位:百万円)		
科 目	補正後予算	決 算	差 異	
人件費支出	57,245	57,304	△ 59	
教育研究経費支出	22,585	22,280	305	
医療経費支出	57,146	57,422	△ 276	
管理経費支出	4,745	4,400	345	
借入金等利息支出	2	0	2	
借入金等返済支出	64	134	△ 70	
施設関係支出	15,771	14,850	922	
設備関係支出	7,313	5,264	2,049	
資産運用支出	614	752	△ 138	
その他の支出	11,249	11,210	39	
予備費	2,139	0	2,139	
資金支出調整勘定	△ 10,462	△ 10,483	21	
当年度資金支出合計	168,411	163,132	5,279	
次年度繰越支払資金	26,391	39,139※2	△ 12,748	
支出の部合計	194,802	202,271	△ 7,468	

資金支出は、予算と比較し約53億円下回りました。主な要因としては、
①当年度支払予定の再編事業関連工事や一部の設備投資が翌年度に繰り越したとなったこと。
②予備的に計上していた予算を使用しなかったこと。
があげられます。

再編事業の支払いや新学部の開設準備に充当するため、有価証券を取り崩し、当年度資金収支差額は約154億円※1のプラスとなり、次年度繰越支払資金は約391億円※2となりました。

当年度資金収支差額	2,624	15,372※1	△ 12,748
-----------	-------	----------	----------

(2) 事業活動収支計算書

(単位:百万円)					
教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	H29年度決算	H28年度決算	差 異
		学生納付金	7,777	7,408	369
		手数料	494	472	21
		寄付金	1,790	1,943	△ 152
		経常費等補助金	6,610	6,687	△ 77
		付随事業収入・収益事業収入	3,358	3,023	335
		医療収入	142,040	135,270	6,771
		雑収入	2,285	2,241	44
		教育活動収入 計	164,355	157,044	7,311
	事業活動支出の部	人件費	58,446	56,603	1,843
		(退職給与引当金繰入額)	(2,814)	(2,751)	(63)
		教育研究経費	32,905	32,254	651
		(減価償却額)	(10,625)	(9,379)	(1,247)
		医療経費	57,636	54,021	3,614
		管理経費	5,015	4,873	142
		(減価償却額)	(631)	(511)	(120)
		徴収不能額等	56	170	△ 114
		教育活動支出 計	154,059	147,922	6,136
	教育活動収支差額	10,296	9,121	1,175	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金収入	196	233	△ 36
		その他の教育活動外収入	0	0	△ 0
		教育活動外収入 計	196	233	△ 36
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	8	△ 8
		その他の教育活動外支出	0	0	△ 0
		教育活動外支出 計	0	8	△ 8
		教育活動外収支差額	196	224	△ 28
経常収支差額	10,492	9,346	1,146		
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	1	0	1
		その他の特別収入	695	787	△ 92
		特別収入 計	697	787	△ 90
	事業活動支出の部	資産処分差額	45	1,368	△ 1,322
		その他の特別支出	16	41	△ 25
		特別支出 計	61	1,408	△ 1,347
		特別収支差額	636	△ 621	1,257
予備費	0	0	0		
基本金組入前当年度収支差額	11,128	8,725	2,403		
基本金組入額合計	△ 17,822	△ 17,476	△ 346		
当年度収支差額	△ 6,694	△ 8,751	2,057		
前年度繰越収支差額	△ 52,308	△ 43,557	△ 8,751		
基本金取崩額	0	0	0		
翌年度繰越収支差額	△ 59,002	△ 52,308	△ 6,694		
(参考)					
事業活動収入 計			165,248	158,064	7,184
事業活動支出 計			154,120	149,339	4,781

教育活動収入は、約1,644億円となり、前年度と比較すると約73億円増加しました。主な要因としては、附属病院において増床及び診療体制を充実させ高度な医療を提供したことにより、医療収入が増加したことがあげられます。

教育活動支出は、約1,541億円となり、前年度と比較すると約61億円増加しました。主な要因は以下の通りです。
①高度医療の実施に伴う高額薬品費支出等による医療経費の増加。
②診療体制を更に充実させるため医療スタッフを増員したことによる人件費の増加。

経常的な収支を表す経常収支差額は、約105億円となり、前年度と比較すると約11億円増加しました。

従来の帰属収支差額にあたる基本金組入前当年度収支差額は約111億円となり、前年度と比較すると約24億円増加しました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科 目	H29年度決算	H28年度決算	増 減
固定資産	201,040	186,433	14,607
有形固定資産	176,181	167,507	8,674
土地	54,284	53,070	1,214
建物	79,086	71,816	7,271
その他の有形固定資産	42,810	42,621	189
特定資産	11,593	11,546	47
その他の固定資産	13,266	7,380	5,886
流動資産	93,139	95,617	△2,478
現金預金	39,139	23,767	15,372
その他の流動資産	54,000	71,849	△17,849
資産の部合計	294,178	282,049	12,129

固定資産のうち有形固定資産は、再編事業の実施に伴う建替工事、増床工事等の竣工により増加しました。
流動資産のうち現金預金は、有価証券を取り崩したため増加しました。

(負債の部)

科 目	H29年度決算	H28年度決算	増 減
固定負債	30,489	30,474	14
長期借入金	0	21	△21
学校債	4,810	5,780	△970
その他の固定負債	25,679	24,674	1,005
流動負債	15,756	14,769	987
短期借入金	21	64	△44
短期学校債	1,020	0	1,020
その他の流動負債	14,715	14,704	11
負債の部合計	46,244	45,243	1,001

総資産は、前年度より約121億円増加して、約2,942億円となりました。

負債は、約462億円と前年度対比で約10億円の増加となりました。
主な要因は、その他の固定負債のうち退職給与引当金が増加したことによりです。

(純資産の部)

科 目	H29年度決算	H28年度決算	増 減
基本金	306,937	289,115	17,822
第1号基本金	294,917	276,773	18,144
第2号基本金	783	1,306	△523
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	11,237	11,036	201
繰越収支差額	△59,002	△52,308	△6,694
翌年度繰越収支差額	△59,002	△52,308	△6,694
純資産の部合計	247,934	236,806	11,128

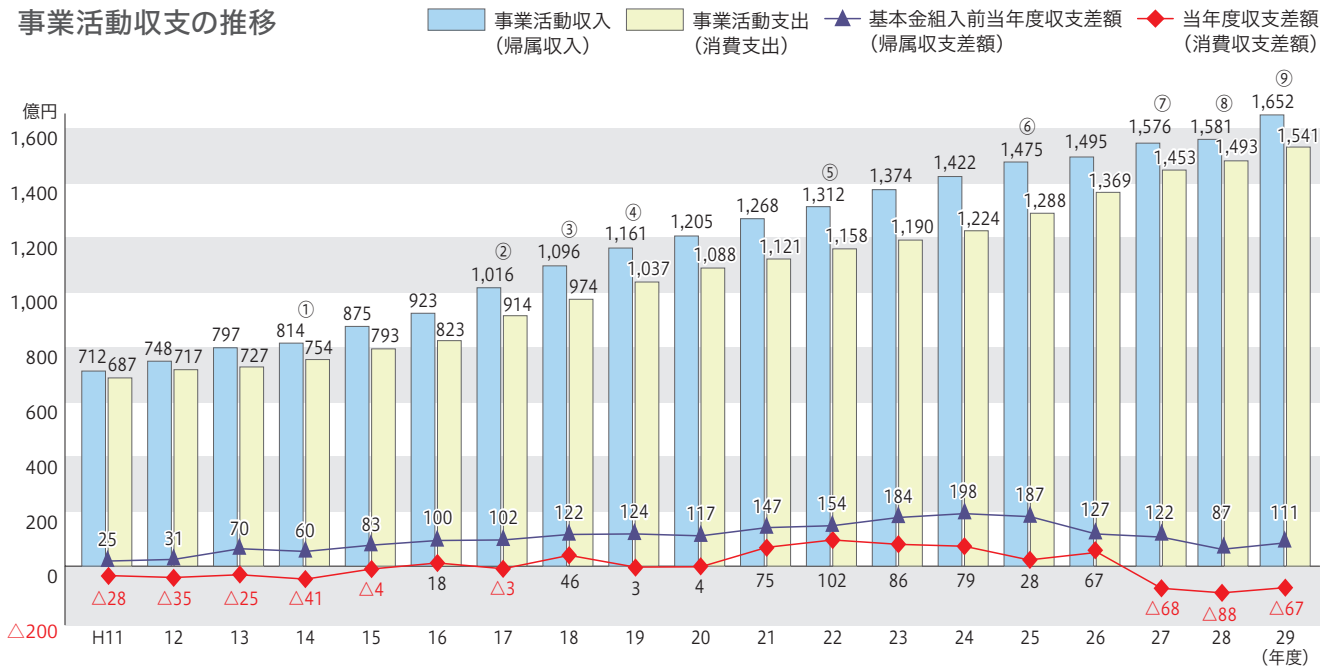
基本金は、固定資産取得等により約178億円増加して、約3,069億円となりました。

負債及び純資産の部合計	294,178	282,049	12,129
-------------	---------	---------	--------

純資産の部は、基本金組入前当年度収支差額分の約111億円増加して、約2,479億円となりました。

26 財務状況の推移

事業活動収支の推移

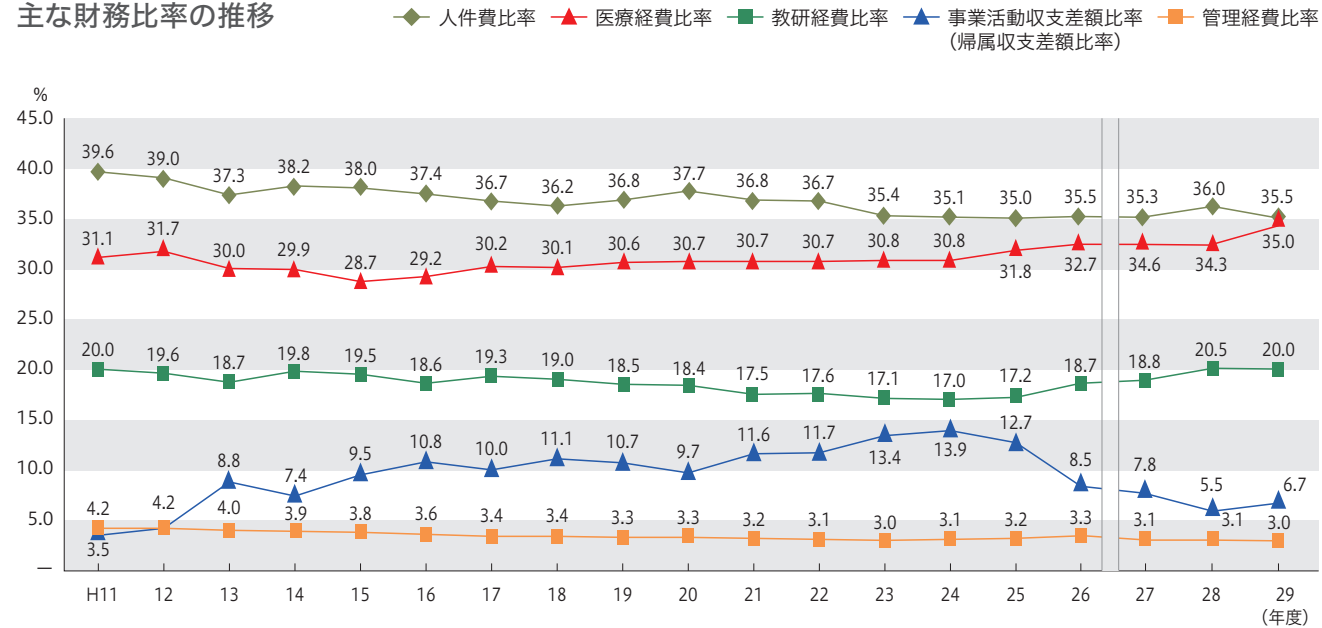


教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。

①平成14年度順天堂東京江東高齢者医療センター開院、②平成17年度練馬病院開院、③平成18年度静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、④平成19年度スポーツロジセンター設立、浦安病院救急救命センター設置、練馬病院3号館建

設、⑤平成22年度静岡県三島市に保健看護学部を開設、⑥平成25年度 順天堂医院B棟Ⅰ期竣工、⑦平成27年度本学第5番目の学部として国際教養学部を開設、⑧平成28年度順天堂医院B棟Ⅱ期・C棟竣工、さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床、⑨平成29年度浦安病院では3号館が竣工し126床増床しました。

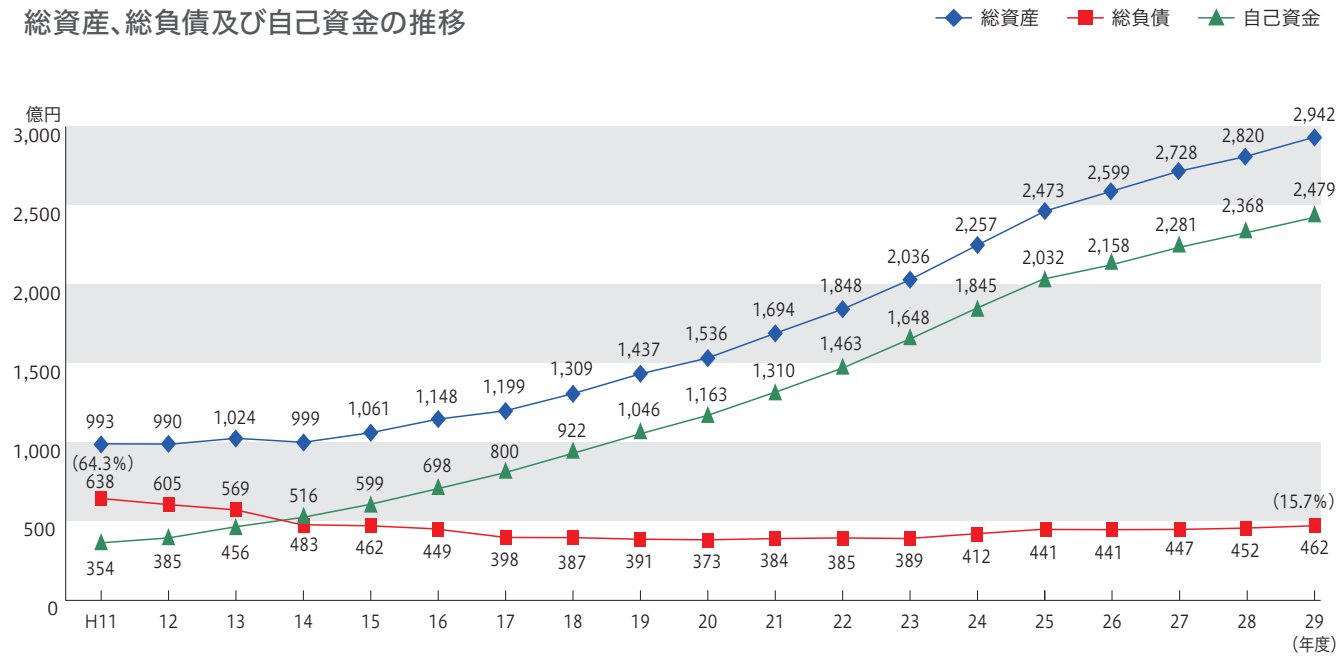
主な財務比率の推移



上記は財務比率の推移を示しています。平成27年度の学校法人会計基準改正に伴い上記の比率のうち、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母が従来の帰属収入(新基準の事業活動収入)から経常収入に変更されています。平成29年度は事

業活動収支差額比率が増加していますが、全学的な再編事業に伴う施設の取壊し等の一時的費用が減少し、基本金組入前当年度収支差額が改善したことが主な要因です。

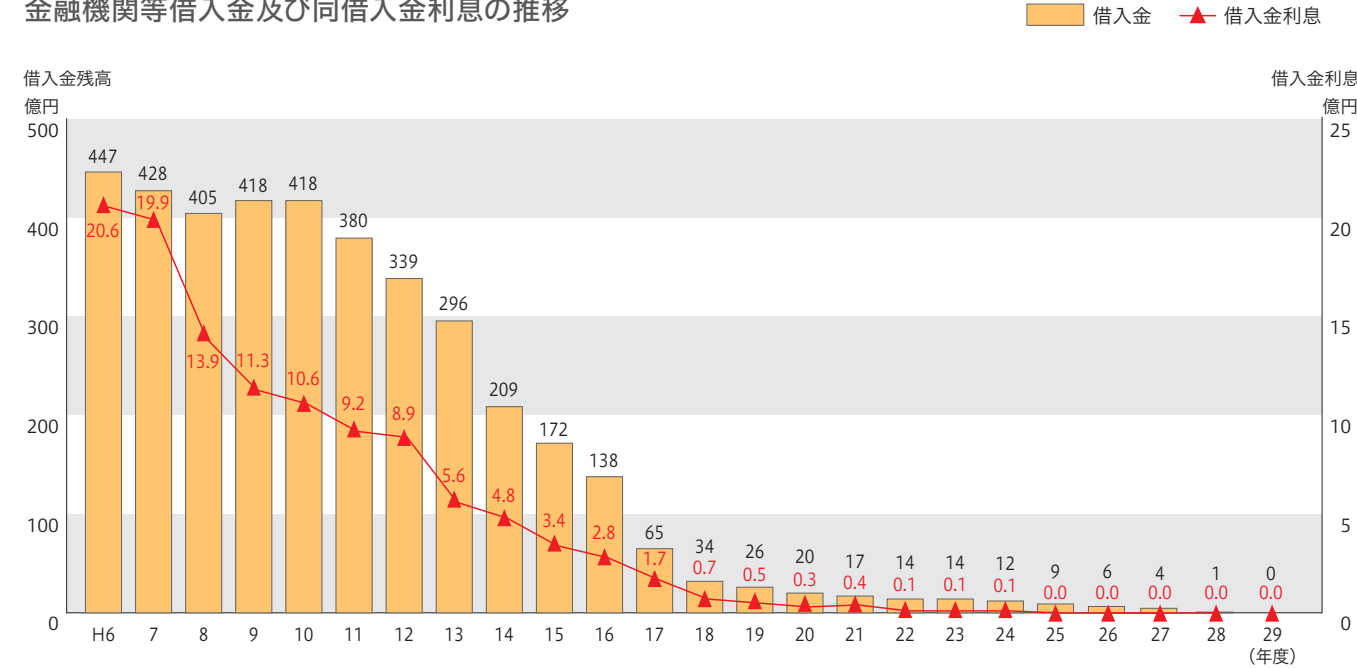
総資産、総負債及び自己資金の推移



上記のグラフは総資産、総負債、自己資金の推移を示しております。平成5年に竣工した順天堂医院本館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで総負債が自己資金を上回っていました。その後は堅調な事業活動収支差額(帰属収支

差額)を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率(総負債/総資産)は平成11年度の64.3%から平成29年度には15.7%と、大幅に改善しています。

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

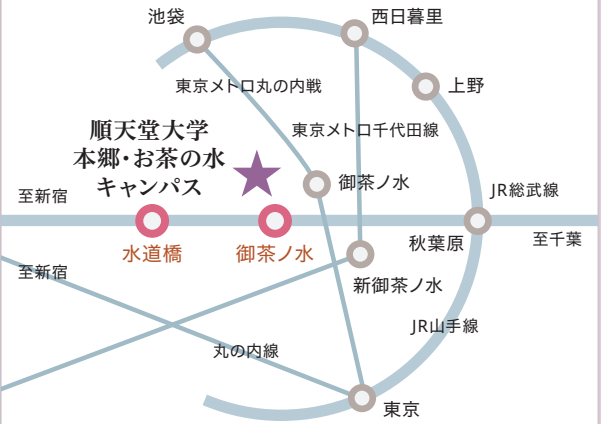


総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。平成29年度末の金融機関等からの借入残高は約0.2億円

となりました。現預金残高は借入金総額を大幅に上回り、健全な運営を維持しております。

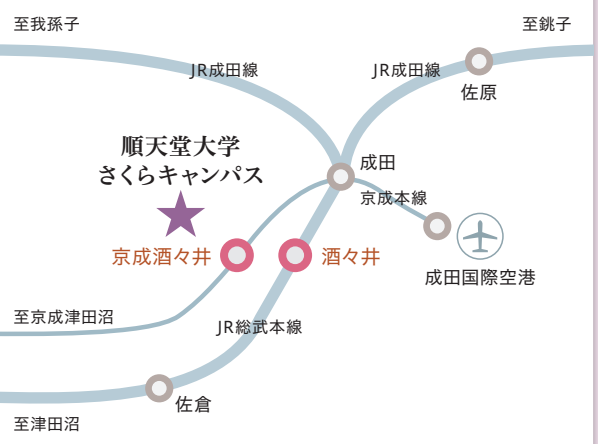
ACCESS

〔本郷・お茶の水キャンパス〕



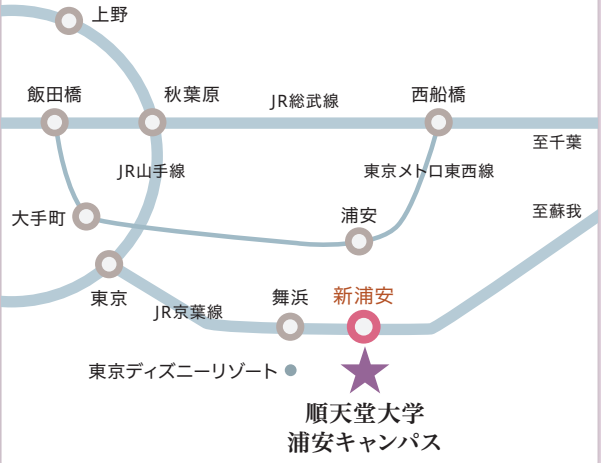
- ◎JR御茶ノ水駅・東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅より徒歩7分
- ◎東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅より徒歩9分
- ◎JR水道橋駅・都営三田線 水道橋駅より徒歩7分

〔さくらキャンパス〕



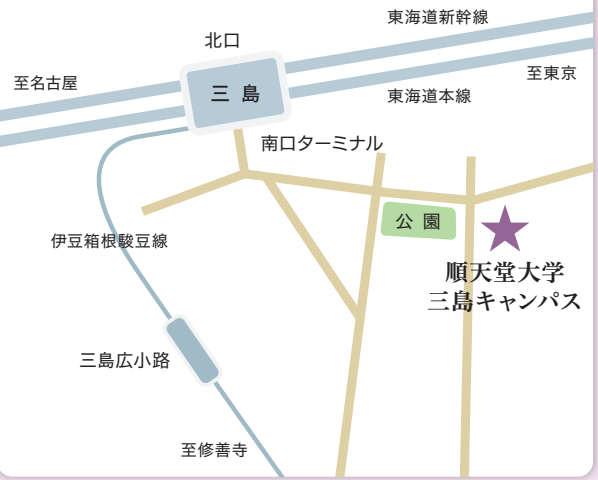
- ◎京成酒々井駅より徒歩20分 バス・タクシー5分
- ◎JR酒々井駅よりバス・タクシー10分

〔浦安キャンパス〕



- ◎JR新浦安駅よりバスで5～10分

〔三島キャンパス〕



- ◎JR三島駅より徒歩10分